



# インストレーションガイド SOLIDWORKS PDM 2024/SOLIDWORKS Manage 2024





1 SOLIDWORKS PDM および SOLIDWORKS Manage インストレーション ガ イド	9
	_
2 インストールの概要(Installation Overview)	11
必須インストール コンポーネント(Required Installation Components)	12
オプションのインストール コンポーネント(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	14
SOLIDWORKS PDM 運用シナリオ	15
システム要件(System Requirements)	18
インストールのまとめ(Installation Summary)	18
インストールに関するサポート(Installation Assistance)	19
3 SQL Server のインストールと設定(Installing and Configuring SQL Server)	
	20
SQL Server サポート(SQL Server Support)	21
SQL Server のインストール	21
SQL Server インストレーションの確認	26
SQL Server のアップグレード	26
SQL Server のトラブルシューティング(SQL Server Troubleshooting)	28
クライアントがファイルボルトで作業できない	28
SOLIDWORKS PDM の管理機能がエラーになる	29
SOLIDWORKS PDM がサーバーに接続できない	29
SQL サーバーのログイン アカウントを変更する(Changing the SQL Server Login	
Account)	30
新しい SQL ログイン アカウント(Creating a New SQL Login Account)	30
新しい SQL ログインを SOLIDWORKS PDM アーカイブで使用	30
SQL ユーザーに既存の SOLIDWORKS PDM ファイル ボルト データベースの db_owner	
アクセスを割り当てる	31
SQL権限が不十分な場合(Insufficient SQL Permissions)	32
4 SQL Server Express のインストールと設定	33
SQL Server Express Database Engine のインストール	34
SQL Server Management Studio のインストール	38
SQL Server Express のインストール後	38
SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にする	38
SQL Server TCP/IP プロトコルのアクティブ化	39

目次

	固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを設定する	39
	SQL Server Express インストレーションの確認	40
	SQL Server Express を SQL Server にアップグレード	40
5	SOLIDWORKS PDM のインストール	.41
	インストール メディアのダウンロード	42
	SOLIDWORKS Installation Manager を介したインストールの開始の開始	42
	InstallShield ウィザードを介したインストールの開始	43
	SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール	43
	データベース サーバーをインストールする前に(Before Installing the Database Server)	11
	データベース サーバー インストールの実行(Performing the Database Server Installation)	
	SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール	44
	アーカイブ サーバーをインストールする前に(Before Installing the Archive Server)	46
	アーカイブ サーバー インストールの実行(Performing the Archive Server Installation)	47
	クライアント/サーバー通信のためにポートを開く(Opening Ports for Client/Server	
	Communication)	52
	WAN 環境でのアーカイブ サーバーの追加(Adding Archive Servers in a WAN	
	Environment)	54
	SolidNetWorkライセンスのインストールと設定(Installing and Configuring SolidNetWork	
	Licensing)	55
	SolidNetWork License Manager のインストール	56
	SolidNetWorkライセンス アクティベーション(Activating a SolidNetWork License)	56
	SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用(Using SolidNetWork	
	License Server with Firewalls)	57
	SolidNetWorkライセンス管理(SolidNetWork License Administration)	59
	ライセンス契約(Licensing)	62
	SOLIDWORKS PDM Web2 のインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	66
	Web2 をインストールする前に	67
	Web2 Server インストールの実行	69
	Running Web2 を実行する IIS サーバー上でのボルト ビューの作成	70
	SOLIDWORKS PDM Web2 の設定	71
	SOLIDWORKS PDM Web API サーバーのインストール(SOLIDWORKS PDM Professional	
	のみ)	81
	Web API サーバー インストールの実行	81
	SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール	82
	クライアントをインストールする前に(Before Installing Clients)	83
	インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール(Installing Clients Using	
	the Installation Wizard)	84
	eDrawings をインストールする(Installing eDrawings)	86

SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする	86
インストールのトラブルシューティングのためのログ(Enabling Logging to Troubleshoot	07
	8/
SULIDWURKS PDM クライアントアトミニストレーティフィメーシの作成	87
Windows Active Directory を使うたクライアントの配布(Deploying Clients Using Windows	~~
	88
	90
SOLIDWORKS PDM のウイレント インストレーション スクウノト作成	91
6 SOLIDWORKS Installation Manager の使用	94
SOLIDWORKS PDM	94
PDM Server コンポーネントのリスト	95
PDM クライアントの違いについて	97
PDM Server をインストールする前に	98
SOLIDWORKS Installation Manager を使用した PDM Server のインストール	99
SLDIM を使用した PDM Client のインストール	. 101
7 ローカル ファイルホルト ビューの作成と配布 (Creating and Distributing File	
Vault Views)	102
ボルトの作成(Vault Creation)	. 102
前提条件	.102
アーカイブ サーバーを追加する(Adding an Archive Server)	. 103
アーカイブ サーバーにログインする(Logging In to an Archive Server)	. 104
ボルトの作成(Creating a Vault)	. 104
SolidNetWork ライセンス サーバーをファイル ボルト用に設定する	. 109
ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する(Creating a File	
Vault View Using the View Setup Wizard)	. 110
Windows ファイアウォールでブロードキャストを可能にする(Enabling Broadcast with Windows Firewalls)	. 113
複数のユーザー プロファイルで共有ファイルボルト ビューを使用する(Using a Shared	
File Vault View with Multiple User Profiles)	. 113
SOLIDWORKS PDM をターミナル サーバーで使用する	.114
ファイルボルト ビュー セットアップ ファイルの作成(Creating a File Vault View Setup	
File)	.115
ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成(Scripting File Vault View Setup)	116
Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル ボルト ビューの配布	. 117
SOLIDWORKS PDM ボルト ID の検索	. 118
配布されたファイル ボルト ビューを受け取る(Receiving a Distributed File Vault View)	
	. 118
WAN環境でファイルボルト ビューを配布する(Distributing File Vault Views in a WAN	
Environment)	.119

SOLIDWORKS PDM クライアントに通知するアーカイブ サーバーを手動で設定......119 SOLIDWORKS PDM 設定グループ ポリシーを手作業で指定......120 SOLIDWORKS PDM 設定ポリシー オプション......121 8 ボルトを Standard から Professional にアップグレードする......124 Professional ライセンスのアクティブ化......125 Standard ボルトのアップグレード......126 SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする......126 ファイル ボルトのアップグレード後......127 コンテンツ検索の概要(Content Search Overview) ......128 コンテンツ検索での Windows Search の使用......129 Windows Search サービスのインストール......130 Windows 検索サービスを有効にする......130 Windows Search のアーカイブのインデックス作成......131 SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成......132 SQLサーバー以外のシステムにインデックス サービスを設定する(Configuring the Index ファイルボルト データベースをインデックス サーバー名で更新する (Updating the File Vault Database with the Index Server Name) ......133 データベース サーバーのログイン アカウントを変更する (Changing the Database Server SQL サーバーのログイン アカウントを変更する(Changing the SQL Server Login 圧縮アーカイブ (gzip) フィルタ (Compressed Archives (gzip) Filter) ......136 ファイルボルト インデックス カタログの管理(Managing File Vault Index Catalogs) ..........136 

#### 10 ファイルボルトのバックアップと復元(Backing Up and Restoring File

Vaults)	138
ファイルボルト データベースのバックアップ(Backing Up the File Vault Database)	138
SOLIDWORKS PDM マスター データベースのバックアップ	139
アーカイブ サーバー設定のバックアップ(Backing Up the Archive Server Settings)	139
アーカイブ ファイルのバックアップ(Backing Up the Archive Files)	140
データベース バックアップのスケジュール作成	140
SQL Server Agentの開始(Starting the SQL Server Agent)	141

データベース バックアップのためのメンテナンス プランの設定(SOLIDWORKS PDM	
Professional のみ)	. 141
Restoring a File Vault	. 144
SQLサーバー ファイルボルト データベースの復元(Restoring the SQL Server File Vault	
Databases)	. 144
ConisioMasterDbの復元を検証(Verifying the ConisioMasterDb Restore)	. 145
アーカイブ サーバーとファイルボルト アーカイブの復元(Restoring the Archive Server	
and File Vault Archives)	. 145
11 SOLIDWORKS PDM <b>のアップグレード</b>	146
Enterprise PDMのアップグレードについて(About Enterprise PDM Upgrade)	. 146
アップグレードの前に(Before Upgrading)	. 146
現在のバージョンを調べる(Determining the Current Version)	. 147
どの更新が適用されたかを調べる(Determining Which Updates Have Been Applied)	. 147
アーカイブ サーバーのアップグレード(Upgrading the Archive Server)	. 148
データベース サーバーのアップグレード(Upgrading the Database Server)	. 148
SolidNetWork License Manager のインストールまたはアップグレード	. 150
ファイルボルトのアップグレード(Upgrading File Vaults)	. 150
ファイルボルト データベースをアップグレードする(Upgrading the File Vault Database)	
	. 150
ファイル ボルト アーカイブ(File Vault Archives)	. 152
SOLIDWORKS PDM での Toolbox のアップグレード	. 159
12 SOLIDWORKS ファイルのアップグレード(Upgrading SOLIDWORKS Files)	
	161
SOLIDWORKS ファイルのアップグレード(Upgrading SOLIDWORKS Files)	. 161
必要なアップグレード ユーティリティ ソフトウェア(Required Upgrade Utility Software)	163
システム要件(System Requirements)	163
ファイル バージョン アップグレード ユーティリティのインストール (Installing the File	
Version Upgrade Utility)	163
アップグレードの準備(Preparing to Upgrade)	164
バージョン設定を選択(Selecting Version Settings)	164
ファイルの新しいバージョンを作成する(Creating New Versions of Files)	166
ファイルの既存のバージョンを上書き(Overwriting Existing Versions of Files)	170
トライアル ファイル アップグレードの実行(Performing a Trial File Upgrade)	. 178
アップグレード ユーティリティの実行(Running the Upgrade Utility)	. 178
作業インストラクション ファイルの作成と使用(Creating and Using Work Instruction	
Files)	. 179
中断されたアップグレードを完成する(Completing an Interrupted Upgrade)	. 180
アップグレード後(After Upgrading)	. 181

アップグレード ログのファイル名フォーマット(File Name Formats for Upgrade Logs)	
	181
バックアップ ファイルの管理(Managing Backup Files)	182
バックアップファイルの作成(Backup File Creation)	182
誤ってアップグレードしたバージョンをバックアップから復元(Restoring an Incorrectly	
Upgraded Version from a Backup)	182
13 その他の設定(Additional Configuration)	184
SQLトランザクション ログ サイズの管理(Managing the SQL Transaction Log Size)	184
単純復元モデルに変更(Changing to the Simple Recovery Model)	184
トランザクション ログの縮小可(Shrinking the Transaction Log)	185
SOLIDWORKS PDM を IP アドレスのみを使用して通信するように設定する	185
アーカイブ サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート(Updating the	
Archive Server to Communicate Using IP Addresses)	185
SQL サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート(Updating the SQL	
Server to Communicate Using IP Addresses)	186
SOLIDWORKS PDM クライアントを IP アドレスを使って通信するようにアップデート	
	186
IP アドレスを使った通信の検証(Verifying IP Address Communication)	186
サーバー コンポーネントを別のシステムに移動(Moving Server Components to Another	
System)	187
ファイルを新しいサーバーにコピー(Copying Files to the New Server)	187
移動した SQL ファイルボルト データベースの設定(Configuring the Moved SQL File	
Vault Database)	188
SolidNetWork License Manager の移動	188
SOLIDWORKS PDM データベース サーバーの移行	189
移動したアーカイブ サーバーの設定(Configuring the Moved Archive Server)	189
クライアント レジストリ キーの更新(Updating Client Registry Keys)	191
複製設定の更新(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	191
サーバー移動後の検証(Verifying the Server Move)	191
14 SOLIDWORKS Manage Professional のインストール	192
SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントのリスト	192
SOLIDWORKS Manage Client のタイプとライセンス	193
SOLIDWORKS Manager の前提条件とシステム要件	195
SOLIDWORKS Manage 向け SOLIDWORKS Installation Manager の使用	195
SOLIDWORKS Manage Server のインストール	195
SOLIDWORKS Manage Client のインストール	196
SOLIDWORKS Manage コンフィギュレーション ファイルの編集	197
15 SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設定	199

o ooeleworkto manage i rolessie		
SOLIDWORKS Manage への初回ログイ	ン	

SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインの使用	203
SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインの使用	204
US の構成	204
IIS ファイル サーバーの確認	205
IIS のトラブルシューティング	206

# 1

# SOLIDWORKS PDM および SOLIDWORKS Manage イン ストレーション ガイド

SOLIDWORKS<sup>®</sup> PDM および SOLIDWORKS Manage インストレーション ガイドでは、SOLIDWORKS PDM、SOLIDWORKS Manage、SQL Server Express、および SQL Server のインストール方法と設定方法について説明します。

SOLIDWORKS PDM Standard は、SOLIDWORKS PDM Professional の簡略化されたバージョンで す。これは、SOLIDWORKS Professional および SOLIDWORKS Premium に含まれています。

SOLIDWORKS PDM Professional は、以前は SOLIDWORKS Enterprise PDM と呼ばれていた製品の 名前です。 別途購入して製品を利用することができます。

**インストールの概要(Installation** 必須、オプションのインストール コンポーネント、運用シナリオ、 **Overview**)(11ページ) インストールの概要を説明します。

**SQL Server のインストールと設定** SQL Server のインストールとアップグレード。 SQL サーバーの (**Installing and Configuring** ログイン アカウントの変更を含みます。 **SQL Server**) (20ページ)

**SQL Server Express のインス** SQL Server Express のインストール。 トールと設定

<b>SOLIDWORKS PDM のインストー</b> ル (41ページ)	SOLIDWORKS PDM データベース サーバー、アーカイブ サー バー、SolidNetWork License Manager、Web サーバー、および SOLIDWORKS PDM クライアントのインストールについて説明し ます。 クライアントのインストールにはアドミニストレーティブ イメージの作成と展開、サイレント インストールのためのスクリ プト作成についての説明が含まれています。

ローカルファイルボルトビューの作ビューセットアップウィザードを使ってファイルボルトビューを<br/>作成します。<br/>うイセンスの適用、共有ビューの使用、ファイルボDistributing File Vault Views)ルトビューセットアップのスクリプト作成、ファイルボルトビュー<br/>の配布についての説明も含まれています。

コンテンツ検索を設定する	SOLIDWORKS PDM Professional インデックス サービスの設定
(SOLIDWORKS PDM	について説明します。 ファイルボルト アーカイブのインデックス
<b>Professional のみ</b> ) (128ページ)	作成、インデックス サーバー名の更新、ログイン アカウントの変
	更、インデックス サーバー フィルタの追加が含まれています。

<b>SOLIDWORKS PDM のアップグ</b> レード(146ページ)	データベース、アーカイブ、Web サーバー、ファイルボルト デー タベースとアーカイブ、SOLIDWORKS PDM クライアントのアッ プグレードについて説明します。
ファイルボルトのバックアップと復 元(Backing Up and Restoring File Vaults)(138ページ)	ファイルボルト データベースのバックアップと、アーカイブ サー バー設定も含めた SOLIDWORKS PDM マスター データベースの バックアップに関して説明します。 データベース バックアップ作 業のスケジュール設定とファイルボルトの復旧についての内容も含 まれます。
その他の設定(Additional Configuration)(184ページ)	SQL トランザクション ログ サイズの管理、IP アドレスのみを使 用する SOLIDWORKS PDM の通信の設定、サーバー コンポーネ ントを別システムに移動する方法等について説明します。

SOLIDWORKS Manage Professional では、高度なデータ管理ツールが SOLIDWORKS PDM Professional に提供されます。高度なバージョン制御機能、およびプロジェクト、プロセス、アイテムの管理機能が提供されます。SOLIDWORKS Manage ライセンスは、SOLIDWORKS PDM Professional のすべての機能を提供します。

SOLIDWORKS Manage Professional のアーキテクチャは、SOLIDWORKS PDM Professional に似 ています。アイテムおよびプロジェクト データを管理するために Microsoft SQL Server データベース を用いる、クライアント/サーバー アーキテクチャを使用します。 データベース、ファイル サーバー、 Web サーバー機能の 3 つのサービスがあり、シック クライアントと Web ブラウザ クライアントの両 方がサポートされます。 これら 3 つのサービスは、同一のサーバー上でホストすることも、別々のサー バー上でホストすることもできます。 SOLIDWORKS Manage Professional Editor のライセンスを所 有するユーザーは、SOLIDWORKS Manage アドインを使用すると、SOLIDWORKS の内部から Manage のデータに直接アクセスできます。

**SOLIDWORKS Manage** SOLIDWORKS Manage Server および Client のインストール要 **Professional のインストール**(192 件とインストール プロセス。 ページ)

SOLIDWORKS Manage SOLIDWORKS Manage の設定とログイン。 Professional と Microsoft IIS の設定(199ページ)

# インストールの概要 (Installation Overview)

この章では以下の項目を含みます:

- 必須インストール コンポーネント (Required Installation Components)
- オプションのインストール コンポーネント(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)
- SOLIDWORKS PDM 運用シナリオ
- システム要件 (System Requirements)
- インストールのまとめ(Installation Summary)
- インストールに関するサポート(Installation Assistance)

SOLIDWORKS PDM Standard または SOLIDWORKS PDM Professional は次のものを使用してイン ストールできます:

- SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM)
- SOLIDWORKS PDM InstallShield ウィザード

使用するインストール方法によって、クライアント コンポーネントとサーバー コンポーネントが次の ように別個のフォルダにインストールされます。

• SLDIM を使用する場合

C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM

• InstallShield ウィザードを使用する場合

C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM

インストール ガイドはどちらのパスにも言及しています。お使いの環境に適切なパスを使用してください。

SolidNetWork License Manager は別途インストールする必要があります。

SOLIDWORKS PDM クライアントと SOLIDWORKS PDM サーバーを別のマシンまたは同じマシンに インストールできます。 両方を同じマシンにインストールするには、サーバー インストールを実行する 必要があります。

クライアントとサーバーを別個のインストールを使用して同じマシンにインストールすることはできま せん。

使用可能なライセンスに基づいて製品タイプを選択できます。 製品タイプに固有の次のアドインを使用 できます。

顧客	製品タイプとアドイン
SOLIDWORKS PDM Standard	SOLIDWORKS PDM CAD Editor • SOLIDWORKS • DraftSight
	SOLIDWORKS PDM Contributor
	• Draitsight
	SOLIDWORKS PDM Viewer アドインなし
SOLIDWORKS PDM Professional	SOLIDWORKS PDM CAD Editor • Microsoft Office との統合 (Microsoft Office Integration) • SOLIDWORKS • DraftSight SOLIDWORKS PDM Contributor
	<ul> <li>Microsoft Office との統合 (Microsoft Office Integration)</li> <li>DraftSight</li> <li>SOLIDWORKS PDM Viewer</li> </ul>
	<ul> <li>Microsoft Office との統合(Microsoft Office Integration)</li> </ul>

# 必須インストール コンポーネント (Required Installation Components)

SOLIDWORKS PDM を使用するには、次のコンポーネントがインストールおよび設定済みである ことが必要です。

Microsoft SQL Server	SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト データ ベースは、SQL Server 2022、SQL Server 2019、また は SQL Server 2017 でホストする必要があります。 SQL Server ソフトウェアは SOLIDWORKS DVD には含 まれておらず、別途インストールする必要があります。
Microsoft SQL Server Express	SOLIDWORKS PDM Standard ファイル ボルト データ ベースは、SQL Server Express の 2017 から 2022 まで のバージョンでホストする必要があります。

SOLIDWORKS PDM データベース サーバー	データベース サー/ シュ、複製スケジュ 変更などがあったか PDM データベース データ インポートです。	バーは通知やローカル ビューのリフレッ ロールの更新、インデックス サーバーの いどうか調べるために SOLIDWORKS を定期的にポーリングします。 また、 およびエクスポートのルールも管理しま
SOLIDWORKS PDM アーカイブ サー バー	アーカイブ サーバー イルをホストし、ニ	-はファイルボルトに格納された物理ファ ユーザーとその認証情報を管理します。
SolidNetWork License Manager	SolidNetWork Lico のライセンスを管理	ense Manager は SOLIDWORKS PDM 星します。
	SOLIDWORKS に がインストールされ 用することができま バージョンに更新さ	既に SolidNetWork License Manager れている場合、SOLIDWORKS PDM で使 ます。 SOLIDWORKS PDM のリリース れていることを確認します。
SOLIDWORKS PDM Professional ク ライアント	7 SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルトにア クセスする各コンピュータには以下のクライアントの1つ がインストールされている必要があります:	
	SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor & Web	全てのファイルタイプをサポートし、 SOLIDWORKS を含む CAD フォー マットの管理とプレビュー機能が強化 されています。 CAD アドインの使用 により、CAD アプリケーションから SOLIDWORKS PDM Professional に アクセスすることも可能です。
	SOLIDWORKS PDM Professional Contributor & Web	CAD ファイルを含む全てのファイルタ イプをサポートしています。 しかし、 このクライアントタイプに対しては CAD アドインはサポートされていませ ん。
	SOLIDWORKS PDM Brofossional	ファイルボルトに読みとり専用のアクセスを提供します。ユーザーはファイ

SOLIDWORKS PDM Standard	SOLIDWORKS PI スする各コンピュ・ ンストールされて	OM Standard ファイル ボルトにアクセ ータには以下のクライアントの1つがイ いる必要があります:
	SOLIDWORKS PDM Client CAD Editor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、 Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。 Office プラグインで処理されるすべてのファ イルフォーマットは、プレビューを除 き、SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動作します。
	SOLIDWORKS PDM Standard Contributor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、 Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。
	SOLIDWORKS PDM Standard Viewer	ファイルボルトに対して読み取り専用 のアクセスを許可します。ユーザーは ファイルを追加、変更(チェックアウ ト、チェックイン、値を更新)できま せん。

# オプションのインストール コンポーネント(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

次のインストレーション コンポーネントはオプションです:

SOLIDWORKS PDM Web サー バー	Webサーバーはインターネットあるいはイントラネットからの ファイルボルトへのアクセスを提供します。
SOLIDWORKS PDM インデック ス サーバー	SOLIDWORKS PDM インデックス サーバーはファイル ボル トに格納された多くのファイル タイプに対するフル コンテン ツ検索を可能にします。
SOLIDWORKS PDM Web API サーバー	EXALEAD <sup>®</sup> OnePart ユーザーは、Web API サーバーを使用 し、SOLIDWORKS PDM データをインデックス化して検索で きます。
	Microsoft Internet Information Services 7 以降のバー ジョン(IIS)をインストールする必要があります。

#### SOLIDWORKS PDM 運用シナリオ

SOLIDWORKS PDM コンポーネントの運用は、SOLIDWORKS PDM を使用する組織のサイズや タイプによって異なります。

## 中規模なオフィス ネットワーク(Medium Office Network)

SOLIDWORKS PDM Professional 用に SQL Server を実行するサーバー、または SOLIDWORKS PDM Standard 用に SQL Server Express を実行するサーバーは、アーカイブ サーバー、データ ベース サーバー、SNL サーバーをホストします。 このサーバーに SOLIDWORKS PDM クライア ントをインストールした Windows ワークステーションが接続されます。



1	SQL、データベース、SNL、アーカイブ サーバー
2	クライアント

# 大規模なオフィス ネットワーク(Large Office Network)

Microsoft SQL Server</Z1>を実行するサーバー1</Z2>台がファイルボルト データベースと データベース サーバーをホストします。1 台のサーバーがアーカイブ サーバーをホストし、別の サーバーが SNL サーバーをホストします。これらのサーバーに SOLIDWORKS PDM Professional クライアントをインストールしたワークステーションが接続されます。 Web サーバーを使用する ことにより、SOLIDWORKS PDM Web クライアントを使用してインターネットを介したアクセス が可能になります。



S1	SQLおよびデータベース サーバー	S4	Web サーバー
S2	アーカイブ サーバー	C1	クライアント
S3	SNL サーバー	C2	Web クライアント

# WAN接続された複数のオフィス(WAN Connected Offices)

SQL Serverを実行するメインのサーバー1台がセントラルデータベース サーバーをホストします。 2 台目のサーバーがアーカイブ サーバーをホストし、3 台目のサーバーが SNL サーバーをホスト します。 各 WAN オフィスには、ローカル アーカイブ サーバーをホストし、複製されたファイル ボルト アーカイブを持つサーバーが存在します。

SOLIDWORKS PDM Professional クライアントをインストールしたワークステーションがローカル アーカイブ サーバーならびにセントラル データベース サーバーに接続されます。



S1	SQLおよびデータベース サーバー	S5	Web サーバー
S2	アーカイブ サーバー	C1	クライアント
S3	SNL サーバー	C2	Web クライアント
S4	複製ファイル ボルトのあるアーカイブ サー バー		

# **システム要件**(System Requirements)

SOLIDWORKS PDM のシステム要件については、SOLIDWORKS Web サイトをご覧ください。 http://www.solidworks.com/sw/support/pdmsystemrequirements.html.

# インストールのまとめ(Installation Summary)

各コンポーネントはどの順序でインストールしてもかまいませんが、LAN</Z1>インストール向けの推奨される順序を紹介します。

#### SOLIDWORKS PDM Professional コンポーネントをインストールするには:

 既に SQL Server または SQL Express を実行している場合を除き、SOLIDWORKS PDM Professional ファイルボルト データベースをホストしているシステムに SQL Server をイン ストールするか、SOLIDWORKS PDM Standard ファイルボルト データベースをホストして いるシステムに SQL Express をインストールする。

詳細は、**SQL Server のインストールと設定(Installing and Configuring SQL Server**) (20ページ)を参照してください。

- SQL</Z1>サーバーを実行中のシステム上にデータベース サーバー コンポーネントをインストールする。
   詳細は、 SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール(43ページ)を参照してください。
- 3. アーカイブ サーバーを、SQL Server</Z1>が稼働しているシステムまたは別のシステムにイ ンストールする。

詳細は、 SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール(46ページ)を参照して ください。

4. すべてのクライアントにアクセスできるサーバー(できれば SQL データベース サーバー)に、 SolidNetWork License Manager をインストールして構成します。

詳細は、 SolidNetWorkライセンスのインストールと設定(Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)(55ページ)を参照してください。

- ファイルボルト内で稼働するすべてのワークステーションに SOLIDWORKS PDM クライアン トをインストールする。
   詳細は、 SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール(82ページ)を参照してください。
- SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使用して、SOLIDWORKS PDM クラ イアントがインストールされたシステムに新規のファイルボルトを作成する。
   詳細は、ボルトの作成を参照してください。
- 残りのクライアントをアーカイブ サーバーに接続し、ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードを使用してローカル ファイルボルトを作成する。
   詳細は、ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する(Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard) (110ページ)を参照してください。
- 必要に応じて、コンテンツ検索サポートのため、SOLIDWORKS PDM Professional インデックス サーバーをセットアップする
   詳細は、コンテンツ検索を設定する(SOLIDWORKS PDM Professional のみ) (128ページ)を参照してください。

## インストールに関するサポート (Installation Assistance)

SOLIDWORKS 製品の一次技術サポートは販売代理店が提供します。

サポートが必要な場合代理店にお問い合わせ下さい。

- http://www.solidworks.com/sw/support/customer-software-support.htmを 参照してください。
- 1-800-693-9000に連絡(米国およびカナダの場合)
- 1978-371-5011に連絡(上記以外の地域の場合)
- customercenterSR@solidworks.com に電子メールを送信してください。

# SQL Server のインストールと設定(Installing and Configuring SQL Server)

この章では以下の項目を含みます:

- SQL Server サポート (SQL Server Support)
- SQL Server のインストール
- SQL Server インストレーションの確認
- SQL Server のアップグレード
- SQL Server のトラブルシューティング (SQL Server Troubleshooting)
- SQL サーバーのログイン アカウントを変更する(Changing the SQL Server Login Account)

SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト内のファイルや処理に関する情報は、Microsoft SQL ベースのデータベースに保存されます。ファイル ボルトは SQL Server 2017  $\sim$  2022 までのバージョンをサポートしています。

推奨事項:SQL Server 2019 以降のバージョンを使用してファイル ボルト データベースをホストして ください。

必要なバージョンのSQL Serverがインストールされている場合には、 SOLIDWORKS PDM のインストール (41ページ)に進んでください。

インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、Microsoft サポートページにアク セスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

次の表は、SOLIDWORKS PDM Professional のバージョンとサポートされる SQL Server のバージョ ンをまとめたものです。

SOLIDWORKS PDM バージョン	SQL Server バージョン
2019 以降	2012 ~ 2017
2020 以降	2014 SP3 ~ 2019
2023 SP02 以降	2016 ~ 2022

# SQL Server $\forall r h h$ (SQL Server Support)

SOLIDWORKS PDM Professional 2019 以降では、SQL Server 2017 の使用がサポートされて います。SOLIDWORKS PDM Professional 2020 以降は、SQL Server 2019 以前の使用をサポー トしています。SOLIDWORKS PDM Professional 2023 SP2 以降は、SQL Server 2022 以前の 使用をサポートしています。

SOLIDWORKS PDM 2021 以降で SQL Server 2019 を使用する場合は、Cumulative Update 4 以降が必要です。Cumulative Update の詳細については、Microsoft サポートページにアク セスし、Knowledge Base の記事 4548597 を検索してください。

既存の SQL Server に十分な SQL クライアント アクセス ライセンスがあることを確認します。

Microsoft SQL Server のサポートの詳細については、「システム要件」を参照してください。

## SQL Server のインストール

SQL Server 2017、2019、および 2022 のインストーラでは、インストール用のヘルプが提供されています。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件とインストール手順の詳細については、 https://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb500469.aspxを参照してください。

ローカル インストールの場合は、管理者として**セットアップ(Setup)**を実行する必要があります。 SQL Server をリモートの共有ディレクトリからインストールする場合は、リモートの共有ディレ クトリで読み取りアクセス許可と実行アクセス許可のあるドメイン アカウントを使用する必要があ ります。

1. Windows ファイル エクスプローラを含むすべての Windows アプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2017、2019、または 2022 のインストール メディアを挿入します。ルート フォ ルダから setup.exe をダブルクリックし、指示のある場合を除いてデフォルト設定を使用し ます。

スクリーン	動作
SQL Serverインストール セ ンター/Planning	左側パネルで <b>インストール</b> (Installation)を選択します。
SQL Serverインストール セ ンター/Installation	新規インストールの作成または既存のインストールへの機能の 追加(New SQL Server stand-alone installation or add features to an existing installation)をクリックします。
プロダクト キー/Edition (SQL Server 2022)	<ul> <li>a. プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を 選択し、持っているライセンス キーを入力します。</li> <li>b. 次へ (Next) をクリックします。</li> </ul>
ライセンス条項	a. 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要があり ます。 b. <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
インストールのルール	<ul> <li>インストーラは再びチェックを実行します:</li> <li>問題がなければ、次へ(Next)をクリックします。</li> <li>問題がレポートされる場合:</li> <li>a. 問題がある場合は、詳細の表示(Show details)をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。</li> <li>b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル(Cancel)をクリックします。</li> </ul>

スクリーン	動作
機能の選択	<ul> <li>a. インスタンス機能(Instance Features)でデータベース エンジン サービス(Database Engine Services)を選択 します。</li> <li>b. 共有機能(Shared Features)で次を選択します: <ul> <li>クライアント ツール接続(Client Tools Connectivity)</li> <li>Integration Services</li> <li>クライアント ツールの旧バージョンとの互換性 (Client Tools Backward Compatibility)</li> <li>ドキュメント構成部品(Documentation Components)</li> </ul> </li> </ul>
	SQL Server 2022 のインストール時は、 <b>共有機能</b> (Shared Features) で Integration Services のみを選択します。
	c. 次へ(Next)をクリックします。
インスタンスの構成	新しいインストレーションの場合:
	a. <b>既定のインスタンス(</b> Default instance)を選択します。 b. <b>次へ(Next</b> )をクリックします。
	SQL サーバーがシステムにインストールされていて、アップ グレードを行わない場合:
	a. <b>名前付きインスタンス</b> (Named Instance)を選択します。 b. このインストレーションに対するユニークなインスタンス 名を入力します:
	$computername \ instancename.$
	c. <b>次へ(Next</b> )をクリックします。

	動作
サーバーの構成(Server Configuration)/サービス ア カウントタブ	<ul> <li>SQL Server Agent:</li> <li>アカウント名(Account Name): NT Service\SQLSERVERAGENT</li> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)</li> </ul>
	SQL Server データベース エンジン:
	<ul> <li>アカウント名(Account Name): NT Service\MSSQLSERVER</li> </ul>
	<ul> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)</li> </ul>
	: SQL Server 2017 の場合: <b>SQL Server Integration</b> <b>Services 14.0</b>
	• アカウント名(Account Name): NT
	<ul> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): Automatic</li> </ul>
	SQL Server 2019 の場合: SQL Server Integration Services 15.0
	• アカウント名(Account Name): NT Service\MsDtsServer150
	<ul> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): Automatic</li> </ul>
	SQL Server 2022 の場合: SQL Server Integration Services 16.0
	• アカウント名(Account Name): NT
	<ul> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): Automatic</li> </ul>
	SQL Server Browser:
	• アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE
	• スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動

スクリーン	動作	
データベース エンジンの構成 データ ディレクトリまたは FILESTREAMタブの設定は 変更しないでください。	a. 混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証) (Mixed Mode (SQL Server authentication and Windows authentication)) を選択します。 SOLIDWORKS PDM Professional はデータベース通信 に SOL サーバー認証を使用します	
	<ul> <li>b. システム管理者アカウント(sa)のパスワードを入力します。パスワードは空白のままにしないで下さい。パスワードの規則に関しては、ヘルプ(Help)を参照してください。</li> </ul>	
	パスワードを再入力して確認します。	
	SOLIDWORKS PDM Professional ファイルボルト データベースの設定をする際に使用するので、このパス ワードを覚えておいてください。	
	<ul> <li>c. SQL Server 管理者の指定(Specify SQL Server administrators)で現在のユーザーを追加(Add Current User)をクリックします。</li> </ul>	
	d. 次へ(Next)をクリックします。	
インストールのルール	インストーラは、インストールを妨げる問題がないかチェック します。 • 問題がなければ、 <b>次へ</b> (Next)をクリックします。 • 問題がレポートされる場合:	
	a. 問題がある場合は、 <b>詳細の表示</b> (Show details)をク リックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネ ントをリストに表示します。	
	b. インストールを中止して問題を修正するには、 <b>キャン</b> <b>セル</b> (Cancel)をクリックします。	
インストールの準備完了	<b>インストール</b> (Install)をクリックします。	
インストールの進行状況 (Installation Progress)	インストールには長い時間がかかる場合もあります。 SQL Serverの旧バージョンとの互換性ファイル関連のエラー が表示されたら、インストールをキャンセルします。プログラ ムのアンインストール(Uninstall a program)を使用し て、Microsoft SQL Server 2014 の旧バージョンとの互換性 パッケージをアンインストールします。次に、SQL Server 2017、2019、または 2022 のインストールを再開します。 進行状況バーにセットアップ処理が完了しました(Setup process complete)が表示されたら、次へ(Next)をクリッ	

スクリーン	動作
完了	閉じるをクリックします。 コンピュータを再起動する必要があるとするメッセージが表示 された場合は、OK をクリックします。 再起動が自動的に開 始されない場合は、コンピュータを手動で再起動します。

ネットワーク上で安全なSQL通信を行いたい場合、認証サーバーがあればSSL暗号化を使用できます。

詳細については、以下の Microsoft 技術情報を参照してください。

- https://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb500395.aspx
- https://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms143219.aspx

### SQL Server インストレーションの確認

SQL Server インストレーションを確認するには:

- 1. SQL Server 構成マネージャー を起動します。
- SQL Server 2017 サービス (SQL Server 2017 Services)、SQL Server 2019 サービス (SQL Server 2019 Services)、または SQL Server 2022 サービス (SQL Server 2022 Services) をクリックし、SQL Server (MSSQLSERVER) が実行されているかどうかを確認します。
- 3. 実行されていない場合は、**SQL Server**(**MSSQLSERVER**)を右クリックし**開始(Start**) をクリックして、サービスを開始します。
- 4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

#### SQL Server のアップグレード

既存の SQL Server インスタンスを SQL Server 2017、2019、または 2022 にアップグレード するには、次の手順に従ってください。

SQL Server 2017、2019、または 2022 にアップグレードする場合は、Microsoft ドキュメント (Microsoft Docs) にアクセスし、アップグレード情報を検索してください。

インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、Microsoft サポートにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

サーバー インスタンスがアップグレードされると、すべてのファイル ボルト データベースは自動 的に適切な SQL Server バージョンのフォーマットにアップグレードされます。

1. Windows ファイル エクスプローラを含むすべての Windows アプリケーションを閉じます。

2. SQL Server 2017、2019、または 2022 のインストール メディアを挿入します。ルート フォ ルダから setup.exe をダブルクリックし、指示のある場合を除いてデフォルト設定を使用し ます。

画面	動作
SQL Server インストール セン ター/Planning page	左側パネルで <b>インストール</b> (Installation)を選択しま す。
SQL Server インストール セン ター/Installation page	SQL Server の前バージョンからアップグレード (Upgrade from a previous version of SQL Server)をクリックします。
プロダクト キー/Edition(SQL Server 2022)	<ul> <li>a. プロダクト キーの入力 (Enter the product key) を選択し、持っているライセンス キーを入力 します。</li> <li>b. 次へ (Next) をクリックします。</li> </ul>
ライセンス条項	<ul> <li>a. 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いただく必要 があります。</li> <li>b. 次へ(Next)をクリックします。</li> </ul>
アップグレードのルール	<ul> <li>インストーラは再びチェックを実行します。</li> <li>問題がなければ、次へ(Next)をクリックします。</li> <li>問題がレポートされる場合:</li> <li>a. 問題がある場合は、詳細の表示(Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。</li> <li>b. インストールを中止して問題を修正するには、 キャンセル(Cancel)をクリックします。</li> </ul>
インスタンスの選択	SQL サーバー インスタンスを選択し、アップグレード します。 <b>MSSQLSERVER</b> はデフォルトです。
フィーチャーの選択	アップグレードされるインストール済みのSQL機能がリ ストに表示されます。 <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
インスタンスの構成	アップグレードされる名前付きインスタンスが表示され ます。 <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
サーバーの構成	<b>次へ(Next</b> )をクリックします。

画面	動作
アップグレードのルール	インストーラは、アップグレードを妨げる問題がないか チェックします。 • 問題がなければ、 <b>次へ</b> (Next)をクリックします。 • 問題がレポートされる場合:
	<ul> <li>a. 問題がある場合は、詳細の表示(Show details) をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコ ンポーネントをリストに表示します。</li> <li>b. インストールを中止して問題を修正するには、 キャンセル(Cancel)をクリックします。</li> </ul>
アップグレードの準備完了	<b>アップグレード</b> をクリックします。
アップグレードの進行状況	全てのコンポーネントのアップグレードが完了したら、 <b>次へ</b> をクリックします。
完全	閉じる(Close)をクリックします。
SQL Serverインストール センター	右上隅にある 🗙 をクリックし、閉じます。

- アップグレードを確認します。
   詳細は、SQL Server インストレーションの確認(26ページ)を参照してください。
- 問題のトラブルシューティング。
   詳細は、SQL Server のトラブルシューティングを参照してください。

SQL Server のトラブルシューティング (SQL Server Troubleshooting)

#### クライアントがファイルボルトで作業できない

原因	SQLパスワードの期限切れ、またはアカウントがロックアウトされています。
解決策	Windows 認証を使用してログインすることで、アカウントをアンロックし ます。

#### SQL サーバー アカウントをアンロックするには

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
- 2. Connect to Server ダイアログ ボックスで:
  - a) 認証には、Windows 認証を選択します。
  - b) 接続 をクリックします。
- 3. 左側パネルで、セキュリティを展開してログインを選択します。

- 4. アーカイブ サーバーで使用するよう定義されたSQLログイン(通常**sa**アカウント)を右クリックし、**プロパティ**を選択します。
- 5. ログインのプロパティ ダイアログボックスの左側のパネルで、ステータスをクリックします。
- 6. ステータスの SQLサーバー認証でログインがロックアウトされていますを選択解除します。
- 7. SQL Server Management Studioを終了します。

#### SOLIDWORKS PDM の管理機能がエラーになる

原因 リモート接続が許可されていません。

**解決策** SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にします。

#### SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にするには:

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
- 2. 管理者としてログインします。
- 3. サーバーを右クリックし、プロパティを選択します。
- 4. サーバーのプロパティ ダイアログ ボックスで、接続 をクリックします。
- 5. 右側パネルの**リモート サーバー接続**で、**このサーバーへのリモート接続を許可する**が選択されていることを確認し、**OK**をクリックします。
- 6. SQL Server Management Studioを終了します。

#### SOLIDWORKS PDM がサーバーに接続できない

**原因** TCP/IPが有効になっていないか、TCPポートが間違っています。

**解決策** クライアント接続用にTCP/IPプロトコルをアクティブ化し、TCPポート1433 が開いていることを確認します。

#### SQL ServerTCP/IPプロトコルをアクティブ化するには:

- 1. SQL Server 構成マネージャー を開きます。
- 左側のパネルで、SQL Server ネットワークの構成(SQL Server Network Configuration)を展開し、MSSQLSERVER のプロトコル(Protocols for MSSQLSERVER)をクリックします。
- 3. 右側のパネルで、TCP/IPが有効なことを確認します。
- 4. TCP/IP を右クリックし、プロパティ を選択します。
- 5. IPアドレス(IP Addresses)タブで、TCPがポート1433を使っていることを確認します。
- 6. SQL Server構成マネージャ を終了します。

# SQL サーバーのログイン アカウントを変更する(Changing the SQL Server Login Account)

アーカイブ サーバーおよびデータベース サーバー サービスは、それらの管理する SOLIDWORKS PDM Professional データベースに、少なくともそのデータベースに対する db\_owner アクセス権 限を持つ SQL ログインを使ってアクセスしなければなりません。

通常、SQL Server をインストールすると、SQL Server 上のすべてのデータベースにフル アクセス権限を持つシステム管理者ログイン(**sa**)が作成されます。

このシステム管理者を使用するか、SOLIDWORKS PDM Professional データベースに対する db\_owner アクセス権限を持つ新しいユーザーを作成してください。

db\_owner の SQL ログインを使用して新しいファイル ボルト データベースを作成する場合は、 まず sysadmin 権限を持つ SQL ユーザー アカウントを使用してボルトを作成する必要がありま す。 ボルトが作成されると、SQL ログインを db\_owner アカウントに切り替えることができま す。

新しい SQL ログイン アカウント (Creating a New SQL Login Account)

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
- 2. システム管理者としてログインします。
- 3. 左側パネルでセキュリティ(Security)を展開します。
- 4. ログイン を右クリックし、新しいログイン を選択します。
- 5. ログイン 新規作成 ダイアログ ボックスで 全般 を選択します。
  - a) 新しいSQLユーザーのログイン名を指定してください。
  - b) SQL Server認証 を選択してパスワードを入力します。
  - c) パスワード ポリシーを適用する を選択解除します。
  - d) **OK** をクリックします。
- 6. Microsoft SQL Server Management Studio を閉じます。

新しい SQL ログインを SOLIDWORKS PDM アーカイブで使用

- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーを実行しているシステムで、Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレー ション (Archive Server Configuration) を選択します。
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアロ グ ボックスで、ツール (Tools) > デフォルト設定 (Default settings) を選択します。
- 3. 設定 ダイアログ ボックスの SQLログイン で、変更 をクリックします。
- 4. SQLユーザーの変更 ダイアログ ボックスで、新しい SQL ユーザーの SQL ユーザー ログイン とパスワードを入力し、**OK** を 2 回クリックします。
- 5. SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー(SOLIDWORKS PDM Archive Server)ダイアロ グ ボックスを終了します。

- SOLIDWORKS PDM データベース サーバーを実行しているシステムで、Windows のスタート(Start)メニューから、SOLIDWORKS PDM > データベース サーバー コンフィギュレーション (Database Server Configuration)を選択します。
- SOLIDWORKS PDM データベース サーバー (SOLIDWORKS PDM Database Server) ダイ アログ ボックスで、新しい SQL ユーザー ログインとパスワードを入力し、OK をクリックし ます。
- 8. SOLIDWORKS PDM データベース サーバー サービスを再起動します。

#### SQL ユーザーに既存の SOLIDWORKS PDM ファイル ボルト データベースの db\_owner アクセスを割り当てる

- 1. 新しい SOLIDWORKS PDM データベースをホストしている SQL サーバーで、Microsoft SQL Server Management Studio を開きます。
- 2. システム管理者としてログインします。
- 3. 左側パネルで、Securityを展開してLoginsをクリックします。
- 4. SQLユーザーを右クリックし、プロパティを選択します。
- 5. ログインのプロパティ ダイアログ ボックスで:
  - a) 左側パネルでユーザー マッピングを選択します。
  - b) 右側のパネルのこのログインにマップされたユーザーの下で、すべての SOLIDWORKS PDM データベース(ファイル ボルト データベースと ConisioMasterDb) に対してマッ プを選択します。
  - c) 各データベースのデータベース ロールのメンバシップで、db\_ownerを選択します。
  - d) **OK** をクリックします。
- 6. サーバーを右クリックし、新しいクエリを選択します。
- 7. 右側パネルで、新しい **db\_owner** ユーザーに対して以下のクエリ文を入力して**実行** (Execute) をクリックします。
  - a) GRANT VIEW SERVER STATE TO [SQL\_USER\_NAME]
  - b) GRANT ALTER ANY CONNECTION TO [SQL\_USER\_NAME]
- 8. Microsoft SQL Server Management Studio を終了します。
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーを実行しているシステムで、Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレー ション (Archive Server Configuration) を選択します。
- 10. ツール(Tools) > デフォルト設定(Default settings)を選択します。
- 11. 設定 ダイアログ ボックスの **SQLログイン** で、変更 をクリックします。
- 12. SQLユーザーログインの変更 ダイアログ ボックスで、新しい SQL ユーザーの SQL ユーザー ログインとパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
- **13. SOLIDWORKS PDM** アーカイブ サーバー(SOLIDWORKS PDM Archive Server)ダイアロ グ ボックスを閉じます。
- 14. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーを実行しているシステムで、Windows のスター ト (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > データベース サーバー コンフィギュ レーション (Database Server Configuration) を選択します。
- 15. 新しい SQL ユーザー ログインとパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
- 16. SOLIDWORKS PDM データベース サーバー サービスを再起動します。

SQL権限が不十分な場合(Insufficient SQL Permissions)

SQLユーザーに十分なSQL権限を与えないと、ファイルボルト ビューにログインすることができません。

SQLユーザーが少なくともdb\_ownerアクセスを持っていないと警告メッセージが表示されます。

• ConisioMasterDbデータベースに対して

例:

データベース"filevault on Server servername"にログ インできませんでした。

ファイルボルト データベースに対して
 例:

データベースのこの項目にアクセスできません。

# SQL Server Express のインストールと設定

この章では以下の項目を含みます:

- SQL Server Express Database Engine のインストール
- SQL Server Management Studio のインストール
- SQL Server Express のインストール後
- SQL Server Express インストレーションの確認
- SQL Server Express を SQL Server にアップグレード

SOLIDWORKS PDM Standard では、ファイル ボルト内のファイルや処理についての情報を格納するの に、Microsoft SQL Server Express を使用する必要があります。

SQL Server Express のインストール メディアは、Microsoft SQL Server のダウンロード(Microsoft SQL Server Downloads) ページからダウンロードできます。 次の表に、サポートされているバー ジョンとダウンロード リンクを示します。

SQL Server Express バー ジョン	ダウンロード リンク
2017	https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55994
2019	https://www.microsoft.com/en-us/Download/details.aspx?id=101064
2022	https://www.microsoft.com/en-us/sql-server/sql-server-downloads

推奨事項: SQL Server Express 2019 以降を使用してファイル ボルト データベースをホストしてください。

SOLIDWORKS PDM 2021 以降で SQL Server 2019 を使用する場合は、Cumulative Update 4 以 降が必要です。Cumulative Update の詳細については、Microsoft サポートページにアクセスし、 Knowledge Base の記事 4548597 を検索してください。

SQL Server Express データベースは、SQL Server フル エディションの一致するバージョンまたは それ以降のバージョンへのアップグレードをサポートしています。 ボルトを Standard から Professional にアップグレードし、フル バージョンの SQL Server を使用する場合、インストールさ れている SQL Express のバージョンが同じか古いことを確認してください。 データベースは古い SQL バージョンにダウングレードできません。 インストールされている SQL Server のバージョンが不明な場合は、Microsoft サポートページにアク セスし、ナレッジ ベースの記事 321185 を検索して、バージョンとエディションを確認してください。

必要なバージョンの SQL Server Express がインストールされている場合には、 SOLIDWORKS PDM のインストール (41ページ) に進んでください。

Microsoft SQL Server のサポートの詳細については、「システム要件」を参照してください。

#### SQL Server Express Database Engine $\sigma \tau \lambda h - \mu$

ローカル インストールの場合は、管理者としてインストールを実行する必要があります。

- 1. Windows ファイル エクスプローラを含むすべての Windows アプリケーションを閉じます。
- 2. Microsoft SQL Server のダウンロード (Microsoft SQL Server Downloads) ページか ら SQL Server Express インストール ファイルをダウンロードします。
- 3. インストール ファイルを実行し、インストール タイプとして**カスタム(Custom**)を選択し ます。
- 4. **メディアの場所(MEDIA LOCATION)**を指定し、**インストール(Install)**をクリックします。

抽出が開始され、インストール ウィザードが起動します。

5. 指示のある場合を除いてデフォルトの設定を使用します。

スクリーン	動作
SQL Serverインストール セン ター/Installation	<b>新規インストールの作成または既存のインス</b> トールへの機能の追加(New SQL Server stand-alone installation or add features to an existing installation)をクリックしま す。
ライセンス条項	<ul> <li>a. 使用許諾契約書お読みになり、ご同意いた だく必要があります。</li> <li>b. 次へ(Next) をクリックします。</li> </ul>
インストールのルール	<ul> <li>インストーラは再びチェックを実行します:</li> <li>問題がなければ、次へ(Next)をクリックします。</li> <li>問題がレポートされる場合:</li> <li>a. 問題がある場合は、詳細の表示(Show details)をクリックし、エラーまたは警告の表示されたコンポーネントをリストに表示します。</li> <li>b. インストールを中止して問題を修正するには、キャンセル(Cancel)をクリックします。</li> </ul>
機能の選択	<ul> <li>a. インスタンス機能(Instance Features)で データベース エンジン サービス (Database Engine Services)を選択しま す。</li> <li>b. 共有機能 (Shared Features) でクラ イアント ツール接続 (Client Tools Connectivity) を選択します。</li> <li>c. 次へ (Next) をクリックします。</li> </ul>

スクリーン	動作
インスタンスの構成	<ul> <li>新しいインストレーションの場合:</li> <li>a. 既定のインスタンス(Default instance)を 選択します。</li> <li>b. 次へ (Next) をクリックします。</li> <li>SQL サーバーがシステムに既にインストール されていて、アップグレードを行わない場合 は:</li> <li>a. 名前付きインスタンス (Named Instance) を選択します。</li> <li>b. 一意のインスタンス名を入力してください。</li> <li>c. 次へ (Next) をクリックします。</li> </ul>
サーバーの構成(Server Configuration)/ サービス アカウント(Service Accounts)タ ブ	<ul> <li>SQL Server データベース エンジン:</li> <li>アカウント名(Account Name): NT Service\MSSQL\$*INSTANCENAME*</li> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)</li> <li>SQL Server Browser:</li> <li>アカウント名(Account Name): NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE</li> <li>スタートアップ タイプ(Startup Type): 自動 (Automatic)</li> </ul>
サーバーの構成(Server Configuration)/照 合順序(Collation)タブ	<ul> <li>a. デフォルト値 SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS を保持します。</li> <li>b. オプションで、ユーザー定義 (Customize) をクリックし、 Windows 照合順序指定子と並べ替え順 序 (Windows collation designator and sort order)を選択し、お使いのロ ケールに適合する照合順序指定子 (Collation designator)を選択しま す。他の選択内容はそのままにします。</li> <li>SOLIDWORKS PDM Standard はバイ ナリ設定のサーバーでは使用できませ ん。</li> <li>c. 次へ (Next) をクリックします。</li> </ul>
スクリーン	動作
--	---
データベース エンジンの構成(Database Engine Configuration)/サーバーの構成 (Server Configuration)タブ	<ul> <li>a. 混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証) (Mixed Mode (Windows Authentication and SQL Server Authentication))を選択します。 SOLIDWORKS PDM Standard はデータ ベース通信に SQL サーバー認証を使用し ます。</li> <li>b. システム管理者アカウント (sa) のパス ワードを入力します。パスワードは空白 のままにしないで下さい。パスワードの 規則に関しては、ヘルプ (Help) を参照</li> </ul>
	してください。 パスワードを確認するため、再び入力しま す。
	SOLIDWORKS PDM Standard ファイ ルボルト データベースの設定をする際 に使用するので、このパスワードを覚 えておいてください。
	c. <b>SQL Server 管理者の指定</b> (Specify SQL Server administrators)で <b>追加</b> (Add)をクリックします。
	d. ユーザー、コンピュータ、またはグループ の選択ダイアログ ボックスで、システム のローカル管理者またはAdministrators グループの名前を入力します。
	e. 次へ(Next) をクリックします。
データベース エンジンの構成(Database Engine Configuration)/データ ディレクト リ(Data Directories)タブ/FILESTREAM タブ	オプションで、残りのパスを設定します。 FILESTREAM タブでデフォルトの設定を保持 します。
インストールの進行状況(Installation Progress)	インストールには長い時間がかかる場合もあり ます。 進行状況バーに <b>セットアップ処理が完了しまし た(Setup process complete)</b> が表示された ら、 <b>次へ</b> (Next)をクリックします。

スクリーン	動作
完全	<b>閉じる</b> をクリックします。
	コンピュータを再起動する必要があるとする メッセージが表示された場合は、 <b>OK</b> をクリッ クします。 再起動が自動的に開始されない場 合は、コンピュータを手動で再起動します。

#### SQL Server Management Studio $\sigma \tau \lambda h - \mu$

SQL Server Express データベースを管理するには、SQL Server Management Studio (SSMS) をインストールします。

SQL Server Management Studio のインストールの詳細については、 https://docs.microsoft.com/en-us/ にアクセスし、SQL Server をクリックしてから、SQL Server Management Studio (SSMS) をクリックしてください。

### SQL Server Express のインストール後

SQL Server Express を、Microsoft から入手可能な最新のサービス パックまたは累積更新プログラムで更新し最新の状態に保ちます。

詳細については、https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ にアクセスし、SQL Server の最新の更新プログラム (latest updates for SQL Server) を検索してください。

リモート クライアントから SQL Server Express インスタンスに接続する場合は、サーバーがリ モート接続を承認するように構成し、TCP/IP プロトコルを有効にします。 SQL Server の TCP ポートをデフォルトの動的ポート番号ではなく、固定ポート番号に指定します。

#### SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にする

SQLサーバーのリモート アクセス オプションを有効にするには:

- Windows のスタート (Start) メニューから、Microsoft SQL Server ツール (Microsoft SQL Server Tools) > Microsoft SQL Server Management Studioをクリックしま す。
- 2. SQL Server のインスタンス名を選択してシステム管理者としてログインします。
- 3. サーバーを右クリックし、プロパティを選択します。
- 4. サーバーのプロパティ ダイアログボックスで、接続をクリックします。
- 5. 右側パネルの**リモート サーバー接続**で、**このサーバーへのリモート接続を許可する**が選択され ていることを確認し、**OK**をクリックします。
- 6. SQL Server Management Studioを終了します。

#### SQL Server TCP/IP プロトコルのアクティブ化

SQL Server TCP/IP プロトコルをアクティブ化するには:

- Windows のスタート (Start) メニューから、Microsoft SQL Server バージョン > SQL Server バージョン構成マネージャー (Configuration Manager) をクリックします。
- 左側のパネルで、SQL Server ネットワークの構成(SQL Server Network Configuration)を展開し、<インスタンス名>のプロトコル(Protocols for <instance name>)をクリックします。
- 右側のパネルで、TCP/IPが有効なことを確認します。
   TCP/IP が無効になっている場合は、TCP/IP を右クリックして有効にする(Enable)を選択します。
- 4. 左側パネルで SQL Server サービス (SQL Server Services) を選択します。
- 5. **SQL Server**(**<インスタンス名>**)(**SQL Server**(**<instance name>**))を右クリッ クして**再起動**(**Restart**)を選択します。
- 6. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

#### 固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを設定する

SQL Server Express インスタンスは、デフォルトでダイナミック ポートで待ち受けます。 SQL Server サービスが開始されると、ポート番号が変わります。 サーバーでファイアウォールが有効 になっていると、クライアントのアクセスを許可するようにポート例外を設定することは難しくな ります。

SQL Server アクセスに関するファイアウォールの設定について詳しくは、 https://msdn.microsoft.com/en-us/library/cc646023(v=sql.120).aspxを参照して ください。

#### 固定 TCP ポートで待ち受けるするように SQL Server Express インスタンスを設定するには:

- Windows のスタート(Start) メニューから、Microsoft SQL Server バージョン > SQL Server バージョン構成マネージャー(Configuration Manager) をクリックします。
- 左側のパネルで、SQL Server ネットワークの構成 (SQL Server Network Configuration) を展開し、<インスタンス名>のプロトコル (Protocols for <instance name>) をクリックします。
- 3. TCP/IP をダブルクリックして IP アドレス (IP Addresses) タブを選択します。
- 4. IPAll の TCP ダイナミック ポート (TCP Dynamic Ports) の値をクリアします。
- 5. **TCP ポート(TCP Port**)を SQL Server Express インスタンスが待ち受ける固定ポート番号に設定します。
  - SQL Express だけがシステムの SQL Server インスタンスである場合、ポートを 1433 に 設定します。
  - 他の SQL Server インスタンスがシステムにある場合は、ポートを固有の値(1440 など) に設定します。
- 6. **OK** をクリックします。
- 7. 左側パネルで **SQL Server サービス(SQL Server Services**)を選択します。
- 8. SQL Server (<**インスタンス名**>) (SQL Server (<**instance name**>)) を右クリッ クして**再起動** (**Restart**) を選択します。

- 9. SQL Server Browser をダブルクリックし、サービス(Service) タブを選択します。
- 10. 開始モード (Start Mode) を自動 (Automatic) に設定して OK をクリックします。
- 11. SQL Server Browser を右クリックし、サービスが実行中でなければ開始します。

SQL Server Express インストレーションの確認

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、Microsoft SQL Server バージョン > SQL Server バージョン構成マネージャー (Configuration Manager) をクリックします。
- SQL Server サービス (SQL Server Services) をクリックし、SQL Server (<インス タンス名>) (SQL Server (<instance name >)) が実行中であるかどうか確認します。
- 3. 実行されていない場合、If it is not, start the service by right-clicking **SQL Server**(**<イ** ンスタンス名>)(SQL Server (<instance name >))を右クリックして開始(Start) を選択します。
- 4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

SQL Server Express を SQL Server にアップグレード

- すべてのファイル ボルト データベースと ConisioMasterDb をバックアップします。
   詳細は、ファイルボルトのバックアップと復元(Backing Up and Restoring File Vaults) (138ページ)を参照してください。
- 2. Windows ファイル エクスプローラを含むすべての Windows アプリケーションを閉じます。
- 3. SQL Server のインストールを開始します。
- SQL Server インストール センター (SQL Server Installation Center) ページの左パネルで メンテナンス (Maintenance) を選択します。
- 5. エディションのアップグレード(Edition Upgrade)を選択します。

## SOLIDWORKS PDM のインストール

この章では以下の項目を含みます:

- インストール メディアのダウンロード
- SOLIDWORKS Installation Manager を介したインストールの開始
- InstallShield ウィザードを介したインストールの開始
- SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール
- SolidNetWorkライセンスのインストールと設定(Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)
- SOLIDWORKS PDM Web2 のインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)
- SOLIDWORKS PDM Web API サーバーのインストール (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)
- SOLIDWORKS PDM クライアントのインストール

SOLIDWORKS のメディアにはサーバー コンポーネントとクライアント コンポーネントが含まれています。

各サーバー コンポーネントは個別にインストールすることも、複数のコンポーネントを選択して一度に インストールすることもできます。

例えば、データベース サーバーとアーカイブ サーバーを同じコンピュータにインストールするには、サーバー インストール(Server Installation)で両方のオプションを選択します。

複数のコンポーネントをインストールする際には、これらのコンポーネントに適切な画面が表示されま す。本章では説明を簡潔にするため、個別にインストールする手順を説明します。

SOLIDWORKS PDM Standard または SOLIDWORKS PDM Professional は次のものを使用してイン ストールできます:

- SOLIDWORKS PDM InstallShield ウィザード
- SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM)

SOLIDWORKS PDM InstallShield ウィザードを使用する場合は、SolidNetWork License Manager を別個にインストールする必要があります。 SLDIM を使用する場合、SolidNetWork License Manager は SOLIDWORKS PDM と一緒にインストールできます。

SOLIDWORKS PDM クライアントと SOLIDWORKS PDM サーバーを別のマシンまたは同じマシンに インストールできます。 両方を同じマシンにインストールするには、サーバー インストールを実行する 必要があります。 クライアントとサーバーを別個のインストールを使用して同じマシンにインストールすることはできま せん。

次のコンポーネントをインストールしてから SOLIDWORKS PDM をインストールします。

- MSXML 6.0
- .NET Framework 4.5 以降
- Visual C++ 2015 Redistributable x64
- Visual C++ 2017 Redistributable x64
- Microsoft ODBC ドライバ 17.3 以降
- Microsoft Edge WebView2

必須コンポーネントのインストール ファイルは、インストール メディアの \PreReqs\ ディレクトリ に用意されています。Microsoft Edge WebView2 のインストール ファイルは \SLDIM\ ディレクト リの下にあります。

SOLIDWORKS Installation Manager を使用して SOLIDWORKS PDM をインストールする場合、 前提条件のコンポーネントが自動的にインストールされます。

クライアントとサーバーに SQL Server 用の Microsoft ODBC ドライバ 17.3 以降をインストールします。

## インストール メディアのダウンロード

SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM)を使用して、インストール メディアをダウン ロードできます。 SLDIM または InstallShield ウィザードを使用して、SOLIDWORKS PDM を インストールできます。

インストール メディアをダウンロードするには:

- SOLIDWORKS Installation Manager を使用して、インストールするサーバー製品とクライ アント製品をダウンロードします。
   ダウンロードされたファイルがインストール メディアです。
- オプション:他のコンピュータにインストールするには、インストールメディアを共有ドライ ブまたはポータブルドライブにコピーします。

#### SOLIDWORKS Installation Manager を介したインストールの開始

#### SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM) を介してインストールを開始するには:

- 1. インストール メディアを参照します。
- setup.exeを実行します。
   SLDIM を介したインストールの詳細については、「SOLIDWORKS Installation Manager の使用(94ページ)」を参照してください。

## InstallShield ウィザードを介したインストールの開始

すべての前提条件を満たしていることを確認します。 詳細は、 SOLIDWORKS PDM のインス トール(41ページ)を参照してください。

SOLIDWORKS PDM のインストール開始方法はすべて共通しています。

#### InstallShield ウィザードを介してインストールを開始するには:

- 1. インストール メディアを参照します。
- 2. SWPDMServer フォルダで、\SWPDMServer\setup.exe を実行して SOLIDWORKS PDM Server をインストールします。
- 3. SWPDMClient フォルダで、\SWPDMClient\setup.exe を実行して SOLIDWORKS PDM Client をインストールします。

終了すると、インストール ウィザードの処理が続行されます。 以下の手順に従ってインストールを 実行します。

画面	動作
ようこそ	<b>次へ(Next)</b> をクリックします。
ライセンス契約書	 使用許諾契約を読み、 <b>次へ(Next</b> ) をクリックします。
インストール先フォルダ (Destination Folder)	デフォルトのインストール先を使用する場合、 <b>次へ(Next)</b> をクリッ クします。
	異なるインストレーション位置を指定するには:
	<ol> <li>2. 新しい位置を参照します。</li> <li>3. OK をクリックします。</li> <li>4. 次へ(Next)をクリックします。</li> </ol>
PDM 製品の選択	次のいずれかを選択してインストールします: • SOLIDWORKS PDM Standard • SOLIDWORKS PDM Professional

### SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのインストール

データベース サーバーは通知やローカル ビューのリフレッシュ、複製スケジュールの更新、イン デックス サーバーの変更などがあったかどうか調べるために SOLIDWORKS PDM データベースを 定期的にポーリングします。

以下を行うために必要です。

自動的な通知	状態の変更、チェックアウト、チェックイン、追加、期限等のワー クフローその他の自動通知
ビューの更新	ファイルボルト ビューおよびアドインのリストの自動更新(リフ レッシュ)
カード リストの更新	SQLクエリを使用するカード リストの定期的な更新
コールド ストアのスケジュー リング	コールド ストアのスケジュールに対する変更をアーカイブ サーバー にアップデート
複製のスケジューリング	複製のスケジュールに対する変更をアーカイブ サーバーにアップ デート
インデックス サーバーの管理	コンテンツ検索に使用するインデックス サービスの管理
データのインポート/エクス ポート	事前定義された間隔でデータ インポートおよびエクスポート ルー ルを実行

データベース サーバーはMicrosoft SQLサーバーと同じシステムにインストールすることを推奨し ます。 別のシステムにインストールすることも可能ですが、ネットワークのオーバーヘッドが発生 します。

- データベースサーバーをインストールする前に(Before Installing the Database Server)
  - データベース サーバーがTCPポート3030を使ってアーカイブ サーバーへ、そしてTCPポート 1433を使ってSQLサーバーにアクセス可能であることを確認してください。
  - 以下の情報を調べてください。
    - SQLサーバー名
    - 読み取り/書き込みアクセスを持つSQLユーザー アカウントの名前およびパスワード

読み取り/書き込みアクセスを有するユーザーの名前が分からない場合、これらの権限を持つSQL sa アカウントを使用できます。 また、この用途のためにログインを作成することもできます。 詳細は*SQL サーバーのログイン アカウントを変更する*を参照してください。

データベース サーバー インストールの実行 (Performing the Database Server Installation)

- 1. データベース サーバーをインストールするシステムに、ローカルな管理者権限でローカルにロ グイン、あるいはリモート ログインします。
- 2. SOLIDWORKS PDM のインストールの開始の説明に従って、インストールを開始します。

3. 以下の手順に従ってインストールを完了します。

画面	操作		
サーバー インストール(Server Installation)	<b>データベース サーバー</b> (Database Server)を選択して <b>次へ</b> をクリックします。		
	同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをイン ストールできます。		
	SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインス トールする場合、 <b>クライアント(client)</b> も選択する必 要があります。		
	クライアントのインストールの詳細は、インストール ウィ ザードを使ったクライアントのインストール(Installing Clients Using the Installation Wizard)を参照してくだ さい。		
SOLIDWORKS PDM データベー ス サーバー SQL ログイン	a. ファイル ボルト データベースをホストする SQL サー バーの名前を入力します。		
	SQL サーバーが名前付きインスタンスで実行され ている場合は、次の形式でサーバー名を入力しま す: <i>サーバー名\インスタンス名</i>		
	<ul> <li>b. ログイン名 (Login name) フィールドに、SQL サーバー上でホストされているすべての SOLIDWORKS PDM データベース (ファイル ボル ト データベースと ConisioMasterDb) に対する読 み取り/書き込みアクセス (例、db_owner 権限) を 持つサーバー上の SQL ユーザーの名前を入力します。</li> <li>c. パスワード (Password) フィールドにはそのSQLユー ザーのパスワードを入力します。</li> </ul>		
	d. 次へ (Next) をクリックします。 ログイン情報は検証されません。 SQL サーバー名と資 格情報が有効であることを確認してください。有効でな い場合は、通知などのデータベース サーバーの更新処 理に失敗します。		
プログラムをインストールする進			

プログラムをインストールする準 インストール(Install)をクリックします。 備ができました

**InstallShield ウィザード完了 完了 (Finish)** をクリックします。

#### SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストール

アーカイブ サーバーはファイルボルトに格納された物理ファイル(図面、ドキュメントなど)をホ ストし、ユーザーとその認証情報を管理します。

SOLIDWORKS PDM を使用するすべてのクライアントは、1 つあるいは複数のファイルボルト アーカイブをホストする 1 つあるいは複数のアーカイブ サーバーに接続しなければなりません。

アーカイブ サーバーはインストールされているコンピュータ上のシステム アカウントのサービスと して実行され、クライアントとファイルボルト アーカイブ間でファイルの送信、受信を行います。 また、パスワードやユーザーのログイン情報も格納します。 1つあるいは複数のファイルボルト アーカイブをホストする各コンピュータに必要なアーカイブ サーバーは1つだけです。

複製環境では、同じファイルボルト アーカイブの複製コピーをホストするために複数のアーカイブ サーバーをセットアップすることも可能です。 SOLIDWORKS PDM Professional 複製ガイドを 参照してください。

アーカイブ サーバーに接続する際の問題を回避するために、サーバー名は15文字以下にしてくだ さい。

アーカイブ サーバーをインストールする前に(Before Installing the Archive Server)

アーカイブ サーバー インストールに必要なユーザー、アカウント、権限を設定します。

アーカイブ フォルダのア システム アカウントは、アーカイブ フォルダとして指定されたフォル
 クセス権限
 ダ内にフォルダやファイルを作成する完全なアクセス権限を持っていな
 ければなりません。 アーカイブ フォルダはアーカイブ サーバー サービスがファイルの読み取り/書き込みを実行できるネットワーク共有上に設定することもできます。

アーカイブ サーバー サービスのログオン アカウントをサービス プ ロパティでシステムアカウント以外のユーザーに変更に指定すること もできます。

SQLユーザー アカウント ファイルボルト データベースとやりとりする SQL ユーザーは、少なく とも SQL サーバー上の既存のファイルボルト データベースに対する db\_owner 権限を有している必要があります。 SQLサーバー インストール時に作成された**sa** アカウントを使用するこ ともできます。

SQL ログインの詳細については、*SQL サーバーのログイン アカウント を変更する*を参照してください。

<ul> <li>ドメイン ユーザーを使用するには、ドメイン コントローラ上でドメ イン グループを作成し、SOLIDWORKS PDM Professional にログ インするべきドメイン ユーザーを追加します。</li> <li>インストール時に、検索するユーザーまたはグループ(Find User or Group) ダイアログを使ってドメイン グループを追加します。 これにより SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツール でこのユーザーが表示されます。</li> <li>インストール後、アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ツールを実行してユーザーやグループの割り当てを追加、変更す ることができます。</li> </ul>	ドメイン ユーザーを使用するには、 イン グループを作成し、SOLIDWの インするべきドメイン ユーザーを ・ インストール時に、検索するユー or Group) ダイアログを使って これにより SOLIDWORKS PDM でこのユーザーが表示されます。	前もってユーザーとグループを作成
<ul> <li>インストール時に、検索するユーザーまたはグループ(Find User or Group)ダイアログを使ってドメイングループを追加します。 これにより SOLIDWORKS PDM アドミニストレーションツール でこのユーザーが表示されます。</li> <li>インストール後、アーカイブサーバーコンフィギュレーション ツールを実行してユーザーやグループの割り当てを追加、変更す ることができます。</li> </ul>	<ul> <li>インストール時に、検索するユー or Group)ダイアログを使って これにより SOLIDWORKS PDM でこのユーザーが表示されます。</li> </ul>	ドメイン コントローラ上でドメ ORKS PDM Professional にログ 追加します。
	<ul> <li>インストール後、アーカイブ サ ツールを実行してユーザーやグ/ ることができます。</li> </ul>	ーザーまたはグループ(Find User ドメイン グループを追加します。 ¶ アドミニストレーション ツール , ーバー コンフィギュレーション ループの割り当てを追加、変更す

アーカイブ サーバー インストールの実行 (Performing the Archive Server Installation)

- 1. アーカイブ サーバーをインストールしようとするシステムで、ローカルに管理者権限を持つ ユーザーとしてログインします。
- 2. InstallShield ウィザードを介したインストールの開始(43ページ)の手順に従ってインストー ルを開始します。

3. 以下の手順に従ってインストールを実行します。

画面	操作
サーバー インストール(Server Installation)	<b>アーカイブ サーバー(Archive Server</b> )を選択して <b>次へ</b> をクリックします。
	同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインス トールできます。
	SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインストー ルする場合、 <b>クライアント(client</b> )も選択する必要が あります。
	クライアントのインストールの詳細は、インストール ウィ ザードを使ったクライアントのインストール(Installing Clients Using the Installation Wizard)を参照してくだ さい。
プログラムをインストールする準 借いできました	インストール(Install)をクリックします。
	ローカル セキュリティ ネットワーク アクセスを、ゲス トのみ(Guests only)からクラシック(Classic)に変 更するように求めるメッセージが表示されたら、 <b>はい</b> ( <b>Yes</b> )をクリックして変更を受け入れます。
	新規インストールの場合は、インストールが完了するとアー カイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザードが表 示されます。
	(Yes) をクリックして変更を受け入れます。 新規インストールの場合は、インストールが完了するとアー カイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザードが表 示されます。

## アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

ようこそ 次へ (Next) をクリックします。

## アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード アーカイブ フォル a. 以下のいずれかを行います。 ダ アーカイブ フォルダとしてデフォルトの場所を使用します。 以下のいずれかを実行して場所を変更します: • 参照(Browse)ボタンをクリックしてフォルダを指定する。 パスを入力する。 指定されたパスが存在しない場合、作成するかどうかをたず ねられます。 ルート フォルダ パスには Archives という名前が付けられま す。この名前は後に、クライアントからビュー セットアップ (View Setup) ウィザードを使用してファイル ボルトをセット アップあるいは接続する際に使用されます。 アーカイブ フォルダとそのサブフォルダ (つまり、ファイル) ボルト アーカイブ)を毎日のバックアップ ルーチンに含めて ください。 b. 次へ (Next) をクリックします。 Adminパスワード a. Adminユーザーのパスワードの入力と確認をします。 Adminユーザー アカウントにはファイルボルトに対する完全な管理 者権限が与えられます。管理者は、ユーザーを作成し、ワークフロー を設定し、ファイルを削除するなどを行うことができます。 唯一つ のユーザーが新たに作成されたファイルボルトに存在しています。 パスワードは、アーカイブサーバー コンフィギュレーション ツール (Archive Server Configuration)でいつでも変更できます。 b. 次へ (Next) をクリックします。 **1**F - -

	h	次へ(Next)をクリック」ます
		SQLサーバー上の権限が低いSQLユーザーを指定した場合、このユー ザーには新規ファイルボルトに対してはdb_owner権限が割り当てら れます。
		SQL サーバーのシステム管理者ユーザー <b>sa</b> を使うことができます。
インとパスワード	a.	SQLサーバーでホストされるファイルボルト データベースと通信す るSQLユーザーのログイン情報を入力します。

D.  $\chi'$  (Next) をクリックします。

#### アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

 セキュリティ アーカイブ サーバーにアクセスできる Windows ユーザー アカウントを 定義するには、利用可能なユーザーおよびグループ(Available users and groups)からアカウントを選択し、管理者アクセス (Administrative access)またはアタッチ アクセス(Attach access)の矢印をクリックします。

- **利用可能な** デフォルトでシステム上の全てのローカル ユーザーとグ **ユーザーおよ** ループが表示されます。
- **びグループ** ドメイン アカウントをリストに追加するには:
  - a. 検索するユーザーまたはグループ(Find User or Group)をクリックします。
  - b. 検索するユーザーまたはグループ(Find User or Group)ダイアログボックスで、追加するユーザー またはグループアカウントを検索します。例えば、 ドメイングループを追加するには、 domain\groupnameを入力してOKをクリックし ます。
- 管理者アクセ 新規ファイルボルトを作成する、またはアーカイブサー
   ス バーにある既存のファイルボルトを削除、追加、更新する権限を割り当てます。

ファイルボルトを作成する際には、このセクションに追加されたアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

**アタッチ アク** アーカイブ サーバーで管理する既存のファイル ボルト セス に接続する権限を割り当てます。

> ファイルボルト ビューを作成する、またはファイルボル トに接続する際には、このセクションに追加されたアカ ウントのユーザー名とパスワードを入力します。

## アーカイブ サーバー コンフィギュレーション ウィザード

ログイン タイプ	このアーカイブ サ- 際にデフォルトで使	-バー上で管理される新規ファイルボルトを作成する 可する認証方法を選択します。
	SOLIDWORKS PDM ログイン	SOLIDWORKS PDM ユーザー名およびパスワード はアーカイブサーバー上に格納されます。 SOLIDWORKS PDM クライアントのアドミニスト レーション ツールを使用して追加および削除できま す。
	Windows ログイ ン(Windows login) (SOLIDWORKS	ファイルボルトへのログインを、ログインしている Windowsユーザーと同期化します(アクティブディ レクトリ)。 パスワードおよびユーザー名は標準の Windowsアカウント管理を使って定義されます。
	PDM Professional の み)	Windowsログイン設定ダイアログボックスで、 <b>利用</b> <b>可能なユーザーとグループ</b> (Available users and groups)からアカウントを選択し、右矢印ボタンを 使って <b>追加されたユーザーとグループ</b> (Added users and groups) に追加します。
		ドメイン アカウントをリストに追加するには:
		<ul> <li>a. 検索するユーザーまたはグループ(Find User or Group)をクリックします。</li> <li>b. 検索するユーザーまたはグループ(Find User or Group)ダイアログボックスで、追加するユーザーまたはグループアカウントを検索します。例えば、ドメイングループを追加するには、domain\groupnameを入力してOKをクリックします。</li> </ul>
	LDAP ログイン (LDAP login) (SOLIDWORKS PDM Professional の み)	LDAPメソッドを使っているサーバー(例えばNovell サーバー等)からユーザー アカウントを取得しま す。 これらのユーザーは、アドミニストレーション ツールでユーザーをファイルボルトに追加する際に 表示されます。 パスワードおよびユーザー名はこれ らのアカウントを管理するLDAPサーバー上で定義さ れます。
		LDAPを使っているサーバーに対する接続設定を定義 するには:
	サーバー名 L (Server name)	DAP サーバーの名前あるいは IP アドレスを入力します。
	ポート(Port) #- ラ	-バーでLDAPのために使われたポートを入力します。 デ フォルトポートは389です。

アーカイブ サーバー	ー コンフィギュレーション ウィザード		
	コンテキスト (Contexts)	ユーザー マネージャーにリストされるユーザーのコン テキストを少なくとも 1 つ追加してください。 コンテキスト名は、識別できる名前として入力されなけ ればなりません。例えば、O-company, OU=department, O=company または CN=Users, DC=company, DC=com です。	
	ユーザー コンテ キスト	アーカイブ サーバーがLDAPサーバーに接続するのに使 用するユーザーログインのコンテキストを入力します。	
	ユーザー名 (Username)	選択されたユーザーコンテキストに含まれるユーザー名 を入力します。 このユーザーは、アーカイブ サーバー がLDAPサーバーに接続するために使用されます。	
	パスワード	選択されたユーザーのパスワードを入力してください。	
完了しました	完了(Finish) <sup>;</sup>	をクリックします。	

# **クライアント**/サーバー通信のためにポートを開く (Opening Ports for Client/Server Communication)

Windows Server および Windows 10 では、デフォルトでビルトイン ファイアウォールが有効に 設定されています。 これによって、TCP/IP インターフェイスを介した接続を必要とするアプリケー ションへのネットワーク アクセスが制限される場合があります。

アーカイブ サーバーはTCP</Z1>ポート3030</Z2>を使ってクライアントと通信しています。 SOLIDWORKS PDM が受信接続を受け付けるようにするには、ファイアウォールでこのポートを 完全に開いておく必要があります。 このポートが開いていないと、アーカイブ サーバーは利用でき ません。

推奨事項:対応する UDP ポートの受信トラフィックを許可し、サーバーがネットワーク上でブロー ドキャスト(自身をアナウンス)できるようにします。 たとえば、ユーザーがクライアントから サーバーに接続するための名前をリストに表示します。

SQL Server がクライアントと通信できるようにするには、TCP ポート 1433 と 1434 を開く必要 があります。

クライアント ライセンスをチェックアウトするには、SolidNetWork ライセンス サーバーでポート 25734 と 25735 を開く必要があります。

次の表に、到達可能でなければならないポートの要約を示します。 リッスンまたは受信側でファイ アウォール ポートを開きます。

			通信の開始元		
受話と受信	顧客	アーカイブ サーバー	データベース サービス	SQL サー バー	Web サー バー
顧客					
アーカイブ サーバー	3030	3030	3030		3030
データベース サービ ス					
SQL サーバー	1433/1434	1433/1434	1433/1434		1433/1434
SNL サーバー	25734/25735				25734/25735

送信フィルタリングはデフォルトで無効になっています。 しかし、組織のネットワークで許可され るアプリケーションのみにトラフィックを制限する送信ルールが管理者によって作成されている可 能性があります。 SOLIDWORKS PDM クライアントまたは複製サーバーが SQL サーバーまたは アーカイブ サーバーに到達できない場合は、ネットワーク管理者により Windows ファイアウォー ル設定でサーバー ポートへのアクセスが制限されていないことを確認してください。

SOLIDWORKS PDM Standard ボルトは、デフォルトで、ダイナミック ポートで待ち受ける SQL Server Express を使用します。 SQL Server インスタンスをファイアウォールで開いた固定ポー トに設定します。 これは、追加のカスタム SQL Server インスタンスにも当てはまります。 詳細 は、**固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを設定する**を参照し てください。

#### Windows および Windows Server システムでポートを開く

セキュリティが強化された Windows ファイアウォールを使用して、クライアントと通信するため に必要なポートを開くことができます。

受信 SOLIDWORKS PDM トラフィックのための TCP および UPD ポートを有効にするポート ルー ルを作成します。

まずアーカイブ サーバー用のポートを開きます。 次に、同じ手順に従って SQL サーバーと Web サーバー用のポートを開きます。

#### アーカイブ サーバー用のポートを開くには:

- 1. **コントロール パネル** を開きます。
- 2. コンピューターの設定を調整します ページで システムとセキュリティ をクリックします。
- 3. 右側パネルで、Windows ファイアウォール(Windows Firewall)をダブルクリックします。
- 4. 左側パネルで**詳細設定**(Advanced settings)をクリックします。
- 5. 右側パネルで、View and create firewall rulesの下で、Inbound Rulesをクリックし ます。
- 6. さらに右側のパネルでActions, Inbound Rulesの下で、New Ruleを作成します。
- New Inbound Rule Wizard で、ルール タイプ 画面の右パネルで、ポート を選択し 次へ を クリックします。

- 8. プロトコルとポート 画面の右パネルで:
  - a) **TCP** を選択します。
  - b) 特定のローカル ポート を選択し 3030 を入力します。
  - c) 次へ をクリックします。
- 9. 動作 画面の右パネルで、接続を許可 を選択し 次へ をクリックします。
- 10. プロファイル 画面の右パネルで、Public を選択解除し次へ をクリックします。
- 11. 名前画面で名前に例外名 (Enable TCP port 3030 for inbound SOLIDWORKS PDM traffic など)を入力し、完了をクリックします。

ウィザードは終了し、ルールはinbound ルールのリストに加えられます。 デフォルトで利用可 能です。

- 12. 手順 6 から 11 を繰り返し、UDP ポート 3030 用の受信ルールを作成します。
- 13. SQL Server をホストしているシステムで、手順 6 から 12 を繰り返し、ポート 1433 および 1434 に対する受信 TCP および UDP ルールを作成します。
- 14. SolidNetwork License Server をホストしているシステムで、手順 6 から 12 を繰り返し、 ポート 25734 および 25735 に対する受信 TCP ルールを作成します。
- 15. Web サーバーをホストしているシステムで、手順 6 から 12 を繰り返し、ポート 80 および 443 に対する受信 TCP および UDP ルールを作成します。
- 16. **ファイル(File)** > 終了(Exit) Windows Firewall with Advanced Security をクリックして ウィンドウを閉じます。
- 17. コントロール パネル を閉じます。

## WAN 環境でのアーカイブ サーバーの追加 (Adding Archive Servers in a WAN Environment)

通常、SOLIDWORKS PDM クライアントは、サーバーのシステム名を使用してアーカイブ サー バーおよび SQL サーバーと通信するように設定されています。 これらのシステム名は IP アドレ スに変換されます。

この名前の検索が失敗するか、または遅い場合、次の問題に起因することがあります:

- クライアントは、どのサーバーも見つけられません。これは、サブネットまたはWAN構成を使用する際の共通の問題です。
- ログイン、参照、ファイルの追加など、SOLIDWORKS PDM 機能を使用した全体的なパフォーマンスが遅くなります。
- SOLIDWORKS PDM Professional の場合、サーバー間の複製は失敗します。

#### サーバー名を解決できることを検証(Verifying That the Server Name Can Be Resolved)

最適なパフォーマンスを確実にするには、DNSサーバーの構成が名前を正しく効率良く解決するように設定されていることを確認してください。

1. **スタート(Start) > ファイル名を指定して実行(Run) > CMD**でコマンド プロンプトを 開きます。 Ping Ping server\_name と入力します。
 名前でサーバーに接続できる場合は、サーバーのIPアドレスを含む応答が表示されます。 例:

PING SRV-DEV-15 Reply from 192.168.1.71: bytes=32 time<1ms

TTL=128

正しいIPが返されていることを確認します。
 DNSが間違ったIPアドレスを返す場合、サーバー以外の別のシステムが応答しています。
 サーバー名を解決できない場合は、DNSサーバーの構成が正しくありません。 例:

PING SRV-DEV-15 Ping request could not find host SRV-DEV-15. Please check the name and try again.

サーバー名を解決するようにホストファイルを構成(Configuring the Hosts File to Resolve the Server Name)

DNSサーバーを構成できない、またはパフォーマンスが改善されない場合は、クライアントのホストファイルを正しいサーバー名とIPアドレスで更新してください。これは、サーバーのアドレスに対してDNSの名前解決を待つのではなく、ホストファイルが直接クエリされることを確実にします。

サーバー名を解決するようにホスト ファイルを構成するには:

- SOLIDWORKS PDM クライアントでホスト ファイルの場所を探します。 デフォルトの格納場所は以下のとおりです: C:\Windows\System32\Drivers\Etc\
- 2. 管理者としてテキスト エディタ(メモ帳など)でファイルを開きます。
- 新しい行を追加し、サーバーIPアドレスに続けてサーバー名を入力します。
   例:

192.168.1.71 SRV-DEV-15

- 4. SOLIDWORKS PDM 使用するその他のサーバーすべてに対して、手順 3 を繰り返します。
- 5. ホスト ファイルを保存して閉じます。

# SolidNetWorkライセンスのインストールと設定(Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)

SOLIDWORKS PDM は、SolidNetWork License(SNL)Manager を使用してライセンスを管理 します。SolidNetWork ライセンスのインストールには次の作業が含まれます:

SolidNetWork License Manager をインストールする。

SolidNetWork License Manager がすでに SOLIDWORKS 用にインストールされている場合は、SOLIDWORKS PDM で使用できます。SOLIDWORKS PDM リリース バージョンに 更新されていることを確認する必要があります。

SOLIDWORKS 2022 以降では、SolidNetWork ライセンス製品は、以前のリリースからの ライセンス製品であっても、毎年再アクティブ化する必要があります。

- クライアント ライセンスをアクティブ化する。
- SolidNetWork License サーバーをファイル ボルトで使用するように構成します。
- SolidNetWork License サーバーがすべてのクライアントからアクセス可能であることを確認する。

#### SolidNetWork License Manager のインストール

SolidNetWork ライセンスのシリアル番号を使用して、SolidNetWork License Manager を、す べてのクライアントにアクセスできるサーバー(SQL データベース サーバーが望ましい)にインス トールします。

SolidNetWork License ソフトウェアは、SOLIDWORKS のインストール メディアに含まれます。

## スタンドアロンのインストーラから SolidNetWork License Manager をインストールするには:

- 1. SOLIDWORKS のインストール メディアの適切な setup フォルダにディレクトリを変更しま す。
- 2. SOLIDWORKS Installation Manager が起動した場合は、キャンセルします。
- 3. swlicmgr\setup.exe を実行してインストールを開始します。
- 4. SolidNetWork ライセンスのシリアル番号を入力します。 シリアル番号を複数お持ちの場合は、番号ごとにカンマで区切って入力してください。
- 5. デフォルトのインストール フォルダのまま、次へ (Next) をクリックします。
- 6. **インストール**(Install)をクリックします。

#### SolidNetWorkライセンス アクティベーション(Activating a SolidNetWork License)

SOLIDWORKS PDM ボルトにクライアントとしてログインするために、SolidNetWork ライセン スをアクティブ化できます。

#### SolidNetWork ライセンスをアクティブ化するには、以下を行います。

- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリック して SolidNetWork License Manager を起動します。
- アクティブ化を求めるプロンプトが表示されたら、はい(Yes)をクリックします。
   SolidNetWork ライセンスをアクティブ化している場合は、変更(Modify)をクリックします。

- 3. SolidNetWork ライセンス サーバー情報(SolidNetWork License Server Information)画 面で以下を行います。
  - 会社でファイアウォールを使用している場合は、このサーバーのファイアウォールは使用中です(A firewall is in use on this server)を選択します。

詳細は、SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用(Using SolidNetWork License Server with Firewalls)(57ページ) を参照してください。

 ポート番号(Port Number) (およびファイアウォールを使用している場合は ベンダー デーモン ポート番号(Vendor Daemon Port Number))にはデフォルト値を使用す るか、または会社で使用しているポート番号を指定します。

ポート番号は、1024 - 60000 の範囲内の TCP/IP ポート番号で、これは他のプロセス では使用できません。 通常、デフォルト(25734)が好ましく、ライセンス マネージャー サーバーで利用可能な他の FlexNet サーバーのプロセスと一致する可能性が少ないとい えます。

- 4. SOLIDWORKS 製品のアクティブ化(Activate Your SOLIDWORKS Product)画面で以下を 行います。
  - インターネットか電子メールのプロセスを選択します。
  - 電子メールの連絡先を入力します。
  - 次へ(Next) をクリックし、続行します。
    - インターネットの場合: アクティベーションは自動的に行われます。
    - 電子メール: 保存(Save)をクリックしてリクエストファイルを作成し、ファイルを activation@solidworks.comに送信します。レスポンスファイルを含む電子メールを 受信したら、電子メールからファイルを抽出し、開く(Open)をクリックしてファイル を読み込みます。

必要に応じて、アクティベーション手順を終了してから再び実行してレスポンス ファ イルを開きます。

5. **完了**(**Finish**)をクリックします。

SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用(Using SolidNetWork License Server with Firewalls)

サーバーでファイアウォールを使用している場合は、SolidNetWork ライセンスをサポートするようにポートを構成する必要があります。

ファイアウォールはサーバー側で構成する必要があります。

WindowsファイアウォールのためのSolidNetWork License Manager設定の変更(Modifying SolidNetWork License Manager Settings for Windows Firewall)

Windows ファイアウォールを使用している場合は、ファイアウォール ポートを使用してライセン ス クライアント コンピュータにライセンスを配布するために、SolidNetWork ライセンス ファイ ルを変更する必要があります。

- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS ツール(SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリック して SolidNetWork License Manager を起動します。
- 2. **ライセンス サーバー(License Server)**のサーバー アドミニストレーション(Server Administration)タブで**停止(Stop)**をクリックします。 (確認を求めるプロンプトが表示 されたら、**はい(Yes)**と **OK** をクリックし、ライセンス サーバーの停止を完了します。)
- 3. ライセンス情報(License Information)で変更(Modify)をクリックします。
- 4. サーバー タイプ (Server Type) でネットワークのサーバー配置 (単一 (Single) または 3 サーバー (Triad)) を選択してから、次へ (Next) をクリックします。
- 5. **サーバー情報 (Server Information**) で以下を行います:
  - a) **このサーバーのファイアウォールは使用中です**(A firewall is in use on this server) を選択します。
  - b) ポート番号とベンダー デーモン ポート番号には、Windows ファイアウォールに指定した ポート番号が含まれていなければなりません。
  - c) オプション ファイル (Options File) を選択し、参照 (Browse) をクリックしてファ イルを見つけます。 編集 (Edit) をクリックして、任意のパラメータを変更します。

オプション ファイルを使用することで、ライセンス管理者は FlexNet ライセンスのさ まざまな操作パラメータを制御できます。

推奨事項: オプション ファイルの場所は、SolidNetWork License Manager のインス トレーション ディレクトリ

(*SolidNetWork\_License\_Manager\_install\_dir*\Licenses \sw\_d.opt) です。 このファイルは、sw\_d.lic ファイルと同じディレクトリにある必要がありま す。

オプション ファイルの詳細については、SolidNetWork License Manager インストレー ション ディレクトリにある FlexNet Publisher License Administration Guide (\Docs\flexuser\licensingenduserguide.pdf)を参照してください。

- d) 次へ (Next) をクリックし、終了 (Finish) をクリックします。
- サーバー アドミニストレーション (Server Administration) タブのライセンス サーバー (License Server) で 開始 (Start) をクリックします。
- 7. OK をクリックして SolidNetWork License Manager を閉じます。

SolidNetWork ライセンス管理(SolidNetWork License Administration)

タスクには、ライセンス マネージャー ライセンスの起動、アップグレード、およびアンインストー ルが含まれます。

SolidNetWork License Managerの開始(Starting the SolidNetWork License Manager)

SolidNetWork License Manager は Windows のスタート(Start) メニューから開始できます。

Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリックします。

SolidNetWork License Manager $\mathcal{OP} \mathcal{PP} \mathcal{P} \mathcal{P} \mathcal{P} \mathcal{P}$  (Upgrading the SolidNetWork License Manager)

SOLIDWORKS PDM メジャー リリースの場合、ライセンス マネージャーのアップグレードは古い ライセンス マネージャーのアンインストール、新しいライセンス マネージャーのインストール、 SolidNetWork ライセンスの再アクティブ化で構成されます。

SolidNetWork License Manager をアップグレードするには:

- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS ツール(SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリック して SolidNetWork License Manager を起動します。
- 2. ライセンスの使用状況(License Usage)タブで、SOLIDWORKS PDM を実行しているクラ イアント コンピュータがネットワーク上にないことを確認します。
- 古いライセンスマネージャーをアンインストールします。詳細は、SolidNetWork License Manager のアンインストール(Uninstalling the SolidNetWork License Manager) を参照してください。
- 新しいライセンス マネージャーをインストールし、ライセンス マネージャー サーバーで SolidNetWork ライセンスを再アクティブ化します。 詳細は、SolidNetWork License Manager のインストール(56ページ)を参照してください。

SolidNetWork ライセンスマネージャーのアンインストール (Uninstalling the SolidNetWork License Manager)

SolidNetWork License Manager をアップグレードする場合は、新しいバージョンをインストールする前に、まずアンインストールを行う必要があります。 SolidNetWork ライセンスを別のサーバーに移行する場合は、現在のサーバーから SolidNetWork License Manager を削除する前にライセンス トランスファーを行う必要があります。

- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS ツール(SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリック して SolidNetWork License Manager を起動します。
- ネットワーク上のクライアントが SOLIDWORKS PDM を実行していないことを確認します。 ライセンスの使用状況(License Usage) タブには、ライセンスを使用しているクライアント が表示されます。
- サーバー アドミニストレーション (Server Administration) タブのランセンス サーバー (License Server) で停止 (Stop) をクリックします。
- 4. OK をクリックし、ライセンス マネージャーを閉じます。

- 5. Windows で、コントロール パネル(Control Panel) > プログラム(Programs) > プ ログラムと機能(Programs and Features)を開きます。
- 6. SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager を選択し、アンインストール (Uninstall) をクリックして削除を確認します。

これで、新しいバージョンのライセンスマネージャーのインストールを行う準備が整いました。詳細は、SolidNetWork License Manager のインストールおよび SolidNetWorkライセンス ア クティベーション(Activating a SolidNetWork License) (56ページ) を参照してください。

SolidNetWork ライセンス トランスファー (Transferring a SolidNetWork License)

SolidNetWork ライセンスを新しいサーバーやアップグレードしたサーバーにトランスファー(移動)するには、まずライセンスを Dassault Systèmes SolidWorks Corporation のライセンス キー サーバーにトランスファーし、その後別のサーバー上で再度アクティブ化します。

ライセンスを Dassault Systèmes SOLIDWORKS Corporation のライセンス キー サーバーに トランスファーできない場合(たとえば、ハードドライブの故障など)でも、再アクティベーショ ンはほとんどの場合に成功します。 そうでない場合は、お客様の代理店にお問い合わせください。

SolidNetWork ライセンス サーバーはシリアル番号ごとに 1 つだけアクティブ化できます。

#### SolidNetWork ライセンスをトランスファーしてサーバーに戻すには:

- Windows のスタート(Start)メニューから、SOLIDWORKS ツール(SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリック して SolidNetWork License Manager を起動します。
- ライセンス情報(License Information)で変更(Modify)をクリックします。
   SOLIDWORKS 製品のアクティベーション(SOLIDWORKS Product Activation)ウィザードが開始されます。
- 何を行いますか?(What would you like to do?)で ソフトウェア ライセンスのトランス ファー(Transfer a software license)を選択してから、次へ(Next)をクリックしま す。
- どのようにトランスファーしますか?(How would you like to transfer?)でインター ネットを自動的に使用(推奨)(Automatically over the internet (recommended)) を選択します。
- 5. 連絡情報(Contact Information)で連絡先の電子メール アドレスを指定します。
- 6. 次へ (Next) をクリックします。 これで、製品ライセンスのトランスファーが完了します。

ー時的なライセンスのインストール (Installing Temporary Licenses)

ー時的な "ANY" ライセンスは、オリジナルの SolidNetWork ライセンスが使用できない場合に一時的に使用できます。

"ANY" ライセンス ファイルのインストールにより、お客様は Dassault Systèmes SolidWorks Corporation から SolidNetWork ライセンスを受け取った際、従来のライセンスの履行に同意 することになります。 この場合も、ライセンス制限への応諾が必要となります。

#### "ANY"ライセンスをインストールするには、以下を行います。

- 既存のSolidNetWork ユーザーである場合、SolidNetWork ライセンス マネージャーのアンイ ンストールを行い、インストレーション フォルダを削除します。 詳細は、SolidNetWork ラ イセンス マネージャーのアンインストール(Uninstalling the SolidNetWork License Manager) (59ページ) を参照してください。
- 2. SolidNetWork License Manager を SOLIDWORKS PDM インストーラからインストールします。

SolidNetWork License Manager は、スタンドアロン インストーラからインストールする こともできます。 詳細は、SolidNetWork License Manager のインストール(56ペー ジ) を参照してください。

- a) SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager 設定(SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager Setup) ページで、SolidNetWork ライセンスのシリアル番号を入力 し、**次へ(Next)**をクリックします。
- b) インストール (Install) をクリックします。
- 3. SolidNetWork License Manager を起動します(スタート(Start) > SOLIDWORKS ツールversion > SolidNetWork License Manager Server version)。
- 4. アクティブ化を求めるプロンプトが表示される場合は、**いいえ**をクリックします。

SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager のサーバー アドミニストレーション タブ が表示されます。

5. 詳細設定オプション で オプション をクリックします。

詳細設定オプション(Advanced Options)ダイアログ ボックスが表示されます。

SolidNetWork Server ライセンス モードで ライセンス ファイル使用(Use a License File)をクリックし、OK をクリックします。

詳細設定オプション(Advanced Options)ダイアログ ボックスが閉じます。

- ライセンス情報(License Information)で変更(Modify)をクリックします。
   SolidNetWorkライセンス ファイル ウィザードが表示されます。
- 8. **サーバー タイプ(Server Type**)で **単一(Single**)を選択し、**次へ(Next)**をクリックします。
- 次のメッセージが表示される場合は、以下を行います。
   ドングルの ID 番号が読み取れませんでした。(Could not read the dongle ID number.) キャンセル(Cancel) をクリックします。

ID として "ANY" が自動的に表示されます。

コンピュータでファイアウォールを使用している場合は、この画面で追加の指定を行う必要 があります。詳細は、SolidNetWork ライセンスサーバーとファイアウォールの使用(Using SolidNetWork License Server with Firewalls)(57ページ)を参照してください。

10. インストレーションを続行します。

SolidNetWorkライセンスのトラブルシューティング(Troubleshooting SolidNetWork Licenses)

SolidNetWork License Manager のインストレーションに失敗した場合は、次の考えられる原因 について確認してください。

# SolidNetWorkライセンス ログ ファイルへのアクセス(Accessing the SolidNetWork License log files)

ライセンス エラーの原因は、ほとんどの場合、SNL\_Manager\_**インストール\_ディレクトリ** \lmgrd.log ファイルに記載されています。

## SOLIDWORKS PDM **の**ライセンスを取得できなかったか、ライセンス サーバーに接続できない

通常、これらの問題はポート設定が原因で発生します。

- SolidNetWork License Manager とライセンス クライアントとで一致していないポート設定を 使用している場合が考えられます。
- 複数バージョンの SolidNetWork License Manager で必要な追加のポート設定が指定されてい ない場合が考えられます。
- サーバー名が指定されている場合に、クライアントマシンがサーバーを正確に解決してサーバー にルートできることを確認します。また、クライアントマシン名が指定されている場合に、サー バーがクライアントを正確に解決してクライアントにルートできることを確認します。
- サーバー アドミニストレーション (Server Administration) タブのログ ファイルで、ポート番号が正しいことを確認します。
- SolidNetWork ライセンス サーバーのファイアウォールがポート アクセスをブロックしていな いことを確認します。

ログエラーが発生した場合は、アドミニストレーションツールでログファイルを確認できます。

#### ライセンス契約(Licensing)

#### ライセンス タイプ

SOLIDWORKS PDM では、フローティング クライアント ライセンスを使用します。 ボルトにロ グインすると、SolidNetWork License Server によって管理されるライセンスのプールから、お 使いのシステムにインストールされるライセンスが取得されます。 SOLIDWORKS PDM をログア ウトまたは終了すると、ライセンスはプールに戻され、別のクライアントで使用できるようになり ます。

## SOLIDWORKS PDM Professional のライセンス

ライセンス:	含まれるライセンス タイプ
SOLIDWORKS PDM ProfessionalCAD Editor & Web	Editor: 全てのファイルタイプをサポートし、SOLIDWORKS を含む CAD フォーマットの管理とプレビュー機能が強化さ れています。 CAD アドインの使用により、CAD アプリケー ションから SOLIDWORKS PDM Professional 機能にアク セスすることも可能です。
	Web: リモート ユーザーはWebクライアントを使用してボ ルトの検索と基本機能の実行ができるため、リモート ワーク プロセスが実現できます。
SOLIDWORKS PDM ProfessionalContributor & Web	Contributor: LAN、WAN、VPNのユーザーは、CADアドイ ンが利用できないこと以外はEditorライセンス タイプと同じ 機能を実行できます。 Web: リモート ユーザーはWebクライアントを使用してボ ルトの検索と基本機能の実行ができるため、リモート ワーク プロセスが実現できます。
SOLIDWORKS PDM Professional ビューア	ボルトに読み取り専用のアクセスを提供します。ユーザーは ファイルを追加、変更(チェックアウト、チェックイン、値 を更新)したりCADアドインを使用したりすることはできま せん。

## SOLIDWORKS PDM Standard のライセンス

ライセンス:	含まれるライセンス タイプ
SOLIDWORKS PDM StandardCAD Editor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、 Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。 Office プラ グインで処理されるすべてのファイル フォーマットは、プレ ビューを除き、SOLIDWORKS PDM Standard で同じよう に動作します。
SOLIDWORKS PDM Standard提 供者	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、 Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。
SOLIDWORKS PDM Standard ビューア	ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可しま す。ユーザーはファイルを追加、変更(チェックアウト、 チェックイン、値を更新)できません。

#### クライアント ライセンス タイプの変更

クライアント ライセンス タイプはインストール中に選択します。 ライセンス タイプを変更するには、Windows に対するローカル管理権限が必要です。

ライセンス タイプは、以下によって変更できます:

- コントロールパネル(Control Panel) > プログラム(Programs) > プログラムのアンイ ンストール(Uninstall a program) を使用して SOLIDWORKS PDM を削除し、再インス トールします。
- プログラムのアンインストールまたは変更 (Uninstall or change a program) ダイアログ ボッ クスを開き、SOLIDWORKS PDM クライアント (SOLIDWORKS PDM Client) > 変更 を選択します。SOLIDWORKS PDM インストール ウィザードで、変更を選択します。

MSI を使用して SOLIDWORKS PDM をインストールした場合、プログラムのアンインストー ルまたは変更(Uninstall or change a program)ダイアログ ボックスに SolidWorks PDM クライアント(SOLIDWORKS PDM Client) または SOLIDWORKS PDM Server がリストされます。 SLDIM を使用して SOLIDWORKS PDM をインストールした場合、 SOLIDWORKS インストレーションを修正する必要があります。

SOLIDWORKS PDM について(About SOLIDWORKS PDM)ダイアログボックスを使用します。

SOLIDWORKS PDM について(About SOLIDWORKS PDM)ダイアログ ボックスからクラ イアント ライセンス タイプを変更するには:

- 1. **ヘルプ > SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション(Administration**)をクリック します。
- 2. **クライアントタイプ**(Client type)ドロップダウン リストを使用して、別のクライアント ライ センス タイプを選択します。
- 3. **OK** をクリックします。
- 4. コンピュータを再起動する指示が表示されたら、**OK**をクリックします。
- 5. コンピュータを再起動します。

クライアントがインストールされたときに使用されたライセンス タイプによっては、 SOLIDWORKS PDM について SOLIDWORKS PDM について(About SOLIDWORKS PDM) ダイアログ ボックスから CAD Editor のライセンス タイプを変更しても、CAD アドインが有効 にならない場合があります。有効にならない場合は、前述の方法で SOLIDWORKS PDM を削除 し、再インストール時に SOLIDWORKS PDM CAD Editor を選択してください。

クライアントのないシステムのバージョン情報を確認する(Viewing Version Information for Non-client Systems)

クライアントがインストールされていないサーバー上で SOLIDWORKS PDM ソフトウェアの バージョンを確認するには、以下のようにします:

- コントロール パネル (Control Panel) > プログラム (Programs) > プログラムのアンイ ンストール (Uninstall a program) を開きます。
- 2. **/> Server** をクリックします。SOLIDWORKS PDM

バージョン (Version) 列に、現在インストールされているバージョンが表示されます。

#### クライアント システムのバージョン情報を確認する

クライアント上の SOLIDWORKS PDM ソフトウェアのバージョンを確認するには:

- 1. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールにログインします。
- 2. ヘルプ(Help) > /> アドミニストレーションについて(Administration)をクリックし ます。SOLIDWORKS PDM
- 3. クライアント バージョン (Client version) を確認し、OK をクリックします。

#### SolidNetWork ライセンス サーバーの追加と変更

SOLIDWORKS PDM クライアントからボルトにログインするには、インストールされているライ センス タイプおよびバージョンと一致するライセンスが必要です。 ライセンスは、ライセンス設定 で定義された SolidNetWork ライセンス サーバーから取得されます。 SolidNetWork ライセンス サーバーを追加または変更するには、アドミニストレーション ツールから使用可能なライセンスの 設定(Set License)ダイアログ ボックスを使用します。

#### ライセンス サーバーを追加または変更するには:

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックします。
- 2. アドミニストレーション ツールで、ファイル ボルトを作成するか、既存のファイル ボルトを 展開します。
- 3. ライセンス(License)ノードを右クリックし、開く(Open)を選択します。
- 4. サーバー リスト(Server List)タブで、追加(Add)をクリックします。
- 5. SolidNetWork License Manager のアドレスを次の形式で入力します: port@SNLServerName

デフォルトのポート番号は 25734 です。SNLServerName には、SolidNetWork ライセン ス サーバーのホスト名または IP アドレスを入力できます。 すべてのクライアントが IP ア ドレスまたはホスト名でライセンス サーバーにアクセスできることを確認してください。

- 6. **OK** をクリックします。
- 7. ライセンスの使用状況(License Usage)タブをクリックし、SOLIDWORKS PDM ライセン スが使用可能であることを確認します。
- 8. **OK** をクリックします。

#### ライセンスの使用状況(License Usage)ダイアログ ボックス

ライセンスの使用状況(License Usage)ダイアログ ボックスを使用して、ライセンス サーバー を表示します。SOLIDWORKS PDM クライアントからボルトにログインするには、現在インストー ルされているライセンス タイプおよびバージョンと一致するライセンスが必要です。

#### このダイアログ ボックスを開くには:

 ライセンス(License)を展開して、ライセンスの使用状況(License Usage)をダブルク リックします。

**サーバー(Server**) SolidNetWork License サーバーを表示します。

プロダクト(Product) SOLIDWORKS PDM のライセンス タイプを表示します。 ライセンス タイプ(62ページ)を参照してください。

ライセンスの合計数 (Total licenses)	ライセンスの合計数を表示します。
未使用ライセンス(Free licenses)	使用可能なライセンスの数を表示します。
ライセンス使用者 (Licenses used by)	使用されているライセンスの詳細を表示します。

ライセンス サーバー リスト ダイアログ ボックス(License Server List Dialog Box)

ライセンス サーバー リスト(License Server List)ダイアログ ボックスを使用して、ライセンス サーバーを編集できます。

**ライセンス サーバーを更新することができます(Can update license server**)という管理 権限が必要です。

このダイアログ ボックスを開くには:

• ライセンス(License)を展開し、サーバーリスト(Server List)をダブルクリックします。

servernameという名前 の SQL サーバー上のデー タベースに対するライセン ス サーバーのリスト(List of license servers for databases on the SQL server <servername>)</servername>	SolidNetWork License サーバーをリストします。 例: Port@SNLServerName
追加	ライセンス サーバーを追加できます。

選択したライセンス サーバーを削除できます。

SOLIDWORKS PDM Web2 のインストール(SOLIDWORKS PDM

#### Professional *O*

削除

Web2 では、ユーザーは、インターネット ブラウザを使用して、ほとんどのデバイスから SOLIDWORKS PDM Professional ボルトに接続できます。 Web2 クライアントが役立つのは、 社内ネットワークに接続していない、あるいはオペレーティング システムがサポートされていな い、外部および内部のユーザーです。

#### Web2 をインストールする前に

Web2 をインストールするには、次のコンポーネントをインストールする必要があります。

- Microsoft .NET 4
- Microsoft Internet Information Services 7 以降のバージョン (IIS)

SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールし、IIS を実行しているサーバー上の Web2 がアクセス可能なローカル ボルト ビューを作成する必要があります。

- Windows Server 2016 以降のオペレーティング システム
- Microsoft Visual C++ 2013 runtime

Microsoft .NET Framework 4.0 のインストール

Microsoft .NET Framework 4.0 のインストールについて詳しくは、 http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=17718を参照してく ださい。

Windows 10 での Microsoft IIS の有効化

推奨事項: 正式運用環境で SOLIDWORKS PDM Web2 を実行するには、Microsoft Windows 10 を試用しないでください。

#### Windows 10 で Microsoft IIS を有効にするには:

- Windows でコントロール パネル(Control panel) > プログラム(Programs) > プロ グラムと機能(Programs and Features) > Windows の機能の有効化または無効化 (Turn Windows features on or off)を開きます。
- ダイアログ ボックスで、インターネット インフォメーション サービス(Internet Information Services) をオンにします。
- 3. Web 管理ツール (Web Management Tools) を展開し、IIS 管理コンソール (IIS Management Console) を選択します。

4. World Wide Web サービス (World Wide Web Services) を展開し、次のオプション を選択します。

フォルダー	オプション
Application Development Features	.NET Extensibility 4.5
	ASP.NET 4.5
	ISAPI Extensions
	ISAPI Filters
	Server-Side には、以下が含まれます
HTTP 基本機能(Common HTTP Features)	静的コンテンツ(Static Content)
	既定のドキュメント(Default Document)
	ディレクトリの参照(Directory Browsing)
	HTTPエラー (HTTP Errors)
状態と診断(Health and Diagnostics)	HTTPログ (HTTP Logging)
性能機能(Performance Features)	静的なコンテンツの圧縮(Static Content Compression)
セキュリティ	要求フィルター(Request Filtering)

Windows 2019 以降で Microsoft IIS を有効にする

#### Windows 2019 以降で Microsoft IIS を有効にするには:

- 1. 次のいずれかの操作を行います:
  - Windows タスクバーで、サーバー マネージャー(Server Manager)ボタンをクリックします。
  - スタート (Start) 画面で、サーバー マネージャー (Server Manager) をクリックしま す。
- 2. 管理(Manage) > 役割と機能の追加(Add Roles and Features)を選択します。
- サーバーの役割(Server Roles)ページで、Web サーバー (IIS)(Web Server (IIS)) を選択して次へ(Next)をクリックします。プロンプトが表示されたら、IIS Management Console 機能を追加します。
- 機能(Features)ページで、.NET Framework 4.6 以降および ASP.NET 4.6 以降を選択 します。Web2 のファイルボルトに .NET 2.0 または .NET 3.5 でコンパイルされたカスタム API アドインがある場合は、.NET Framework 3.5 も選択します。

5. Web サーバーの役割 (IIS) (Web Server Role (IIS)) > 役割サービス (Role Services) ページで、次のオプションを選択します。

断面表示	オプション
Application Development Features	.NET Extensibility 4.6 以降
	ASP.NET 4.6 以降
	ISAPI Extensions
	ISAPI Filters
	Server-Side には、以下が含まれます
HTTP 基本機能(Common HTTP Features)	既定のドキュメント(Default Document)
	ディレクトリの参照(Directory Browsing)
	HTTPエラー(HTTP Errors)
	静的コンテンツ(Static Content)
状態と診断(Health and Diagnostics)	HTTPログ(HTTP Logging)
パフォーマンス	静的なコンテンツの圧縮(Static Content Compression)
セキュリティ	要求フィルター(Request Filtering)
管理ツール(Management Tools)	IIS Management Console

- 6. 次へ (Next) をクリックします。
- 7. プロンプトが表示されたら、インストール(Install)をクリックして再起動します。

Web2 Server インストールの実行

#### Web2 サーバーのインストールを実行するには:

- 1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてIISシステムにログオンします。
- 2. インストール メディアを参照します。
- 3. SWPDMServer フォルダの \SWPDMServer \setup.exe を実行します。
- **4.** PDM 製品の選択(Select PDM Product)画面が表示されるまで、インストール画面の指示に 従ってください。
- 5. PDM 製品の選択(Select PDM Product)画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を 選択します。

- 6. サーバー インストール (Server Installation) 画面で **Web2 Server** と**クライアント** (Client) を選択します。
  - Web2 サーバーでは、同じマシン上にクライアントがインストールされている必要があります。
  - Web2 を通してファイルを編集または追加する場合、クライアント タイプは Contributor または CAD Editor である必要があります。Web2 ユーザーが Viewer 機能に限定され る場合、サーバー上に Viewer クライアントをインストールして有効にする必要がありま す(ライセンス タイプに関係なく、ログイン画面で選択します)。
  - 同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインストールできます。
- 7. プログラム インストールの準備完了(Ready to Install the Program)の画面で、**インストー** ル(Install)をクリックします。
- 8. InstallShield Wizard完了(InstallShield Wizard Completed) 画面で、完了(Finish) を クリックします。

SOLIDWORKS PDM 2021 では、SOLIDWORKS ファイル内で、OLE オブジェクト (Microsoft<sup>®</sup> Visio<sup>®</sup>、Microsoft Word、Microsoft<sup>®</sup> Excel<sup>®</sup> など)がサポートされていま す。Web2 でこれらのオブジェクトの WebGL ベースのプレビューを表示するには、Web2 サーバーに OLE アプリケーションをインストールする必要があります。

#### Running Web2 を実行する IIS サーバー上でのボルト ビューの作成

Web2 サーバーからアクセス可能なファイル ボルトに対するローカル ファイル ボルト ビューを作 成できます。

- ビューが、すべてのユーザーに対する共有ビューとして作成されることを確認します。
- このプロセスの後半では、Windows ユーザーをアプリケーション プール ID として定義します。このユーザーは、ボルト ビューを参照し、ファイルまたはフォルダを少なくとも1回右クリックしてアドインとレジストリ設定が正しく登録されていることを確認する必要があります。

ボルトで Windows ログインが使用される場合、次のようにして、Web2 サーバー上のボルト ビュー への自動ログインを無効にする必要があります。

- 1. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを起動します。
- 2. 左側パネルで、ローカル設定(Local Settings) > 設定(Settings)を展開します。
- 自動ログイン(Automatic Login)タブで、Web2 によってアクセス可能なボルトをボルト (Vault)リストから選択します。
- サーバーデフォルトを使用(Use server default)およびこのボルトに自動ログインを使用 (Use automatic login for this vault)を無効にします。
- 5. **OK** をクリックします。

#### SOLIDWORKS PDM Web2 の設定

IIS Manager のアプリケーション設定機能にアクセスするか、 inetpub\wwwroot\SOLIDWORKSPDM\Web2 にある Web.config ファイルを編集して、 SOLIDWORKS PDM Web 2 を設定できます。

#### Web.config ファイルの編集

IIS サーバー上にローカル ファイルボルト ビューを作成したファイルボルトにアクセスするには、 Web.config ファイル内の *VaultName* キーと *VisibleVaults* キーを更新する必要があります。

XML ベースの Web.config ファイルは、メモ帳または任意の XML 編集アプリケーションで編集 できます。

Web.config ファイルが読み取り専用でないことを確認してください。Web.config ファイル を編集する場合は、値を必ずダブルクォーテーションで囲んでください。

- 1. XML 編集アプリケーションで Web.config ファイルを開きます。
- Web2 を介してアクセスしたいプライマリ ボルト名を VaultName キーに追加します。
   例:

```
<add key="VaultName" value="PDM_Pro_Vault">
```

この名前では、大文字と小文字が区別されます。

3. オプション: 複数のボルトにアクセスする場合、VisibleVaults ごとにボルト名を¦で区 切って入力します。

<add key="VisibleVaults" value="PDM\_Test|PDM\_Pro\_Vault" />

4. オプション: ユーザーおよびグループ用のダウンロード権限を制御するには、Web.config ファイルの <configuration> ノードに以下の設定を追加し、構成します。

```
<vaultSettings>
```

ボールト設定	説明
name	ボールトの名称。 制御されたダウンロード権限を必要とする ボールトに対して、それぞれ個別の <vaultsettings> セク ションを作成します。</vaultsettings>
defaultDelimiter	denyDownloadGroups 設定で、グループ名を区切るための区 切り記号。 デフォルト区切り記号は   です。
denyDownloadGroups	指定されたボールドでダウンロードが拒否されている可能性の あるグループ。グループ名は、defaultDelimiter 設定に指 定された区切り記号で区切ることができます。

ユーザー設定	説明
name	ユーザーのログイン名。 各ユーザー用個別の <user> ノード を作成します。</user>
denyDownload	指定されたユーザーのダウンロードを拒否または許可する設定。 false に設定された場合、そのグループはファイルをダウン ロードできます。 true に設定された場合、そのグループはファ イルをダウンロードできません。

5. オプション: デフォルトのログイン ライセンス タイプをビューア (Viewer) に変更するに は、DefaultLicenseType を "Viewer」 に設定します。

<add key="DefaultLicenseType" value="Viewer"></add>

#### Microsoft IIS の設定

- 1. Windows の**スタート(Start)**メニューで、「IIS」と入力してインターネット インフォメー ション サービス(IIS)マネージャを開きます。
- 2. 左側パネルで、コンピュータ名を展開して、**アプリケーション プール(Application Pools)** を選択します。
- 3. SOLIDWORKS PDM Web2 > 詳細設定(Advanced Settings)を右クリックします。
- 4. **ユーザー プロファイルの読み込み(Load User Profile)**が **True** に設定されていることを 確認します。
- 詳細設定(Advanced Settings) ダイアログ ボックスで、ボタンをクリックしてIDを設定し ます。
  - a) アプリケーション プール ID (Application Pool Identity) ダイアログ ボックスで、カス タム アカウント (Custom account) を選択して設定 (set) をクリックします。
  - b) 資格情報の設定(Set Credentials)ダイアログ ボックスで、現在 Windows にログイン しているユーザー、または IIS システムにログインし、ファイル ボールトを参照し、少な くとも 1 回フォルダをクリックしたユーザーの Windows 資格情報を入力します。
  - c) **OK** を 3 回クリックします。

このユーザーのパスワードを変更する場合、アプリケーション プールは、ユーザーがパス ワードを更新するまで動作を停止します。

カスタム アカウント ユーザーが IIS\_IUSRS グループのメンバーであることを確認しま す。 コンピュータ(Computer) > 管理(Manage) > ローカル ユーザーとグループ (Local Users and Groups) > グループ(Groups) > IIS\_IUSRS を右クリックし ます。

カスタム アカウント ユーザーがローカル Administrators グループのメンバーであるこ とを確認します。

SOLIDWORKS PDM Web2 サーバーをアップグレードする際、Microsoft IIS を構成して、 アプリケーション プール、SOLIDWORKS PDM Web2 を変更する必要があります。

#### Web2 へのアクセス

コンピュータまたはモバイル デバイスで Web2 にアクセスできます。

Web ブラウザのアドレス フィールドに次の URL を入力します。

http://ComputerName/SOLIDWORKSPDM

Web2 ログイン ページが表示されない場合、IIS サーバー上の Windows ファイアウォールで ポート 80 経由のアクセスが許可されていること、および IIS サーバー サービスが開始されてい ることを確認します。

#### 新しい Web2 アプリケーションの作成

Web2 サーバーをインストールすると、**SOLIDWORKSPDM** という名前の Web2 アプリケー ションがデフォルトの Web サイトに自動的に作成されます。

#### Web2 アプリケーションを新規作成するには:

- 1. インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャー を開きします。
- 2. 左側パネルで、コンピュータ名を展開して、**サイト(Sites**)を選択します。
- 3. 既定の Web サイト (Default Web Site) を右クリックして、アプリケーションの追加 (Add Application) を選択します。
- エイリアス(Alias) フィールドに名前を入力します。
   このエイリアスは、Web2 アプリケーションへの接続アドレス、つまり http://ComputerName/applicationalias です。

- 5. **選択**(Select)をクリックし、アプリケーション プール(Application Pool)に対して SOLIDWORKS PDM Web2 を選択します。
- 6. 物理パスについては、 inetpub\wwwroot\SOLIDWORKSPDM\Web2 を参照します。
- 7. **OK** を2回クリックします。

個別の Web2 URL アドレスを作成して別のボルトにアクセスする場合には、 inetpub\wwwroot\SOLIDWORKSPDM\Web2 をコピーして、新しいアプリケーション物理パ スでこのコピーを指します。 コピーしたフォルダ内の Web.config を、アクセスするボルト 名で更新します。

#### アプリケーション設定ダイアログ ボックスの設定

IIS Manager のアプリケーション設定機能にアクセスするか、アプリケーション ファイルに含ま れる Web.config ファイルを編集して、SOLIDWORKS PDM Professional を設定できます。

設定:	タイプ	デフォルト値(Default Value)
AllowDataCardEdit	真/偽	TRUE
AllowLicenseChange	True/False	True
ClientValidationEnabled	真/偽	TRUE
ColumnSetName	テキスト	エクスプローラ
DateFormat	テキスト	MM/dd/yy
DefaultLanguage	テキスト	en
DefaultLicenseType	テキスト(Text)	Web
EditableDataCardVariables	テキスト	*
FileUploadPath	テキスト	\Content\Uploads\
FreeSearch	真/偽	FALSE
OnlySearchLatestVersion	真/偽	TRUE
PreviewGenerationTimeOut	数	30
RememberMe_Days	数	7
RememberMe_Visible	真/偽	TRUE
SearchDataCardVariables	区切りテキスト リスト	コメント   説明
UnobtrusiveJavaScriptEnabled	真/偽	TRUE
VaultName	テキスト	SWPDM
VisibleVaults	区切りテキストリスト	SWPDM_Test SWPDM

設定:	タイプ	デフォルト値(Default Value)
webpages:Version	数值文字列	1.0.0.0

## アプリケーション設定ダイアログ ボックスの変数

変数	説明
AllowDataCardEdit	この変数を True に設定すると、チェックアウト権限が割 り当てられているデータ フィールドの値を編集できます。 この設定は、編集対象の変数を制御する EditableDataCardVariables 設定と組み合わせて使 用します。
	SOLIDWORKS PDM Web2 は、コンフィギュレーショ ン値をすべて自動で更新するわけではありません。 トラ ンジションアクションを使用して設定された変数の値は、 すべてのコンフィギュレーション値を指定されたとおり に更新します。
AllowLicenseChange	この本物が Tw。に設守されている坦今 ライセンフ タイ
	この复数が True に設定されている場合、 クイセンス タイ プを変更して、 <b>Web</b> ライセンスと <b>ビューア(Viewer</b> )ラ イセンスのいずれかを使用するようにできます。 この変数 が False に設定されている場合、DefaultLicenseType 設定で指定されたライセンス タイプだけを使用できます。
ClientValidationEnabled	変更しないでください。
ColumnSetName	SOLIDWORKS PDM Web2 は、ボルトで定義されたユー ザー定義の列セットを表示します。 列セットは 1 つのみ表 示できます。これはすべてのユーザーで同様です。
	名前(Name)、チェックアウト(Checked Out)、 サイズ(Size)、ステータス(State)、変更日時 (Modified)、バージョン(Version)に定義された 列がユーザー定義の列セットに含まれていると、その名 前がデフォルトのWeb2列で予約されているため、サ ポート対象外となります。

#### DateFormat

安徽	説明			
	SOLIDWORk 御します。さ ます。次の表 ンを示します	S PDM Web2 まざまな区切り に、日付フィー 。	の日付フィー/ 文字を使用して -ルドを表示する	レドの表示を制 日付を設定でき らためのオプショ
	月 "M" (Yot)	'M'>1-12,	'MM X01-12, 'MMM X	ec, 'MMM'Zecenber
	⊟ "d"	'ત્ર⊳ા–ગ્રા	"681%01-31, "6881%	at, "dddd">Saturday
	年 "y"	"y">0-99	), "yy">00-99, "	yyyy">0000-9999
	例:			
	<ul> <li>"MM/dd/<u>y</u></li> <li>"dddd, M</li> </ul>	yy">06/07/0 MMM-d, yyy	9 y">Sunday,	June-7, 2009
DefaultLanguage	最初のログイ ます。 この言 変更できます。	ンで表示される 語は Web2 コ 。	っデフォルトの言 ーザー インタ	言語 en を設定し ーフェイスから
	<b>Web2</b> ユー クッキーを す。	-ザー インター クリアするまで	フェイスは、イ 「変更された言語	ンターネット 語を表示しま
	この設定に使	用される言語ニ	コードは次のとる	おりです:
	英語	en	スペイン語	es
	フランス語	fr	イタリア語	
				it
	日本語	ја	韓国語	it ko
	日本語 ドイツ語	ja de	中 ジッジ 品 韓国語 ポーランド語	it ko pl
	日本語 ドイツ語 中国語(中 国)	ja de zhs	韓国語 ポーランド語 ポルトガル語	it ko pl pt
	日本語 ドイツ語 中国語(中 国) 中国語(台 湾)	ja de zhs zht	韓国語 ポーランド語 ポルトガル語 ロシア語	it ko pl pt ru

DefaultLicenseType

	説明
	Web2 ログイン ページで、すべてのユーザーのデフォルト ライセンス タイプを設定します。 ライセンス タイプは Web またはビューア(Viewer)として設定できます。
EditableDataCardVariables	AllowDataCardEdit が True に設定されている場合、 この設定で編集対象の変数を制御します。 デフォルト値は * で、読み取り専用でないすべての変数を編集できます。 複数の値を   で区切ります。たとえば、 <i>Description と</i> <i>Number</i> を編集する場合、"Description   Number" と 入力します。
FileUploadPath	新しいファイルをアップロードまたは新しいバージョンを作 成する場合、SOLIDWORKS PDM Web2 はファイルを Uploads フォルダにコピーします。 このフォルダのフル パスは、Web2 アプリケーション ファイルの場所により異 なります。たとえば、Web2 アプリケーション ファイルが C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM\Web2 にある場合、Uploads フォルダのパスは C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM\Web2\Content\Uploads となります。
FreeSearch	SOLIDWORKS PDM Web2 が、すべてのファイル名とフォ ルダ名、変数名、コンフィギュレーション名、コメント、ラ ベルを検索できます。
OnlySearchLatestVersion	このオプションが True に設定されている場合、検索では 最新バージョンのみの値が検出されます。
PreviewGenerationTimeOut	変換操作が終了するまでに、プレビュー コンバータが待機 する時間を秒単位で制御します。 この設定の最小値は、30 秒です(最大値の制限はありません)。 大規模ファイルお よび複雑なフォーマットまたはグラフィックを含むファイル は、変換処理に時間がかかります。
	ファイル プレビュー ページでタイムアウト エラーが発生 した場合は、ファイルに必要な変換時間がこの値を超えてい ることを示します。 タイムアウト値を増すと、コンバータ が長時間かけて変換を完了させることができます。
RememberMe_Days	ボルト名、ライセンスの種類、ユーザー名に関するログイン 情報を、システムで保持する日数を設定します。
RememberMe_Visible	ログイン画面の <b>パスワードを記憶する(Remember me)</b> チェック ボックスの表示を制御します。
SearchDataCardVariables	

変数	説明
	FreeSearch を False に設定すると、SOLIDWORKS PDM Web2 は、入力されたファイル名、フォルダ名、変数 名を検索します。 変数名は $ $ で区切ります。 ユーザー イ ンターフェイスの検索ボックスには次のいずれかが表示され ます。
	<ul> <li>フリー検索(Free Search) (True に設定されている場合)。</li> <li>ファイル/フォルダ名、変数1、変数2(File/Folder name, variable1, variable2) (フリー検索(Free Search) がFalse に設定されている場合)</li> </ul>
UnobtrusiveJavaScriptEnabled	変更しないでください。
VaultName	SOLIDWORKS PDM Web2 の接続先のボルト名を指定し、 それをログイン画面に表示します。 単一ボルトにのみアク セスする場合は、VisibleVaults 設定の値をクリアして ください。
VisibleVaults	ログイン ページのボルト選択リストに表示されるすべての ボルトをリストします。 ボルト名は   で区切ります。
webpages:Version	変更しないでください。

#### 変数名および変数値エイリアスの設定

ボルトにユーザー フレンドリーではない変数名が含まれる場合、データ カード プレビューに分か りやすい名前が表示されるように、エイリアスを設定できます。

例: 部品番号値を格納する変数 PAR\_NUM がボルトに含まれる場合、この変数をデータ カード プレビューに部品番号(Part Number)と表示すると分かりやすくなります。 これは、プロパティ 名のエイリアス設定で設定できます。

データ カード プレビュー ページには、この変数とその値がリスト形式で表示されます。 データ カードは、シック クライアントまたは既存の Web クライアントに表示されるようには表示され ません。したがって、書式、図、ラベル、およびその他のカード コントロールはサポートされま せん。

また、変数値にもエイリアスを指定できます。 例: テキスト タイプ変数が、ファイルがスペア部品 かどうかを表示するチェック ボックス コントロールに接続されている場合、SOLIDWORKS PDM Web2 の値は、チェック ボックスが選択されているかクリアされているかに従って、1 または 0 と表示されます。 変換エイリアス値の設定を介して、はい(Yes) またはいいえ(No) を表示す るように変数値を設定できます。

#### 変数名エイリアスの設定

- 1. メモ帳または XML 編集プログラムで Web.config ファイルを開きます。<!-- プロパティ エイリアスおよび値マッピングの処理に使用するセクション --> <propertySettings> <property name="SPARE\_PART" alias="Spare part"> <transform value="1" alias="Yes" /> <transform value="" alias="No" /> </property> </propertySettings>
- 2. propertySettings セクションまで、下にスクロールします。
- 3. 次のように入力します:

属性	動作	例
名前 (name)	実際の変数名	name="SPARE_PART"
alias	目的の変数名	alias="Spare part"

変数値のエイリアスを設定するには、変換の値(value)属性に実際の値を入力します。
 このステップはオプションです。 変数名にエイリアスが必要ない場合には、変換ラインを削除します。

エイリアス	値	目的の値
值(value)	"1"	alias="Yes"
值(value)	""	alias="No"

#### Web2 用のセキュアな接続の設定

Web2 には、HTTPS を使用してセキュリティで保護された接続を設定する必要があります。

#### 安全な接続を設定するには、次の手順に従います。

- 1. Windows 10 および Windows Server 2016 以降では、インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開きます。
- 2. 左側パネルで、コンピュータ名を展開して、サイト(Sites)を選択します。
- 3. Default Web Site を右クリックして、バインドの編集(Edit Bindings)を選択します。
- 4. サイト バインド(Site Bindings)ダイアログ ボックスで追加(Add)をクリックします。
- 5. サイト バインドの追加(Add Site Binding)ダイアログ ボックスで、**種類(Type)**に **https** を選択します。
- 6. **IP アドレス (IP address)** を選択します。
- 7. ポート (Port) とホスト名 (Host name) を入力します。 デフォルトのポート番号は 443 です。
- 8. SSL 証明書 (SSL certificate) で、選択 (Select) をクリックします。
- 9. 証明書を検索して選択できます。
- 10. **OK** をクリックします。

- 11. オプション: **表示(View**)をクリックして、選択した証明書の詳細を示す証明書(Certificate) ダイアログ ボックスを表示します。
- 12. **OK** をクリックします。
- 13. 閉じる (Close) をクリックします。

システム メンテナンス

使用可能なディスク領域を確保するため、2 つのフォルダを定期的に監視して空にする必要があり ます。

監視するフォルダ:

Uploads: ボルトにコピーする前に、アップロードされるファイルを追加するフォルダ。

tempFiles: アプリケーション ファイルの位置の Content フォルダ下に存在するフォルダであり、プレビューの目的で使用されます。

# SOLIDWORKS PDM Web API サーバーのインストール(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

EXALEAD<sup>®</sup> OnePart ユーザーは、Web API サーバーを使用し、SOLIDWORKS PDM データをイ ンデックス化して検索できます。

Web API サーバーは、他の SOLIDWORKS PDM サーバー コンポーネントとともに同じコンピュー タにインストールすることも、別のコンピュータに個別にインストールすることもできます。

## Web API サーバーをインストールする前に

Microsoft Internet Information Services 7 以降のバージョン(IIS)をインストールして有効に する必要があります。

#### Web API サーバー インストールの実行

#### Web API サーバーのインストールを実行するには:

- 1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてIISシステムにログオンします。
- 2. インストール メディアを参照します。
- 3. \SWPDMServer\setup.exe を実行して、サーバーのインストールを開始します。
- **4.** PDM 製品の選択(Select PDM Product)画面が表示されるまで、インストール画面の指示に 従ってください。
- 5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を 選択します。
- サーバー インストール (Server Installation) 画面で、Web API サーバー (Web API Server) を選択します。

同じシステムに複数のサーバー コンポーネントをインストールできます。

- 7. オプション: HTTP ポート番号 (HTTP port number) に 0 ~ 65535 の値を指定します。 デフォルト値は 65453 です。
- 8. プログラム インストールの準備完了(Ready to Install the Program)の画面で、**インストー ル**(Install)をクリックします。
- InstallShield Wizard完了(InstallShield Wizard Completed)画面で、完了(Finish)を クリックします。
   Web API サーバーのコンポーネントは、IIS ディレクトリにインストールされます。

# SOLIDWORKS PDM **クライアントのインストール**

システムが SOLIDWORKS PDM ファイル ボルトを使用するには、SOLIDWORKS PDM クライア ントがインストールされていなくてはなりません。

以下の種類の SOLIDWORKS PDM Professional クライアントが利用可能です:

SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor & Web	すべてのファイル タイプがサポートされています。これには SOLIDWORKS、AutoCAD、Inventor、SolidEdge、Pro/ENGINEER 等の多数の CAD フォーマットの管理およびプレビューが含まれます。 CAD ファイルを使用するすべてのシステムで使用するべきタイプです。
	Pro/ENGINEER ファイルを処理するには、SOLIDWORKS PDM Professional クライアントをインストールした後で Pro/ENGINEER CAD アドインをインストールします。 Pro/ENGINEER Connector には別のインストレーション メディアが必要です。 詳細は SOLIDWORKS Value Added Reseller(VAR)までご連絡くださ い。
	SOLIDWORKS PDM Web クライアント アクセスのサポートが含まれ ます。
SOLIDWORKS PDM Professional Contributor & Web	CAD ファイルを含む全てのファイルタイプをサポートしています。 し かし、このクライアントタイプに対してはCADアドインはサポートされ ていません。
	SOLIDWORKS PDM Web クライアント アクセスのサポートが含まれます。
SOLIDWORKS PDM Professional Professional Viewer	ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可します。ユー ザーはファイルを追加、変更(チェックアウト、チェックイン、値を更 新)できません。 このクライアントタイプに対してはCADアドインは サポートされていません。
以下の種類の SOLIDWOR	RKS PDM Standard クライアントが利用可能です:

SOLIDWORKS PDM Standard CAD Editor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルの作業に対応します。 Office プラグインで処理さ れるすべてのファイル フォーマットは、プレビューを除き、 SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動作します。
SOLIDWORKS PDM	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft
Standard Contributor	Excel ファイルの作業に対応します。

SOLIDWORKS PDM	ファイルボルトに対して読み取り専用のアクセスを許可します。
Standard Viewer	ユーザーはファイルを追加、変更(チェックアウト、チェックイ
	ン、値を更新)できません。

クライアントのインストール方法:

- InstallShield ウィザードを使用します。
- SOLIDWORKS Installation Manager を使用する。
- アドミニストレーティブ イメージを作成して複数シートをインストールする

#### クライアントをインストールする前に(Before Installing Clients)

• ライセンス契約で許可されているクライアントのタイプを確認してください。

インストールしたクライアントタイプが間違っている場合、SOLIDWORKS PDM のフローティング ライセンス マネージャによりファイル ボルトへのログインが禁止されます。

 SOLIDWORKS PDM Editor クライアントをインストールする場合には、オプションのアドイン をインストールできます。

アドインを使うことにより、チェックアウト、チェックイン等の管理機能を CAD や Office ソ フトウェアのツールバーおよびメニューから利用できるようになります。 アドインの追加はオプ ションであり、Windows ファイル エクスプローラ インターフェースやファイルを開く/保存 ダイアログを使って SOLIDWORKS PDM で管理できるファイル フォーマットの種類には影響 しません。

SOLIDWORKS PDM Standard には、DraftSight アドインと SOLIDWORKS アドインが用 意されています。

 Professional ボルトにログインするには、ライセンス サーバーで入手可能な SOLIDWORKS PDM Professional ライセンスが必要です。同様に、Standard ボルトにログインするには、ラ イセンス サーバーで入手可能な SOLIDWORKS PDM Standard ライセンスが必要です。

クライアントコンポーネントとサーバーコンポーネントの両方をインストールするには、サー バーのインストールで**クライアント(Client)**オプションを選択してください。

以下は製品別の前提条件です:

SOLIDWORKS	SOLIDWORKS ファイルは、SOLIDWORKS がインストールされて いなくても管理できます。 プレビュー用としてeDrawings Viewer をインストールしておくことをおすすめします。
Microsoft Office Integration (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	Microsoft Office アドインは、SOLIDWORKS PDM Professional のインストール時にインストールできます。 Microsoft Office アド インを使用するために追加のライセンスは必要ありません。ただし、 ファイルのチェック インやチェック アウトには、Contributor、 CAD Editor、または PSL のライセンスが必要です。
Solid Edge (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)	SOLIDWORKS PDM Professional で Solid Edge ファイルを管理、 プレビューするには Solid Edge アプリケーションをインストール しておく必要があります。

Pro/ENGINEER	SOLIDWORKS PDM Professional で Pro/ENGINEER ファイルを
(SOLIDWORKS PDM	管理、プレビューするには完全な Pro/ENGINEER アプリケーショ
Professional のみ)	ンをインストールしておく必要があります。
	Pro/ENGINEER Connector は、SOLIDWORKS クライアントの インストール後、別途インストールする必要があります。 このソ フトウェアは、SOLIDWORKS Value Added Reseller から入手

これらの条件は、インストールを SOLIDWORKS PDM メディアから行った場合にもアドミニスト レーティブ イメージから行った場合にも適用されます。

インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール (Installing Clients Using the Installation Wizard)

できます。

- 1. クライアント コンピュータにローカル管理者権限のあるユーザーとしてログオンします。
- 2. InstallShield ウィザードを介したインストールの開始(43ページ)の手順に従ってインストー ルを開始します。

3. 以下の手順に従ってインストールを実行します。

画面	動作
PDM 製品の選択	<ul> <li>インストールするクライアントのタイプを選択します:</li> <li>SOLIDWORKS PDM Professional: SOLIDWORKS PDM Professional サーバーにのみ 接続する場合に選択します。</li> </ul>
	アイテム エクスプローラ付きのクライアントをイン ストールするには、 <b>ユーザー定義(Customize</b> ) を選択して <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
	<ul> <li>SOLIDWORKS PDM Standard: SOLIDWORKS PDM Standard サーバーにのみ接続する場合に選択 します。</li> </ul>
ユーザー定義設定	<b>アイテム エクスプローラ(Item Explorer</b> )を選択し て <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
	このオプションは、SOLIDWORKS PDM Professional でのみ利用できます。
製品タイプを選択	a. ライセンスに従って、インストールするクライアン トのタイプを選択します:
	<ul> <li>SOLIDWORKS PDM CAD Editor</li> <li>SOLIDWORKS PDM Contributor</li> <li>SOLIDWORKS PDM Viewer</li> </ul>
	b. <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
アドインを選択	製品タイプが <b>SOLIDWORKS PDM CAD Editor</b> の 場合、
	a. 次のオプションを選択できます:
	<ul> <li>SOLIDWORKS PDM Professional クライアン ト用の Microsoft Office Integration、 SOLIDWORKS および DraftSight アドイ ン。</li> </ul>
	<ul> <li>SOLIDWORKS PDM Standard クライアントの場合、SOLIDWORKS および DraftSight アドイン。</li> </ul>
	b. <b>次へ(Next</b> )をクリックします。
プログラム インストールの準備完了	インストール(Install)をクリックします。

画面動作InstallShieldウィザード完了完了 (Finish) をクリックします。

eDrawings をインストールする(Installing eDrawings)

eDrawings を SOLIDWORKS PDM クライアントにインストールして SOLIDWORKS ファイルを プレビューできます。eDrawings<sup>®</sup> は無償でダウンロードできます。

#### eDrawings をインストールするには:

- 1. インストール メディアを参照します。
- 2. \eDrawings\setup.exe を実行します。
- 3. 次へ (Next) をクリックします。
- ライセンス キーを入力せずに、次へ(Next)をクリックします。
   eDrawings は Professional ライセンスで実行されます(SOLIDWORKS PDM Professional クライアントにインストールされている場合)。
- 5. インストール(Install)をクリックします。 インストールが続行されます。
- 6. インストールが完了したら、完了(Finish)をクリックします。

#### SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする

InstallShield Wizard を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、 次のステップを実行します。

#### アップグレードする方法:

- 1. Windows で、コントロール パネル(Control Panel) > プログラムと機能(Programs and Features)を開きます。
- SOLIDWORKS PDM Client または SOLIDWORKS PDM Server を右クリックし、変更(Change)を選択します。
   クライアントをインストールした場合は、SOLIDWORKS インストールを変更して、クライア

クライアントをインストールした場合は、SOLIDWORKS インストールを変更して、クライア ント インストールをアップグレードします。

- 3. ようこそ画面で、**次へ**(Next)をクリックします。
- 4. プログラム メンテナンス(Program Maintenance)画面で**変更(Modify**)をクリックしま す。
- 5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を 選択します。
- 6. SOLIDWORKS PDM Professional のインストールを続行します。

SLDIM を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、プログラム と機能(Programs and Features) でリストされている SOLIDWORKS 2016 を変更し てアップグレードします。

# インストールのトラブルシューティングのためのログ(Enabling Logging to Troubleshoot Installation)

インストールが上手く行かない場合、トラブルシューティングにはインストール ログが役立ちま す。

- 1. コマンド プロンプトを開きます。
- 2. ディレクトリを、msi ファイルがロードされている適切なセットアップ フォルダに変更します。
- 3. 以下を入力するとログを記録したインストールが開始します。
  - クライアントの場合:
     MSIEXEC /i "SOLIDWORKS PDM Client.msi" /L\*v C:\LOGFILE.TXT

 サーバーの場合: MSIEXEC /i "SOLIDWORKS PDM Server.msi" /L\*v C:\LOGFILE.TXT

インストールについての情報が含まれたログファイルが生成されます。

#### SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブ イメージの作成

アドミニストレーティブ イメージにより、クライアントのインストールおよびアップグレードを複数のクライアントマシンに対して行うことができます。

すべてのクライアント ライセンス タイプに対応する 1 つのイメージを作成し、特定のクライアン ト タイプをマシンにインストールするスクリプトを選択できます。

インストール ウィザードによってセットアップ パッケージ(SOLIDWORKS PDM Client.msi および必要ファイル)が作成され、これを Microsoft Active Directory などの配布方法を使って配 布することができます。

すべての選択肢が含まれるアドミニストレーティブイメージのコピーを保存し、アップグレード する際のアンインストールが簡単に行えるようにします。

#### アドミニストレーティブ イメージを作成するには:

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、コマンド プロンプトを実行します。
- 2. ディレクトリを、setup.exe がロードされている適切なセットアップ フォルダに変更します。
- 3. コマンド スイッチ E:\SWPDMClient\setup.exe /a を追加します。

setup.exe をコマンド プロンプトにドラッグして、コマンド スイッチを追加することもでき ます。

4. **OK** をクリックします。

5. これらの手順を使用してアドミニストレーティブ イメージを作成します。

画面	操作
ようこそ(Welcome)	<b>次へ(Next)</b> をクリックします。
使用許諾契約書	使用許諾契約を読み、 <b>次へ</b> をクリックします。
ネットワークの場所	SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレー ティブ イメージを作成する場所を入力します。
	このイメージを配布する予定の場合、すべてのクライ アント システムが利用できるネットワーク リソース 上に配置してください。
 プログラム インストールの準備完了	インストール(Install)をクリックします。

InstallShield ウィザード完了 **完了(Finish**)をクリックします。

Windows Active Directory を使ったクライアントの配布 (Deploying Clients Using Windows Active Directory)

Windows Active Directoryのグループ ポリシー機能を使って、SOLIDWORKS PDM クライアントを組織全体に対して配布、インストール、集中管理することができます。

これによりクライアントのアップグレード、パッチ、削除等の定期的保守作業を各ワークステーションを操作せずに一元的に行うことも可能になります。

アドミニストレーティブ イメージを使用してクライアントを配信する場合は、すべてのクライアントに Microsoft XML Core Services (MSXML) 6.0 および .NET Framework 4.0 を展開する必要があります。

MSXML と .NET Framework を配布する方法については、 https://docs.microsoft.com/en-us/dotnet/framework/deployment/guide-for-administrators を参照してください。

この方法で配布できるのは SOLIDWORKS PDM クライアントのみです。 アーカイブ サーバー およびデータベース サーバーは標準のインストール方法でインストールしてください。

Active Directory </Z1>を使った配布に関する注意事項

- SOLIDWORKS PDM はコンピュータレベルでインストールするため、ユーザーがログオンする 前に、配布先のすべてのシステムから配布用パッケージが利用可能である(十分な権限を持って 共有されている)ことが重要です。
- クライアントを配布すると、SOLIDWORKS PDM によってマシンのロケールと一致するように デフォルトの言語が変更されます。ロケールがサポートされていない言語である場合、 SOLIDWORKS PDM によってデフォルトの言語は英語に設定されます。
- 配布終了後、ファイルボルト ビューを次の方法でクライアントに追加できます:

ポリシーを使用

詳細は、**Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル** ボルト ビューの配 布(117ページ)を参照してください。

• スクリプトによるビューのインストールを使用

詳細は、ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成(Scripting File Vault View Setup)(116ページ)を参照してください。

#### Windows Server 2016 Active Directory を使ってクライアント アドミニストレーティブ イ メージを配布するには:

 SOLIDWORKS PDM を配布するすべてのシステムから UNC パスでアクセスできるネットワー ク上の場所にアドミニストレーティブ イメージ (SOLIDWORKS PDM Client.msi)を作成 してください。
 詳細は、SOLIDWORKS PDM クライアントアドミニストレーティブ イメージの作成 (87ペー)

ジ)を参照してください。

- コントロール パネルを開き、システムとセキュリティ > 管理ツール > Active Directory ユーザーとコンピューター をクリックします。
- 3. セキュリティ グループを作成するか、既存のセキュリティ グループを利用します。 セキュリティ グループを作成するには:
  - a) Active Directory ユーザーとコンピューター ダイアログ ボックスで、ユーザー を右ク リックして 新規作成(New) > グループ(Group) を選択します。
  - b) [新しいオブジェクト グループ] ダイアログ ボックスで、**グループ名** の名前を入力しま す。
  - c) グループの種類 で、セキュリティ を選択して OK をクリックします。
- 4. SOLIDWORKS PDM が配置されるべきコンピュータを追加します。 ドメイン コンピュータをセキュリティ グループに追加するには:
  - a) セキュリティ グループを右クリックし、プロパティ(Properties)を選択します。
  - b) メンバータブで、**追加**(Add)をクリックし、コンピュータを追加します。
- 5. Active Directory ユーザーとコンピューター ダイアログ ボックスを終了します。
- 6. コントロール パネルで、システムとセキュリティ > 管理ツール > グループ ポリシーの管理 をクリックします。
- 7. グループ ポリシーの管理 コンソールで、ステップ 3 と 4 で作成したセキュリティ グループ用の新しいグループ ポリシーを作成します。
- 新しいグループ ポリシーが含まれているフォレストとドメインの グループ ポリシー オブジェ クト を展開し、グループ ポリシーを選択します。
- 9. 右側のパネルの 設定 タブで、コンピューターの構成 を右クリックして、編集 をクリックします。
- 10. グループ ポリシー管理エディター で、コンピュータの構成(Computer Configuration)
   > ポリシー > ソフトウェアの設定(Software Settings) > ソフトウェアのインストール (Software Installation) に移動します。
- 11. 右クリックして新規作成(New) > パッケージ(Package)を選択します。

12. SOLIDWORKS PDMアドミニストレーティブ クライアント イメージを作成した場所にある SOLIDWORKS PDM Client.msi ファイルを参照します。

UNCパスを正しく使用するには、マイ ネットワーク(My Network Places)を使って参照してください。マッピングされたドライブは使用しないでください。

- 13. **開く** をクリックします。
- 14. [ソフトウェアの展開] ダイアログ ボックスで、**割り当て済み** を選択し、**OK** をクリックしま す。
- 15. 公開または割り当て時の詳細設定(Advanced published or Assigned)を選択します。
- 16. **変更(Modifications)**タブのページで、**追加(Add**)をクリックして適用する 1 つ以上の 変換を選択します。

変換ファイルが、リモート コンピュータからアクセス可能なネットワーク ドライブ、理想的に はソース イメージを使用可能な場所で使用できることを確認してください。

Orca などの MSI ツールを使用して変換ファイルを生成できます。 構文については、 SOLIDWORKS PDM のサイレント インストレーション スクリプト作成を参照してください。

17. グループ ポリシー管理エディター と グループ ポリシーの管理 コンソールを終了します。

クライアント イメージの配布準備ができました。セキュリティ グループに含まれるコンピュータに 対し、システムが次回起動される際にインストールが行われます。

#### SOLIDWORKS PDM 配布時ログを有効にする

Windows Active Directory を使用して、SOLIDWORKS PDM クライアントのアドミニストレー ティブ イメージを配布するときに発生するインストールに関する問題のトラブルシューティングを 行うには、インストレーション手順のログを有効にする必要があります。 これはグループ ポリシー を使って行います。

- 1. Active Directoryサーバーで、配布パッケージが指定されているOUを探します。
- 2. OUを右クリックし、プロパティ(Properties)を選択します。
- 3. プロパティ(Properties) ダイアログボックスのグループ ポリシー タブで、新規(New)を クリックします。ポリシー オブジェクトに名前を付け(例えばLogging等)、**OK**をクリック します。
- 4. 新しいポリシー(あるいは既存の配布ポリシー)を選択し、編集(Edit)をクリックします。
- グループポリシーオブジェクトエディタでコンピュータの構成(Computer Configuration)
   > 管理用テンプレート(Administrative Templates) > Windowsコンポーネント
   (Windows Components) > Windowsインストーラ(Windows Installer)を選択しま
   す。
- 6. 右側パネルで、Logging設定をダブルクリックします。

- 7. ポリシー オブジェクトのプロパティ(Properties)ダイアログ ボックスで次を行います:
  - a) ポリシーを有効化
  - b) **ログの記録**(Logging) テキストボックスで、ログの引数を入力します。 iwearucmpvo
  - c) **OK** をクリックします。
- 8. 新しいグループ ポリシー オブジェクトを作成した場合にはグループ ポリシー(Group Policy) タブで新しいポリシーがリストの最上部に表示されることを確認してください。

SOLIDWORKS PDM を配布すると、.msi インストール ログが Windows システム フォルダの下の Temp フォルダに作成されます。

#### SOLIDWORKS PDM のサイレント インストレーション スクリプト作成

アドミニストレーティブ イメージからのクライアント インストールはスクリプト化することもでき ます(.batファイルからインストールする等)。

サイレント インストールをスクリプトで実行するには:

- 次のコマンドで使用するための SOLIDWORKS PDM Client.msi を作成するために、インス トールするクライアントタイプのアドミニストレーティブイメージを作成します。
   詳細は SOLIDWORKS PDM クライアント アドミニストレーティブ イメージの作成(Creating SOLIDWORKS PDM Client Administrative Image)を参照してください。
- SOLIDWORKS PDM コマンドライン プロパティ (SOLIDWORKS PDM Command-Line Properties)の次のコマンドラインオプションを使用して、インストール スクリプトを更新 します。

スイッチ	説明
/qn	UIなし
db/	基本UI
/qr	簡略UI、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示
/qf	フルUI、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示
/qn+	UIなし、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示の み
/qb+	基本UI、インストールの最後にモーダル ダイアログ ボックス表示
/qb-	基本UI、モーダル ダイアログ ボックスなし
REBOOTYESNO=NO	再起動をプロンプトしない

サイレント インストレーションのスイッチ(Silent Installation Switches)

スイッチ	説明
REBOOT=REALLYSUPPRESS	REBOOTYESNO と組み合わせて使用すると、再起動を求めるプロンプ トを表示しない
	以前行ったインストールをこのオプションでアップグレードする際 には、使用中の置き換えられたファイルをリロードするためインス トールの最後に再起動を必ず行う必要があります。

REMOVE=[string] 機能をインストールから除外

#### SOLIDWORKS PDM コマンド ライン プロパティ

プロパティ	説明		
INSTALLDIR=[string]	インストール ディレクトリ		
PDMTYPE=0, 1	クライアントの種類 <ul> <li>0 = PDM Stand</li> <li>1 = PDM Profes</li> </ul>	ard ssional	
PTID=	SOLIDWORKS PDM Viewer	{CC72DD26-1A34-4	209-B50B-21C7DD5E29F6}
	SOLIDWORKS PDM Contributor	{E2BE88CF-6E17-4	3e2-A837-C1051F3E4EDB}
	SOLIDWORKS PDM CAD Editor	{05AD35C4-8A9A-4	114-B51F-32186222ABA1}
ADDLOCAL=	メイン フィーチャー	_	クライアント(Client)
	Office アドイン		Office
	SolidWorks アド	イン	SolidWorks
	Oracle Viewer		InsoViewer
	アイテム エクスプロ	コーラ	ItemExplorer
	DraftSight アドイ	マ	DraftSight
	共通ファイル		共有
	共通ファイル 64 ど	ビット	Shared64

詳細については、次のサンプル スクリプトを参照してください:

• SOLIDWORKS PDM Professional Viewer (アドインなし)

```
Msiexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program
Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=1
PTID={CC72DD26-1A34-4209-B50B-21C7DD5E29F6}
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,InsoViewer /qb
```

• SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor (SOLIDWORKS および Office アドインあり)

```
Msiexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program
Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=1
PTID={05AD35C4-8A9A-4114-B51F-32186222ABA1}
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,InsoViewer,SolidWorks,Office /qb
```

• SOLIDWORKS PDM Standard CAD Editor (SOLIDWORKS アドインあり)

```
Msiexec /I <path to SOLIDWORKS PDM Client.msi> INSTALLDIR="C:\Program
Files\SOLIDWORKS PDM" PDMTYPE=0
PTID={05AD35C4-8A9A-4114-B51F-32186222ABA1}
ADDLOCAL=Client,Shared,Shared64,SolidWorks /qb
```

```
アップグレードのスクリプトを作成する場合、管理者は REINSTALLMODE=vomus
REINSTALL=ALL を追加する必要があります。
```

# SOLIDWORKS Installation Manager の使用

この章では以下の項目を含みます:

- SOLIDWORKS PDM
- PDM Server コンポーネントのリスト
- PDM クライアントの違いについて
- PDM Server をインストールする前に
- SOLIDWORKS Installation Manager を使用した PDM Server のインストール
- SLDIM を使用した PDM Client のインストール

SOLIDWORKS Installation Manager (SLDIM) により、PDM サーバーとクライアント コンポーネントのインストールが容易になります。 PDM コンポーネントと SQL Server データベースの設定とトラブルシュートを行う場合は、このガイドの他のセクションの詳細トピックを参照してください。

### SOLIDWORKS PDM

SOLIDWORKS PDM は、以前 SOLIDWORKS Enterprise PDM と呼ばれていたクライアント/サーバー アーキテクチャに基づくドキュメント管理製品です。

SOLIDWORKS PDM には次の 2 種類があります。

- SOLIDWORKS PDM Standard
- SOLIDWORKS PDM Professional

SOLIDWORKS PDM は Microsoft SQL Server データベースを使用してファイル ボルトを管理します。

この表には、各製品タイプで使用できるデータベース システム、サーバー コンポーネント、および クライアント オプションがリストされています。

	PDM Standard	PDM Professional
設計対象	小規模~中規模のオフィス ネッ トワーク(一般的に 20 以下の 同時ユーザー)。	大規模オフィス ネットワーク (多数の同時ユーザー)

	PDM Standard	PDM Professional
制限	- 1 ソケットまたは 4 コア(どち らか少ない方)、1 GB RAM、 10 GB データベース サイズ	SQL Standard の制限: 4 ソ ケットまたは 24 コア(どちら か少ない方)、128 GB RAM、 524 PB データベース サイズ 詳細については、Microsoft Docs ページを参照して、SQL Server のエディションとサポー トされている機能を検索してく ださい。
データベース管理システム	Microsoft SQL Server Express 2017 以降のバージョン(2022 まで)。	Microsoft SQL Server 2017 以降のバージョン(2022 ま で)。
SolidNetWork License Manager が必要ですか?	はい	はい
アーカイブ サーバーとデータ ベース サーバーが含まれていま すか?	はい	はい
SOLIDWORKS PDM Web サー バー、Web2 サーバー、および Web API サーバーが含まれてい ますか。	いいえ	はい
クライアント タイプ	ネイティブ	ネイティブ、ブラウザ ベース
CAD Editors クライアント ア ドイン	SOLIDWORKS、DraftSight	SOLIDWORKS、DraftSight、 Microsoft Office Integration
Contributor クライアント アド イン	DraftSight	DraftSight、Microsoft Office Integration
Viewer クライアント アドイン		Microsoft Office 統合

# PDM Server コンポーネントのリスト

このテーブルにはSOLIDWORKS PDM Server のサーバー コンポーネントがまとめられています。

Server	関数	インストレーション (Installation)
PDM Standard 向け Microsoft SQL Server Express	SOLIDWORKS PDM データ ボ ルトのデータを管理します。	PDM Standard と一緒にインス トール可能です。または、前に ライセンスが付与されインス トールされているバージョンを 使用できます。
PDM Professional 向け Microsoft SQL Server	SOLIDWORKS PDM データ ボ ルトのデータを管理します。	必ず実行: 以前に使用許諾され、 インストールされたバージョン も使用できます。
SolidNetWork License Manager クライアント	SOLIDWORKS PDM ライセン スを管理します。	新しいボルトを作成する前にイ ンストールされている必要があ ります。 SOLIDWORKS Installation Manager を使用している場合、 SOLIDWORKS PDM サーバー 構成部品とともにインストール できます。
アーカイブ サーバー	クライアントとファイル ボルト アーカイブ間のファイル転送を 管理し、ユーザーとその資格情 報を管理します。	必ず実行: PDM Standard また は Professional と一緒にイン ストールします。
データベース サーバー	更新に関して PDM データベー スをポーリングし、データのイ ンポートおよびエクスポート ルールを管理し、メッセージシ ステムを管理し、また複製およ びコールド ストレージをスケ ジュールします。	必ず実行: PDM Standard また は Professional と一緒にイン ストールします。
Web2 Server	ブラウザ ベースのクライアント からインターネット経由でファ イル ボルトへのアクセスを提供 します。	この操作はオプションです。 PDM Professional のみと一緒 にインストールします。
Web API サーバー	EXALEAD OnePart ユーザー は、Web API サーバーを使用し て、SOLIDWORKS PDM デー タをインデックス化し、取得す ることができます。	この操作はオプションです。 PDM Professional のみと一緒 にインストールします。

アーカイブ サーバーはインストール先のコンピュータのシステム アカウントでのサービスとして実行されます。 1 つのアーカイブ サーバーは同じコンピュータにある複数のファイル ボルトをホスティングできます。

スタンドアロン インストレーションでは、アーカイブ サーバー、データベース サーバー、ライセンス サーバー、Web API サーバーだけでなく、SQL Express または SQL Server データベース もすべて同じマシンにインストールできます。

分散環境では、サーバー コンポーネントは別のマシンに配置できます。 SOLIDWORKS PDM Professional では、リモート位置でのパフォーマンスを向上させるため、ファイル ボルト アーカ イブおよび SQL サーバー データベースの複製もサポートしています。 詳細については、 SOLIDWORKS PDM Professional 複製ガイドを参照してください。

# PDM クライアントの違いについて

クライアント ソフトウェアをインストールする前に、PDM 環境によって異なるクライアントのうちどのクライアントが必要なのかを判断する必要があります。

このテーブルには SOLIDWORKS PDM Standard 向けクライアントの要約が記載されています。

Standard クライアントの種類	説明
CAD Editor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルをサポートし ます。Office プラグインで処理されるすべての ファイル フォーマットは、プレビューを除き SOLIDWORKS PDM Standard で同じように動 作します。
Contributor	SOLIDWORKS、DWG/DXF 形式、Microsoft Word、Microsoft Excel ファイルをサポートし ます。
Viewer	ファイル ボルトに読み取り専用のアクセスを許 可します。ユーザーは、ワークフローを通して ファイルを遷移させることができますが、ファイ ルを追加または修正(チェックアウト、チェック イン、値の更新)することはできません。

このテーブルには SOLIDWORKS PDM Professional 向けクライアントの要約が記載されています。

Professional クライアントの種類	説明
CAD Editor & Web	全てのファイル タイプをサポートし、 SOLIDWORKS を含む CAD フォーマットの管 理とプレビュー機能が強化されています。CAD アドインの使用により、CAD アプリケーション から SOLIDWORKS PDM Professional にアク セスすることも可能です。リモートユーザーは、 ボルトを検索し、インターネットを介して Web2 クライアントを使用して基本的な機能を実行でき ます。
Contributor & Web	CAD ファイルを含む全てのファイル タイプをサ ポートしています。しかし、このクライアント タイプは CAD アドインがサポートされていませ ん。リモート ユーザーは、Web2 クライアント を使用して、インターネット経由でボルトの検索 や基本的な機能を実行できます。
Viewer	ファイル ボルトに読み取り専用のアクセスを許 可します。 ユーザーは、ワークフローを通して ファイルを遷移させることができますが、ファイ ルを追加または修正(チェックアウト、チェック イン、値の更新)すること、または CAD アドイ ンを使用することはできません。

## PDM Server をインストールする前に

PDM Server コンポーネントをインストールする前に、次の要件を満たしておく必要があります。

- サーバーとクライアントをインストールする予定のマシンに完全な管理権限を取得してください。
- データベース サーバーがTCP</Z1>ポート3030</Z2>を使ってアーカイブ サーバーへ、そしてTCP</Z3>ポート1433</Z4>を使ってSQL</Z5>サーバーにアクセス可能であることを確認してください。
- 既存の SQL Server Express または SQL Server データベースを使用する予定の場合、SQL Server データベースの名前と、データベースへの読み取り/書き込みアクセス権を持つ SQL Server 管理者またはデータベース所有者のアカウント ID とパスワードを取得してください。 tew ユーザーは使用できません。
- PDM クライアントが既にシステムにインストールされている場合、それをアンインストールします。 PDM Server と PDM クライアントを同じシステムに置きたい場合、SOLIDWORKS Installation Manager のServer 製品ページから両方をインストールできます。

# SOLIDWORKS Installation Manager を使用した PDM Server のインストール

PDM Standard 用に PDM Server をインストールする場合、同じマシン上にアーカイブ サーバー、 データベース サーバー、および PDM CAD Editor クライアントをインストールできます。 クライ アントのインストレーションを別途実行する必要はありません。

PDM Professional 用に PDM Server をインストールするとき、これらのコンポーネントの他、 Web2 サーバーおよび Web API サーバーも含めることができます。

#### PDM Server とそのコンポーネントをインストールするには:

- 1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
- ようこそ(Welcome)ページでサーバー コンポーネントをインストール(Install server components)を選択して以下をクリックします:
  - SOLIDWORKS PDM Server コンポーネントをこのコンピュータにインストールする (Install SOLIDWORKS PDM Server components on this computer)。
  - SolidNetWork License Manager をこのコンピュータにインストールする(Install SolidNetWork License Manager on this computer)。

このコンピュータまたは別のコンピュータに SolidNetWork License Manager がインス トールされている場合、このオプションは表示されません。

- SolidNetwork License Manager オプション (SolidNetwork License Manager Options) ページが表示される場合、シリアル番号を入力し、ディレクトリの場所を指定して次へ (Next) をクリックします。
- 4. システムの警告の指示に従い次へ(Next)をクリックします。
- 5. **SOLIDWORKS PDM Server** のサマリー(Summary)ページで**変更(Change)**をクリックします。

- 6. SOLIDWORKS PDM Server オプション (SOLIDWORKS PDM Server Options) ページで:
  - a) Server 製品の選択 (Select Server Product) で、SOLIDWORKS PDM Standard または Professional をクリックします。
  - b) インストレーション先(Installation Location)で、参照(Browse)をクリックして ファイル パスを指定します。
  - c) 機能の選択 (Select Features) で:
    - アーカイブ サーバー (Archive Server)、データベース サーバー (Database Server)、およびクライアント (client) をクリックして、これらのコンポーネント を同じマシン上にインストールします。分散環境の場合、別のマシン上で Installation Manager を実行して、アーカイブ サーバーとデータベース サーバーをインストール できます。
      - マシン上に PDM クライアントが既にインストールされている場合、インストレーションをキャンセルして、クライアントをアンインストールする必要があります。次に、SOLIDWORKS Installation Manager を実行して、クライアントと共に PDM サーバーをインストールします。
      - SOLIDWORKS PDM サーバー インストールに含まれる SOLIDWORKS PDM クライアント コンポーネントにはアイテム エクスプローラが含まれており、こ れを除外することはできません。
    - PDM Professional をインストールしている場合は、Web2 サーバー(Web2 server) および Web API サーバー(Web API Server) もクリックできます。

Web API サーバーをインストールしている場合は、**HTTP ポート番号(HTTP port number)**に 0 ~ 65535 の値を指定します。デフォルト値は 65453 です。

d) **SQL Server** で、PDM Server と共に提供されるデータベース ツールの新規インスタン スをインストールできます(SQL Server Express for PDM Standard)。または、既存 インスタンスのデータベース名、ユーザー名、およびパスワードを指定できます。

SOLIDWORKS PDM Professional では、SQL Server の完全バージョンがインストー ルされている必要があります。

- e) **サマリーに戻る**(Back to Summary)をクリックします。
- サマリー(Summary)ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて今すぐインストール(Install Now)をクリックします。

SOLIDWORKS Installation Manager がインストールを完了すると、アーカイブ サーバー コ ンフィギュレーション ツール (Archive Server Configuration Tool) が開始します。 ウィ ザード内のプロンプトに従って、アーカイブ サーバーを構成します。

アーカイブ サーバー、データベース サーバー、Web2 サーバー、および SQL Server データ ベースのセットアップ、構成、およびトラブルシューティングを行うには、*SOLIDWORKS PDM インストール ガイド*で関連するトピックを参照してください。

# SLDIM を使用した PDM Client のインストール

SOLIDWORKS PDM Client のメジャー バージョンは SOLIDWORKS PDM Server のメジャー バージョンと一致させる必要があります。 SOLIDWORKS PDM Client をインストールまたはアッ プグレードする場合は、バージョンが一致していることを確認してください。

#### PDM Client をインストールするには:

- 1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
- ようこそ(Welcome)ページで、このコンピュータにインストール(Install on this computer)を選択します。
- 3. シリアル番号 (Serial Number) ページで次へ (Next) をクリックします。

SOLIDWORKS PDM クライアントは、別個のシリアル番号を必要としません。

- 4. システムの警告の指示に従い次へ (Next) をクリックします。
- 5. サマリー(Summary)ページの製品(Products)の下で**変更(Change)**をクリックしま す。
- 製品選択 (Product Selection) ページで別のパッケージ/製品の選択 (Select different packages or products) をクリックします。
- 表示するパッケージを選択してください(Select the package you want to show) ダイアロ グボックスで SOLIDWORKS のエディションを選択します。OKをクリックします。
- 8. 製品選択 (Product Selection) ページで **SOLIDWORKS PDM Client** を選択します。 次 に、**eDrawings** を選択して、PDM プレビュー機能を有効にします。 SOLIDWORKS PDM Professional を使用している場合は **Item Explorer** も選択できます。
- 9. サマリー (Summary) ページで SOLIDWORKS PDM オプション (SOLIDWORKS PDM Options) を展開して変更 (Change) をクリックします。
- 10. SOLIDWORKS PDM Client オプション(SOLIDWORKS PDM Client Options)ページで次 を選択して**サマリーに戻る(Back to Summary)**をクリックします。
  - PDM 製品のタイプ
  - PDM クライアントの種類
  - アドイン
- 11. サマリー(Summary)ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインス** トール(Install Now)をクリックします。

管理者は、PDM クライアントのイメージの作成と展開に、アドミニストレーティブ イメージ オ プション エディタも使用できます。詳細は、アドミニストレーティブ イメージの使用(Using Administrative Images) を参照してください。

# 7

# **ローカル ファイルボルト ビューの作成と配布**(Creating and Distributing File Vault Views)

この章では以下の項目を含みます:

- ボルトの作成(Vault Creation)
- SolidNetWork ライセンス サーバーをファイル ボルト用に設定する
- ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する(Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard)
- Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル ボルト ビューの配布
- WAN環境でファイルボルト ビューを配布する(Distributing File Vault Views in a WAN Environment)

SOLIDWORKS PDM ファイルボルトには、SOLIDWORKS PDM で管理されるファイルおよび情報が格納されます。

ファイルをファイルボルトに追加するには、ローカル ファイルボルト ビューにファイルを配置します。 これは、すべての中間的ファイル変更が行われる作業フォルダです。

ファイル ボルト ビューは以下と直接接続されています:

- ファイルボルト アーカイブに物理的ファイルを格納するアーカイブ サーバー。
- ファイルボルトに格納されるファイルや処理に関する情報が含まれるファイルボルトデータベース。

ファイルボルトに格納されたファイルおよび情報は SOLIDWORKS PDM クライアントがインストール されたシステムから、また適切なアクセス権限を持ったユーザーとしてログインすることによってのみア クセス可能です。

# ボルトの作成(Vault Creation)

SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使ってアーカイブ サーバー上にボルトを作成します。

#### 前提条件

ボルトを作成する前に:

- すべての SOLIDWORKS PDM コンポーネントがインストールされていることを確認してください。
- アーカイブ サーバーが使用可能であることを確認してください。

使用するアーカイブサーバーが別のシステムにある場合、追加しなければならないことがあります。

アーカイブ システム上のファイアウォールが TCP ポート 3030 をブロックしている場合、アー カイブ サーバーにアクセスできません。

 SQL Serverがアーカイブ サーバーと異なるシステム上にある場合、使用できることを確認して ください。ファイアウォールがポート1433をブロックしているとアクセスできない場合があり ます。

SQL Server が名前付きインスタンスを使用している場合、または SQL Server Express で ある場合は、TCP ポートに 1433 ではなく動的な値が設定されている可能性があります。詳 細については、**固定 TCP ポートで待ち受けるように SQL Server Express インスタンスを** 設定するを参照してください。

• 十分なアクセス権限があることを確認してください。

Windowsユーザー アカウントには、アーカイブ サーバーへの管理者アクセスが必要です。 アー カイブ サーバーと同じシステム上にボルトを作成した場合、ローカルのAdministratorにはデ フォルトでこの権限があります。

• SQL Serverの情報を入手してください。

以下を確認する必要があります。

- SQLサーバー名。
- ボルトを作成するのに十分なシステム管理者権限を持つユーザーのログイン情報。

#### アーカイブ サーバーを追加する(Adding an Archive Server)

ボルトを作成するには、アーカイブ サーバーに接続可能になっている必要があります。 アーカイブ サーバーがインストールされていて、アドミニストレーション ツールに表示されていない場合、こ れを追加できます。

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. ファイル(File) > サーバーを追加(Add Server)を選択します。
- 3. サーバーの追加(Add Server)ダイアログ ボックスの**サーバー名(Server name**)で、追加するサーバーを選択または入力します。

*Installation Guide*で説明しているとおり、環境が IP アドレスのみの通信に設定されていない 限り、IP アドレスではなくサーバー システム名を使用してください。

アーカイブ サーバーをWANに追加するときに、DNSがサーバー ホスト名のIPアドレスのルッ クアップに失敗することがあります。 回避策として、クライアントがサーバーを名前で ping できることを確認してください。 ping が動作しない場合、ローカルの HOSTS ファイルを更 新します。

詳細は、SOLIDWORKS PDM/SOLIDWORKS Manage インストレーション ガイドの WAN 環境でのアーカイブ サーバーの追加 (Adding Archive Servers in a WAN Environment) を参照してください。

4. **OK** をクリックします。

#### アーカイブ サーバーにログインする(Logging In to an Archive Server)

新しいボルトを作成する前にログインする必要があります。ログインした Windows ユーザー アカ ウントがアーカイブ サーバー上の管理者アクセス権を持っている場合、ログインは必要ありません。

#### アーカイブ サーバーにログインするには:

- 1. ログイン(Login)ダイアログ ボックスで、アーカイブ サーバー上のボルトにアクセス権限を持 つユーザーのWindowsユーザー名とパスワードを入力します。
  - アーカイブ サーバーを追加してそのボルトをリストするには、アーカイブ サーバー コン フィギュレーション ツールのアタッチ アクセス(attach access)リストのメンバーになって いるユーザーとしてログインします。
  - ボルトの作成、アップグレード、削除などの管理タスクを実行するには、管理者アクセス (administrative access)を持つユーザーとしてログインします。
- 2. ログイン ダイアログ ボックスにドメイン リストが含まれる場合、以下のいずれかを実行して ください。
  - アーカイブ サーバー上のローカル ユーザー アカウントを使用している場合、末尾に(ローカルアカウント)(local account)が付いているシステム名を選択します。
  - ドメイン アカウントを使用している場合は、正しいドメインを選択または入力します。
- 3. ログイン(Log In)をクリックします。

#### ボルトの作成 (Creating a Vault)

#### ボルトを作成するには:

- 1. SOLIDWORKS PDM クライアントがインストールされているシステムにログインします。
- Windows のスタート(Start)メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション(Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 3. 作業するアーカイブ サーバーがリストにない場合は、アーカイブ サーバーを追加する(Adding an Archive Server) (103ページ) で説明されているとおり追加します。
- 4. 左側パネルで、ボルトを作成するアーカイブ サーバーを右クリックし、新しいボルトを作成 (Create new vault)を選択します。

ログインを求められた場合は、アーカイブ サーバーへのログイン(Logging In to an Archive Server)を参照してください。

5. ボルト セットアップ ウィザードで以下を行います。

スクリーン	動作	
ようこそ	<b>次へ</b> をクリックします。	
ボルト タイプを選択	SOLIDWORKS PDM Standard ボルト(SOLIDWORKS PDM Standard Vault)または SOLIDWORKS PDM Professional ボルト(SOLIDWORKS PDM Professional Vault)を選択し ます。	
	この画面は SOLIDWORKS PDM Professional でのみ表示されます。	
ボルト名を選んでくださ い	新しいボルトの名前と説明を入力します。	
ボルト アーカイブ フォル ダの選択	<b>ボルト アーカイブ フォルダ(Vault root folder</b> )で、ボルト アー カイブを保存するアーカイブ フォルダを選択します。	
	デフォルトのアーカイブ フォルダは、Archives です。	
データベースを選択	ボルト データベースには、ボルトに格納されるファイルや処理に関 する情報が含まれます。 データベースサーバーを選択で、ボルト データベースをホストする SQL Server Express を選択または入力します。	
	Standard ボルト データベースは SQL Server Express でホス トする必要があります。	
	データベース名(Database name)を入力します。	
	次のいずれかの場合、SQL ログイン ダイアログ ボックスが表示さ れます。	
	<ul> <li>保存されている SQL ログインに十分な権限がない</li> <li>SQL サーバーでユーザーが無効である</li> <li>ユーザー名またはパスワードが無効である</li> </ul>	
	十分な権限を持つ、 sa などの SQL ユーザーを指定してください。	
ボルト用のライセンス サーバー	SolidNetWork License Server のアドレスを次の形式で入力しま す: port@SNLServerName。	
	SOLIDWORKS PDM Standard ボルトの場合は、Standard ボルト のライセンスをアクティブ化したサーバーの名前を追加します。	
	SOLIDWORKS PDM Professional ボルトの場合は、Professional ボルトのライセンスをアクティブ化したサーバーの名前を追加しま す。	

スクリーン	動作
地域の設定を選択	<b>言語</b> ボルトで使用する言語を選択します。
adminユーザを作成	次のいずれかの操作を行います: • このアーカイブ サーバーのデフォルト 'admin' パスワードを使 用(Use the default 'admin' password for this archive server)を選択します。
	アーカイブ サーバーのインストール時に定義した Admin ユー ザーのパスワードが、ボルトの admin ユーザーに対して使用さ れます。
	<ul> <li>このオプションをクリアして、パスワードの入力と確定を行います。</li> </ul>
	このログインは、新しいボルトのボルト固有 admin ログイン設 定にセットされます。
ボルトを設定	次のいずれかの操作を行います: • 管理者エクスポート ファイル(*.cex)に基づくコンフィギュ レーションを使用
	ボルトで使用する設定を含んだ.cex ファイル(別のボルトから エクスポートしたボルト設定等)を参照します。
	.cex ファイルを Standard ボルトで使用するためにインポー トする場合、Standard に固有のフィーチャーがインポートさ れます。 Standard でサポートされない要素を含むフィー チャーはインポートされません。
	<ul> <li>定義済みのコンフィギュレーションを使用</li> </ul>
	次のいずれかを選択してください:
	空
	ファイルのないデータ フォルダを作成します。これにより、デー タ カードやワークフローなどのインポートや作成がより簡単にな ります。
	デフォルト
	以前のバージョンの SOLIDWORKS PDM でインストールされた データ セットをインストールします。
	クイック スタート
	事前定義済みのグループと権限を含む単純なデータ セットをイン ストールします。初めて SOLIDWORKS PDM をインストールす る企業が本稼動環境で簡単にソフトウェアを使用できます。

スクリーン	動作
コンフィギュレーション の詳細を選択	ボルトを設定 画面での選択内容で、この画面の表示内容が決定しま す。
	<ul> <li>管理者エクスポートファイルに基づくコンフィギュレーションの 使用を選択した場合には、この画面は表示されません。</li> </ul>
	<ul> <li>空を選択した場合は、いかなるデータオプションもボルトにイン ストールされず、ユーザーが作成した.cexファイルのインポー トが簡単になります。</li> </ul>
	<ul> <li>SOLIDWORKS クイック スタート (SOLIDWORKS Quick Start) を選択した場合には、基本的な SOLIDWORKS 環境向 けに用意された次のオプションがインストールされます。</li> </ul>
	BOM <ul> <li>標準 BOM</li> <li>溶接 BOM</li> <li>溶接カット リスト</li> </ul>
	<ul> <li>デフォルト フォルダ カード</li> <li>SOLIDWORKS</li> </ul>
	すべての SOLIDWORKS ファイルに使用する単一のカードで す。
	検索サポート
	ボルトの検索時にユーザーに対して表示されます
	<ul> <li>完全ファイル検索</li> <li>クイック スタート検索</li> </ul>
	<ul> <li>デフォルトオプションを選択した場合には、次のオプションが表示されます。オプション名をクリックすると、説明が表示されます。</li> </ul>
	<b>アドイン</b> <ul> <li>ディスパッチ(SOLIDWORKS PDM Professional)</li> </ul>
	タスク実行(Task Execution)の下にある変換(Convert) や印刷(Print)を選択すると、SWTaskAddinがボルトに追加 されます。部品表

スクリーン	動作
	BOM • 標準BOM(Bill of Materials) • 溶接BOM(Bill of Materials) • 溶接カット リスト
	<b>カード</b> SOLIDWORKS PDM Professional 用のファイルおよびフォルダ データ カード:
	<ul> <li>Adobe Acrobat</li> <li>AutoCAD</li> <li>Autodesk Inventor</li> <li>ビットマップ イメージ</li> <li>CAL</li> <li>デフォルト フォルダ カード</li> <li>Microsoft Office</li> <li>MP3</li> <li>Pro/ENGINEER</li> </ul>
	Pro/ENGINEER には、別の Pro/ENGINEER コネクタのイン ストールが必要です。
	<ul> <li>Solid Edge</li> <li>SOLIDWORKS</li> <li>テキスト ファイル</li> <li>XML</li> </ul>
	SOLIDWORKS PDM Standard 用のファイルおよびフォルダ デー タ カード:
	<ul> <li>AutoCAD</li> <li>デフォルト フォルダ カード</li> <li>Microsoft Office</li> <li>SOLIDWORKS</li> <li>テキスト ファイル</li> </ul>
	<b>アイテム(SOLIDWORKS PDM Professional)</b> • アイテム検索カードを含むアイテムのサポート
	アイテム検索カードを含むアイテムのサポート
ローカル ファイルボルト ビューの作成と配布 (Creating and Distributing File Vault Views)

スクリーン	動作
	<b>検索サポート</b> ボルトの検索時にユーザーに対して表示
	• 完全ファイル検索
	Standard でサポートされるアイテムのみが利用可能です。
	• ユーザー検索
	<b>タスク実行(サーバー側アドイン)</b> SWTaskAddin.dll で利用可能なタスク
	<ul> <li>変換</li> <li>Design Checker (SOLIDWORKS PDM Professional)</li> <li>印刷 (SOLIDWORKS PDM Professional)</li> </ul>
情報の確認	ボルト パラメータを確認して <b>完了</b> をクリックします。
完了	<b>閉じる</b> をクリックします。

## SolidNetWork ライセンス サーバーをファイル ボルト用に設定する

SolidNetWork License Manager をインストールし、サーバー上でライセンスをアクティブ化したら、サーバーをファイル ボルト用に設定できます。

SQL サーバー上のすべての SOLIDWORKS PDM ボルトは同じ SNL サーバーを使用するため、 ライセンス サーバーを一度だけ設定する必要があります。

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. ファイル ボルトを作成するか、既存のファイル ボルトを展開します。
- 3. **ライセンス(License)**ノードを展開して、**サーバーリスト(Server List)**をダブルクリックします。
- 4. ライセンス サーバー リスト(License Server List)ダイアログ ボックスで、追加(Add)を クリックします。
- 5. SolidNetWork License Manager のアドレスを次の形式で入力します: port@SNLServerName。

デフォルトのポート番号は 25734 です。SNLServerName には、SolidNetWork License サーバーのホスト名または IP アドレスを入力できます。すべてのクライアントは、IP アド レスまたはホスト名によってサーバーに接続できる必要があります。

6. **OK** を2回クリックします。

## ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する (Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard)

ファイルを管理するユーザーは、各クライアント上に作成されたローカル ファイルボルト ビュー (作業フォルダ)からファイルボルトに接続する必要があります。

ファイルボルト ビューをセットアップするには、SOLIDWORKS PDM クライアントをインストー ルしておく必要があります。

SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを使用してローカル ファイル ボルト ビュー を作成することもできます。 SOLIDWORKS PDM Administration Guide のローカル ファイルボ ルト ビューの作成に関するセクションを参照してください。

アドミニストレーティブ イメージを作成している場合は、アドミニストレーティブ イメージ オ プション エディタでビュー セットアップ ウィザードにアクセスすることもできます。 *SOLIDWORKS インストレーション ガイド*で、アドミニストレーティブ イメージ オプションの 設定のトピックを参照してください。

ビュー セットアップ ウィザードを使用してファイルボルト ビューを作成するには:

1. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > ビュー セットアッ プ (View Setup) をクリックします。 2. 次の手順に従ってファイルボルト ビューを作成してください:

画面	操作
ようこそ (Welcome)	<b>次へ(Next)</b> をクリックします。
アーカイブ サー バーの選択(Select archive server(s))	<ul> <li>ネットワーク上の利用可能なアーカイブ サーバーが表示されます。</li> <li>a. 接続したいアーカイブ サーバーが表示されていれば、選択します。</li> <li>b. 接続したいアーカイブ サーバーが表示されていない場合: <ol> <li>i. 追加(Add) をクリックします。</li> <li>ンサーバーを手動で追加 ダイアログ ボックスで、システム名を入力し、OK をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
	合、ログイン ダイアログ ボックスが表示されます。 アーカイ ブ サーバー上のファイルボルトに、アタッチ アクセス権限を持 つユーザーでログインします。
	3. 新しいアーカイブ サーバーを選択します。
	<ul> <li>c. ファイルボルトのある他のアーカイブ サーバーに接続するには、それらを選択します。</li> <li>d. 次へ(Next) をクリックします。</li> </ul>
ボルトの選択 (Select vault(s))	選択されたアーカイブ サーバー上のすべてのファイル ボルトがリストさ れます。 a. ローカル ファイルボルト ビューを作成したいボルトを選択します。 b. <b>次へ</b> (Next) をクリックします。

画面		操作	I	
場所を選択(Select location)	a.	ローカル ファイル	レボルト ビューを作成する場所を選択します。	
			ビューは任意の場 のプロファイルに ハード ディスク す。	所に配置できます。 ただし、システム上のすべて アクセス可能な共有ビューの場合は、ローカル ドライブのルートに作成してアクセスしやすくしま
		b.	作成するビューの	タイプを選択します。
			自分のみ(Only for me)	このローカル ビューは、システムにログインして いる Windows プロファイルからのみアクセスで きます。 複数のユーザーが同じシステムを使用し ている場合はこのオプションを使用します。 ロー カル ファイルボルト ビューは、ログインしてい るプロファイルからアクセス可能な場所に配置し てください。
				詳細については、 <i>SOLIDWORKS PDM をターミ</i> <i>ナル サーバーで使用する</i> を参照してください。
			このコンピュー タ上のすべての ユーザー(For all users on this computer)	ローカル ビューはこのシステム上の全ての Windows プロファイルからアクセス可能です(推 奨)。ログインしているユーザーには、このオプ ションを指定する際、ローカル システム レジス トリの更新が必要となるため、ローカル管理者権 限が必要です。
			詳細については、複数のユーザー プロファイルで 共有ファイルボルト ビューを使用する(Using a Shared File Vault View with Multiple User Profiles)を参照してください。	
		c.	<b>次へ</b> (Next <td>&gt;)をクリックします。</td>	>)をクリックします。
アクションの (Review	の確認	完了	(Finish)をクリ	ックします。

actions)

完了 閉じる をクリックします。

(Completed)

Windows ファイアウォールでブロードキャストを可能にする(Enabling Broadcast with Windows Firewalls)

Windows ファイアウォールが動作しているワークステーション上で SOLIDWORKS PDM を実行 している場合、ユーザーがビュー セットアップを使用してファイル ボルト ビューを作成するとき に、アーカイブ サーバーをリストするブリードキャストを有効にする必要があります。

これは、SOLIDWORKS PDM はブロードキャスト メソッドを使用して、ネットワーク上の使用可 能なすべてのアーカイブサーバーのリストを取得するからです。 このブロードキャストはクライア ントのダイナミック ポートからサーバーシステムのデフォルトのポート3030</Z1>に送信されま す。 デフォルトでは、Windowsファイアウォールはブロードキャストの結果をサーバーからダイ ナミック クライアント ポートに返すのに3秒しか許容しません。 その後ブロードキャストの応答は ファイアウォールによって阻止されます。

Windowsファイアウォールを有効にした状態で、アーカイブサーバー ブロードキャストを正しく 動作させるには、ブロードキャストを要求するアプリケーションを許可する必要があります。 SOLIDWORKS PDM の場合、ビュー セットアップ ウィザード (ViewSetup.exe) と SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツール (ConisioAdmin.exe) がこれに該当しま す。

#### 複数のユーザープロファイルで共有ファイルボルトビューを使用する(Using a Shared File Vault View with Multiple User Profiles)

共有ファイルボルト ビューは、ローカルなWindows管理者権限を持つユーザーにより、作成され ます。 ローカル管理者グループはデフォルトで、そのビューで作成された(あるいはキャッシュさ れた)ファイルに対してすべての権限を持ちます。

多くのシステムでは、ローカル ユーザーまたはパワー ユーザー グループはWindowsのフォルダに 対して制限された権限しか持ちません。 ローカル管理者権限を持つユーザーが共有ボルト ビューに ファイルをキャッシュした場合、ユーザーあるいはパワーユーザーアクセス権限しか持たない他の Windowsユーザー プロファイルは、そのファイルに対して完全なアクセスを行う、あるいはチェッ クアウトする際に読みとり専用の属性を変更する権限を持っていない場合があります。

共有ファイルボルト ビューをWindowsのユーザーまたはパワーユーザー プロファイルで使用する 計画がある場合、これらのグループに対してフォルダ アクセス権限を定義しなければなりません。

プロパティ ダイアログボックスを使って共有ビューのアクセス権限を変更する(Changing Access Permissions on a Shared View Using the Properties Dialog Box)

- 1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログインします。
- 2. Windows ファイル エクスプローラでファイル ボルト ビュー フォルダを選択します。
- 3. ファイル ボルト ビュー フォルダを右クリックし、プロパティ(Properties)を選択します。
- 4. ファイルボルト ビューのプロパティ (Properties) ダイアログ ボックスのセキュリティ タブ をクリックします。
- 5. グループ名またはユーザー名(Group or user names) で、ファイル ボルト ビューを使用 する Windows プロファイル グループを選択し、すべてのアクセス権限がチェックされている ことを確認してください(フル コントロール(Full Control))。
- 6. **OK** をクリックします。

コマンドプロンプトを使って共有ビューのアクセス権限を変更する (Changing Access Permissions on a Shared View Using the Command Prompt)

- 1. ローカル管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログインします。
- 2. コマンド プロンプトを開き、ファイルボルト ビューを含む親フォルダ(通常は C:\)を開き ます。
- icacls コマンドを使用して、ユーザーおよびパワー ユーザー グループに十分なアクセス権 限を割り当てます。
   ICACLS "vault\_view\_name" /grant "group\_or\_username": (OI) (CI) F /T たとえば、ローカル ユーザーに十分なアクセス権限を付与するには、次を入力します:
   ICACLS "c:\EPDM File Vault" /grant "users": (OI) (CI) F /T icacls コマンドの詳細については、Microsoft サポート ページにアクセスし、icacls を キーワードにして検索してください。

#### SOLIDWORKS PDM をターミナル サーバーで使用する

次の推奨事項は、ターミナル サーバー環境で SOLIDWORKS PDM クライアントをインストールする場合に適用されます。

- クライアント ソフトウェアはターミナル サーバー上に1回だけインストールされます。すべての ターミナル プロファイルはこの同じコア システムおよびプログラム ファイルを使用します。 同じターミナル システム上で異なるクライアント タイプを組み合わせることはできません。す べてのターミナル クライアント プロファイルで同じライセンス タイプが使用されます。
- ターミナル クライアント向けのローカル ファイルボルト ビューを作成する際には、そのビュー にアクセス権限のあるWindows</Z1>プロファイルでログインしている必要があります。自分 のみ(Only for me) またはこのコンピュータ上のすべてのユーザー(ローカル管理者権限が 必要)(For all users on this computer (requires local administrator rights)) オプションを選択すると、ビューがプライベートになります。

複数のターミナル クライアント プロファイルに対してビューを管理しやすくするには、 SOLIDWORKS PDM ポリシーを使用するか、アドミニストレーティブ ビュー セットアップ ファイルを作成します。

ファイルボルト ビューには、ビューが作成されたWindowsプロファイルからしかログインで きません。ビュー情報はレジストリの現在のユーザーのセクションに格納され、現在のプロ ファイルからのみアクセスできます。

- プライベートビューをすべてのプロファイルで同じ場所に配置したい場合は、ターミナル ユー ザーのホーム フォルダに配置してください。 例えば、環境変数%HOMEDRIVE%%HOMEPATH%を 使用します。 これらはほとんどのユーザーに対して同じパスを持っています。
- ターミナルサーバー上の全員からアクセス可能な共有ビューを作成することは、ターミナル環境では推奨されません。共有ビューを使用すると、すべてのターミナルユーザーが同じローカルキャッシュで作業することになり、他人が行った変更を上書きしてしまう可能性があるからです。

## ファイルボルト ビュー セットアップ ファイルの作成 (Creating a File Vault View Setup File)

ビュー セットアップ ファイル (.cvs) を使用することにより、.cvsファイルを実行するだけで ビュー セットアップ ウィザードを使用せずにクライアントをファイルボルトにアタッチできます。

.cvs ファイルは、ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成(Scripting File Vault View Setup)で説明されているようにトリガを使ってサイレントに起動することも可能です。

.cvs ファイルは、既存のすべての SOLIDWORKS PDM クライアントから作成できます。

#### .cvsファイルを作成するには:

 ビュー セットアップを、トリガ/aを指定して起動します。
 たとえば、Windows のスタート(Start) メニューから ファイル名を指定して実行(Run)を クリックして次のコマンドを入力します:

"C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\ViewSetup.exe" /a

 ローカル ビューを作成する場合と同様に、ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードを 使って作業します。
 ビュー セットアップ ウィザードを使ってファイルボルト ビューを作成する (Creating a File Vault View Using the View Setup Wizard) を参照してください。 ビューは任意の数選択で

きます。 アクションの確認(Review Actions)画面で、利用可能なアクションは**ファイルに保存**(Save

- 3. **完了**(Finish)をクリックしてビュー セットアップ ファイルの場所とファイル名を指定しま す。
- 4. 閉じる (Close) をクリックします。

to file) です。

ファイルボルト ビュー セットアップ ファイルの使用(Using a File Vault View Setup File)

.cvs を実行することにより、ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードを使用せずにクライア ントをファイルボルトにアタッチできます。

.cvs ファイルは、ファイル ボルト ビュー セットアップのスクリプト作成(Scripting File Vault View Setup)で説明されているようにトリガを使ってサイレントに起動することも可能です。

#### ビュー セットアップ ファイルを使用するには:

- 1. .cvsファイルをファイルボルトにアタッチしたいクライアントにコピーします。
- 2. .cvsファイルをダブルクリックします。

ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードの 完了(Finish)画面が開き、ローカル ビューが 作成されるボルトがリストされます。

3. **完了**(Finish)をクリックします。

### ファイルボルトビューセットアップのスクリプト作成(Scripting File Vault View Setup)

ビュー セットアップ ウィザードは、以下のトリガを持つViewSetup.exeを使って起動すること によりビューのインストールを自動化することができます。 これはログイン スクリプトや同様の配 布メソッドを使ってファイルボルト ビューの配布を行いたい場合に便利です。

オプション、または引数	動作
/a	ビュー セットアップ ファイルを作成します。
path_tocvs_file	ビュー セットアップ ファイルを開き、このファイルの情報を 使ってアタッチを可能にします。
	完全なパスには.cvsファイルが必要です。
/q	ウィザードを表示せずサイレントにアタッチします。 /s スイッ チまたは.cvsファイルとの組み合わせでのみ使用できます。
/s {VaultID}	ボルト ID は、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールでボルトのプロパティを選択することで確認できます。
	ボルトをホストするアーカイブサーバーが複数ある場合には、 WAN 環境でファイルボルト ビューを配布する(Distributing File Vault Views in a WAN Environment)を参照してくださ い。

## 例

• .cvsファイルから、ボルト ビューをサイレントに作成します:

ViewSetup.exe PDMWEVault.cvs /q

• IDで指定された2つのボルトから.cvsファイルを作成します:

```
ViewSetup.exe /s
{A8E07E93-F594-42c9-A01B-F613DBA53CB5}{699C4EC3-60FC-452f-940E-8786A7AAF1B2}
/a
```

## Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル ボルト ビューの配 布

SOLIDWORKS PDM ユーザー ポリシーを Microsoft Windows Active Directory で使うことにより、集中管理された場所からボルト ビューをクライアント ワークステーションに配布できます。

Active Directoryの設定を行う前に、に説明されているように配布したいボルト ビューの一意なボ ルトIDを確認します。 SOLIDWORKS PDM ボルト ID の検索(118ページ)

ほとんどのポリシー ダイアログには説明タブがあり、ポリシーに関する説明テキストが表示されます。

Windows Server Active Directoryを使ってボルトビューを配布するには:

- 1. コントロール パネルを開き、システムとセキュリティ > 管理ツール > Active Directory ユーザーとコンピューター をクリックします。
- 2. セキュリティ グループを作成(あるいは既存のグループを利用)します。
- 3. セキュリティ グループを右クリックし、プロパティ(Properties)を選択します。
- 4. セキュリティ グループのプロパティ ダイアログ ボックスのメンバー タブで、SOLIDWORKS PDM ファイルボルト ビューを配布するユーザーを追加します。
- 5. 最上位のドメイン コンテナ(またはターゲットユーザーを含む最上位OU)を右クリックして プロパティ(Properties)を選択します。
- ドメインのプロパティ(Properties) ダイアログ ボックスのグループ ポリシー タブで、新規 作成(New)をクリックします。
- 7. 新しいオブジェクトを選択し、プロパティ(Properties)をクリックします。
- 8. オブジェクトのプロパティ(Properties)ダイアログボックスのセキュリティ タブをクリックします。
  - a) ユーザーを含むグループをリストに追加し、選択します。
  - b) アクセス許可(Permissions)の、許可(Allow)列で、グループポリシーの適用(Apply Group Policy)を選択し、グループにポリシーを適用します。

他のドメイン グループにポリシーを設定したくない場合、他のグループに対してはアク セス許可がオフに設定されていることを確認してください。

- c) **OK** をクリックします。
- 9. ドメインのプロパティ(Properties)ダイアログボックスで、新しいオブジェクトを再度選択し、 編集(Edit)をクリックします。
- 10. グループポリシーオブジェクトエディタ で:
  - a) ユーザーの構成(User Configuration) > 管理用テンプレート(Administrative Templates)を参照します。
  - b) 右クリックしてテンプレートの追加と削除(Add/Remove Templates)を選択します。
- ポリシー テンプレート(Policy Templates) ダイアログ ボックスで、
   \SWPDMClient\Support\Policies に移動します。 PDMWorks Enterprise.ADM を選 択し、開く をクリックします。

12. ポリシーがロードされたら、閉じる をクリックします。

新しい SOLIDWORKS PDM の設定オプションが管理用テンプレート > 従来の管理用テン プレート(ADM)の下に表示されます。

- 13. ビュー セットアップ(View Setup) フォルダを開き、Automatic View Setup をダブル クリックします。
- 14. Automatic View Setup のプロパティ ダイアログ ボックスで次を行います:
  - a) 有効 を選択します。
  - b) 表示 をクリックしてインストールするビューを表示します。
  - c) 内容の表示 ダイアログ ボックスで **追加** をクリックしてファイル ボルト ビューを追加し ます。
  - d) 項目の追加 ダイアログ ボックスで、配布するビューに名前を指定します(ファイル ボルトと同じ名前にすることをお勧めします)。
  - e) 項目の値フィールドにボルト ID(Vault ID)を入力します。
  - f) **OK**を3回クリックします。

ボルトをホストするアーカイブサーバーが複数ある場合には、WAN環境でファイルボルト ビューを配布する(Distributing File Vault Views in a WAN Environment)(119 ページ)を参照してください。

 ユーザーのログイン時に新しいビューをアナウンスするには、SOLIDWORKS PDM が起動される必要があります。これを自動化するには、Login Manager フォルダを開き、Start SOLIDWORKS PDM Login manager at Windows login ポリシーを有効にします。
 ポリシー エディタ を閉じます。

SOLIDWORKS PDM ボルト ID の検索

ボルト ID を検索するには:

- クライアントコンピュータで、Windowsのスタート(Start)メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレーション(Administration)をクリックしてアドミニストレーショ ン ツールを開きます。
- 2. ボルト ビューを右クリックし、プロパティ(Properties)をクリックします。
- ファイルボルト プロパティ ダイアログ ボックスでは、ボルト ID をコピーしてファイルにペー ストすることができます。

ボルトIDはボルト データベースのSystemInfoテーブルでも確認できます。

#### 配布されたファイルボルトビューを受け取る(Receiving a Distributed File Vault View)

ファイルボルト ビューを配布すると、ユーザーは自動通知を受け取ります。

配布されたグループ内のユーザーが次にログインすると、新しいボルトビューが利用可能になったことを知らせる次のようなバルーンヒントが表示されます。

Your system administrator has assigned new vaults for you to attach. Click here to attach them.

メッセージボックスをクリックすると、ビュー セットアップ(View Setup)ウィザードの場所 を選択(Select Location)画面が表示され、ユーザーはビューを配置する場所を選択すること ができます。

メッセージ ボックスが閉じる前にクリックできなかった場合も、トレー上の SOLIDWORKS PDM アイコンをクリックすると**アタッチ(Attach)**オプションが表示され、そこから配布さ れたビューにアクセスできます。

 Automatic View Setup ポリシーでSetup Views Silentオプションを選択していた場合、 ユーザーには以下のメッセージが表示されます:

Your system administrator has attached you to new vaults. Click here to browse.

メッセージをクリックすると、ボルト ビューが Windows ファイル エクスプローラで開きます。

サイレント ビュー セットアップ ポリシーが動作するためには、ポリシーを使用するドメイン ユーザー プロファイルがアーカイブ サーバー コンフィギュレーション ツールのセキュリティ セクションのアタッチ アクセス(または管理アクセス)リストの一部でなくてはなりません。 そうでない場合には、**アタッチ(Attach)**オプションを使ってビューを手動で作成しなければ なりません。

## WAN環境でファイルボルトビューを配布する(Distributing File Vault Views in a WAN Environment)

デフォルトで、アーカイブ サーバーはブロードキャスト インターフェイスを使ってネットワークを 介してクライアントに自らをアナウンスします(ポート3030を通じて)。 これにより、ビュー セッ トアップ(View Setup)ウィザードあるいはアドミニストレーション(Administration) ツールは正 しいアーカイブ サーバーを自動的にリストすることができます。

スクリプトまたはActive Directoryポリシーがファイルボルト ビューを配布する際、クライアント は最初にアナウンスを受けたアーカイブサーバーを使用します。 複数サーバーのある複製環境など 一部のケースでは、これが正しいサーバーでない場合があります。

WAN あるいは制限のあるネットワークでスクリプトの使用に問題がある場合、SOLIDWORKS PDM Settings ポリシーを使って手動でサーバーを追加してください。

#### SOLIDWORKS PDM クライアントに通知するアーカイブ サーバーを手動で設定

アーカイブ サーバーを手動設定するには:

- Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- ローカル設定(Local Settings)で、グループ ポリシー(Group Policies)をクリックします。
- 3. グループ ポリシー ダイアログ ボックスで、ユーザーの構成 > 管理用テンプレート > SOLIDWORKS PDM 設定をクリックします。

- 4. SOLIDWORKS PDM ポリシーの通常のブロードキャストを無効にします。
  - a) 右側パネルで、**Disable broadcast**をダブルクリックします。
  - b) Disable Broadcast Properties ダイアログ ボックスで **無効** を選択し、**OK** をクリックします。
- 5. クライアントが接続する必要のあるアーカイブサーバーを追加します:
  - a) ビュー セットアップ(View Setup)をクリックします。
  - b) Configure Select Server Page をダブルクリックします。
  - c) Configure Select Server Pageのプロパティ ダイアログ ボックスで 有効 を選択します。
  - d) デフォルト サーバーを表示するには表示 (Show) をクリックします。
  - e) 内容の表示 ダイアログ ボックスで 追加 をクリックしてサーバーを追加します。
  - f) 項目の追加(Add Item) ダイアログ ボックスで、アーカイブ サーバー名とポート(通常 は 3030)を入力します。
  - g) **OK** をクリックして各ダイアログ ボックスを閉じます。

ファイルボルト ビューが配布されると、クライアントは指定されたアーカイブ サーバーを使用する よう強制されます。

#### SOLIDWORKS PDM 設定グループ ポリシーを手作業で指定

Windows Active Directory ポリシー オプションを使用して、SOLIDWORKS PDM 設定を配布で きます。 Active Directory を使ってグループ ポリシーの配布を行わない場合、SOLIDWORKS PDM 設定ポリシーをローカル グループ ポリシーとしてクライアントに手動で追加できます。

Active Directory を使用した SOLIDWORKS PDM 設定の配布の詳細については、**Microsoft Windows Active Directory を使用したファイル ボルト ビューの配布**(117ページ) を参照して ください。

ポリシーを手動で追加するには:

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. ローカル設定を選択します。
- 3. グループ ポリシー(Group Policies)を右クリックして、開く (Open) をクリックします。
- 4. グループ ポリシー ダイアログ ボックスで、**ユーザーの構成** を選択します。
- 5. **管理用テンプレート**(Administrative Templates)を右クリックし、**テンプレートの追加と削除** (Add/Remove Templates)を選択します。
- 6. テンプレートの追加と削除 ダイアログ ボックスで 追加 をクリックします。
- ポリシー テンプレート (Policy Templates) ダイアログ ボックスで、 \SWPDMClient\Support\Policies にある PDMWorks Enterprise.ADM ポリシー テンプレートを参照して開く (Open) をクリックします。
- 8. 閉じるをクリックします。

SOLIDWORKS PDM 設定ポリシー オプションが管理用テンプレート > 従来の管理用テンプレート / (ADM)の下に表示されます。

## SOLIDWORKS PDM 設定ポリシー オプション

ポリシー	説明(Description)
設定(Settings)	
ブロードキャスト ポート設 定	デフォルトで、ブロードキャストで使用されるポートを port 3030 に定義します。 特に変更する必要はありません。
Disable Broadcast	ブロードキャストを使ってローカルサブネット上のアーカイブサー バーを探さないようにします。 マニュアルで追加されたサーバーの みが使用されます。 このポリシーは、特定のアーカイブサーバーを 必ず使いたい場合に使用します。 詳細は、 <i>Microsoft Windows Active Directory を使用したファイ</i> <i>ル ボルト ビューの配布</i> を参照してください。
Disable Automatic View Refresh	通常、別の SOLIDWORKS PDM クライアントから何かが変更され た場合(ファイルの名前変更やチェックアウトなど)、ブロードキャ ストによって Explorer のファイル ビューが更新(最新表示)され ます。
	ビューが自動的に更新されないようにするにはこのオプションを使 用します。 ユーザーは、ビューをリストするフォルダをリフレッ シュするのに <b>F5</b> を押す必要があります。

### ログイン マネージャの設定(Login Manager Settings)

Enable Alternative Servers	ファイルボルトが複製されている場合、このポリシーを有効にする ことによりアーカイブ サーバーのログイン ダイアログ ボックスに ユーザーが接続可能な複製ボルトが表示されます。 このポリシーは、ノートPC等を使用して複製ボルトをホストしてい るこれら両方の場所で作業する場合等に使用します。 ブロードキャ ストされているサーバーのみがリストされます。 このサーバーは Add alternative serversポリシーに組み込んでおく必要がある かもしれません。
Start SOLIDWORKS PDM Login Manager at Windows Login	このポリシーは、 <b>Automatic View Setup</b> ポリシーを使ってビュー を配布する際に設定します。 これにより、ログイン時に SOLIDWORKS PDM ログイン マネージャが起動され、ビューを追 加できるようになります。
Add Alternative Servers	代替サーバー リストは、複製されたボルトをホストしている利用可 能なブロードキャストされたサーバーをリストします。 ブロード キャストがサーバーをリストしない場合、このポリシーを使って手 動で追加します。 サーバー名をValue Name、サーバー ポートを Valueとして指定します。

ポリシー	説明(Des	cription)
ビュー セットアップの設定		
Disable Add Server	ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードでユーザーがボルト ソースのリストにサーバーを追加できないようにします。 クライア ントによる指定されたセットのサーバーの利用を制限するには、こ のポリシーを <b>Disable Broadcast</b> 、および <b>Select Server page</b> と組み合わせて使用します。	
Select Attach Page	ビュー セットアップ(View Setup) ウィザードの 場所を選択 (Select Location)画面をコントロールします。 ビューをサイレ ントに追加したい場合に定義します。	
	位置	デフォルトのファイルボルトのアタッチの場所を設定 します。 これはターミナル サービス環境で特定のディ レクトリ(ユーザーのホーム ドライブ等)にファイル ボルトが作成されるよう強制する場合にも使用できま す。
	種類 ( <b>Type</b> )	デフォルトのファイルボルト アタッチの種類を設定し ます。 制限されたWindowsユーザーは通常ファイル ボルト ビューをコンピュータに追加する権限を持ちま せん。
Select Server Page	ビュー セッ バーの選択 を選択する す。 アーカ ます。	トアップ(View Setup) ウィザードの アーカイブ サー (Select Archive Server)画面を制御します。 サーバー リストにデフォルト アーカイブ サーバー名を追加しま マイブ サーバーの名前とポート(3030)値として入力し
	指定された るには、こ <b>Add Serve</b> ロードキャ (View Setu 場合にも使	セットのサーバーの利用をクライアントに対して強制す のポリシーを <b>Disable Broadcast</b> 、および <b>Disable</b> erと組み合わせて使用します。 また、このポリシーはブ ストによりアーカイブ サーバーがビュー セットアップ up) ウィザードにリストされない(例えばWAN環境等) 用できます。
Automatic View Setup	このポリシー タに配布す ルト名およ <b>Setup vie</b> 関与なしに を正しい位 しておきま 存在し、ブ <b>Page</b> ポリ	ーはファイルボルト ビューをクライアント コンピュー るのに使用します。アナウンスすべきビューに対するボ び値としてボルトIDを指定します。 wws silentを使用することにより、ビューはユーザーの 追加されます。このオプションを使用する際には、ビュー 置に作成するためSelect Attach Pageポリシーも定義 す。 クライアント コンピュータが異なるサブネットに コードキャストを受信できない場合には、Select Server ンーを定義しなければなりません。

#### ローカル ファイルボルト ビューの作成と配布(Creating and Distributing File Vault Views)

ポリシー	説明(Description)
エクスプローラ設定	
Configure Thumbnails	アーカイブ サーバー上で作成されるサムネイルのサイズと色深度を 定義します。
Drawing Extensions	BOMビューで図面として扱うべき他の拡張子を追加できます。 デ フォルトでは、SLDDRWおよびIDWファイルが図面として有効にさ れています。 BOMビュー オプション <b>選択アイテムを表示</b> (Show Selected)を 選択解除すると、図面ファイルは通常トップ ノードして扱われず、 図面とアセンブリの両方が除外されます。
ルートからコピー ツリーを 削除	<b>コピー ツリー(Copy Tree)</b> アイテムをボルトのルートのショート カットメニューから削除します。
ファイルの取得の設定	クライアントにファイルを取得するとき使用されたスレッド オプ ションを設定します。 1 から 20 の間の値を使用します。デフォル トは 5 です。
SQL	
一括操作を設定	SQL サーバーと通信するとき、一括操作を使用するときの設定を行います。 一括操作をしない時、ステートメントがテキストでビルドされて、 可能な場合、実行ステートメントに連結されます。
	SOLIDWORKS サポートにより直接行われるときだけ使用します。

# ボルトを Standard から Professional にアップグレードする

この章では以下の項目を含みます:

- SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする
- Professional ライセンスのアクティブ化
- Standard ボルトのアップグレード
- SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする
- ファイル ボルトのアップグレード後

アップグレードすると、Professional ボルトを Standard ボルトにダウングレードすることはできません。 この手順は、バックアップがない場合には元に戻すことができません。

#### ボルトを Standard から Professional にアップグレードするには:

- SOLIDWORKS PDM Standard ボルトのファイル ボルト データベースをバックアップします。
   詳細は、ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database) (138ページ)を参照してください。
- ライセンスを Standard から Professional にアップグレードします。
   詳細は、SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする(125 ページ)を参照してください。
- 3. ボルトをアップグレードします。
- SQL Server Express を SQL Server にアップグレードします。
   詳細は、SQL Server Express を SQL Server にアップグレード(40ページ)を参照してください。
- 5. SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional Client/Server にアップグレード します。

詳細は、SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレードする(86ページ)を参照してください。

## SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードする

ボルトをアップグレードする前に、SolidNetWork License を Standard から Professional にアッ プグレードする必要があります。

#### SolidNetWork License を Standard から Professional にアップグレードするには:

- Windows で、コントロール パネル(Control Panel) > プログラム(Programs) > プ ログラムと機能(Programs and Features)を開きます。
- 最新のライセンス サーバーで SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager を右ク リックし、変更(Change) > 次へ(Next)をクリックします。
- 3. プログラム メンテナンス (Program Maintenance) 画面で変更 (Modify) を選択します。
- ライセンス情報(License Information) 画面で Professional のシリアル番号を入力し、次へ (Next) をクリックします。
- 5. **インストール**(Install)をクリックします。

## Professional ライセンスのアクティブ化

ライセンスをアクティブ化すると、Professional ボルトにログインすることができます。

#### **Professional** ライセンスをアクティブ化するには:

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS ツール (SOLIDWORKS Tools) バージョン > SolidNetWork License Manager Server バージョン をクリック して SolidNetWork License Manager を開きます。
- アクティブ化を求めるプロンプトが表示されたら、はい(Yes)をクリックします。
   SolidNetWork ライセンスをアクティブ化している場合は、変更(Modify)をクリックします。
- 3. SolidNetWork ライセンス サーバー情報 (SolidNetWork License Server Information) 画 面で以下を行います。
  - 会社でファイアウォールを使用している場合は、このサーバーのファイアウォールは使用中です(A firewall is in use on this server)を選択します。

詳細は、SolidNetWork ライセンス サーバーとファイアウォールの使用(Using SolidNetWork Licenses Server with Firewalls)を参照してください。

 ポート番号(Port Number) (およびファイアウォールを使用している場合は ベンダー デーモン ポート番号(Vendor Daemon Port Number))にはデフォルト値を使用す るか、または会社で使用しているポート番号を指定します。

ポート番号は、1024 - 60000 の範囲内の TCP/IP ポート番号で、これは他のプロセス では使用できません。 通常、デフォルト(25734)が好ましく、ライセンス マネージャー サーバー上にある他の FlexNet サーバーのプロセスと一致する可能性が少ないといえま す。

- 4. SOLIDWORKS 製品のアクティブ化(Activate Your SOLIDWORKS Product)画面で以下を 行います。
  - インターネットか電子メールのプロセスを選択します。
  - 電子メールの連絡先を入力します。
  - 次へ(Next) をクリックし、続行します。
    - インターネットの場合: アクティベーションは自動的に行われます。
    - 電子メール: 保存(Save)をクリックしてリクエストファイルを作成し、ファイルを activation@solidworks.com まで電子メールで送信します。レスポンスファイルを 含む電子メールを受信したら、電子メールからファイルを抽出し、開く(Open)をク リックしてファイルを読み込みます。

必要に応じて、アクティベーション手順を終了してから再び実行してレスポンス ファ イルを開きます。

5. 完了(Finish)をクリックします。

## Standard ボルトのアップグレード

Standard ボルトを Professional ボルトにアップグレードする場合、Professional ライセンスを ライセンス サーバーでアクティブにしておく必要があります。

ボルトを Standard から Professional にアップグレードするには:

1. **ファイル ボルト管理**(File vault management) 権限で SOLIDWORKS PDM アドミニス トレーション ツールにログインします。

アーカイブサーバーでの管理者アクセスがあるアカウントで、コンピュータにログインする 必要があります。そうでないアカウントを使用した場合、サーバーへの管理者アクセスがあ るユーザーのログイン情報を入力するように求められます。

- ボルトを右クリックし、Professional ボルトへのアップグレード(Upgrade to Professional Vault)を選択します。
- Professional ボルトへのアップグレード(Upgrade to Professional Vault) 画面で次へ (Next) をクリックします。
- 4. チェックボックスを選択して次へ(Next)をクリックします。
- 5. Professional ライセンスをアクティブにしているライセンス サーバーを選択します。
- 6. 完了 (Finish) をクリックします。

## SOLIDWORKS PDM Standard Client/Server を Professional にアップグレー ドする

InstallShield Wizard を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、 次のステップを実行します。 アップグレードする方法:

- 1. Windows で、コントロール パネル(Control Panel) > プログラムと機能(Programs and Features)を開きます。
- SOLIDWORKS PDM Client または SOLIDWORKS PDM Server を右クリックし、変更(Change)を選択します。
   クライアントをインストールした場合は、SOLIDWORKS インストールを変更して、クライアント インストールをアップグレードします。
- 3. ようこそ画面で、次へ (Next) をクリックします。
- プログラム メンテナンス (Program Maintenance) 画面で変更 (Modify) をクリックします。
- 5. PDM 製品の選択 (Select PDM Product) 画面で **SOLIDWORKS PDM Professional** を 選択します。
- 6. SOLIDWORKS PDM Professional のインストールを続行します。

SLDIM を使用して Standard クライアント/サーバーをインストールした場合は、プログラム と機能(Programs and Features) でリストされている SOLIDWORKS 2016 を変更し てアップグレードします。

## ファイル ボルトのアップグレード後

ファイル ボルトのアップグレード後に後処理の設定手順を実行します。

Professional ボルトへのアップグレード後:

- アドミニストレーション ツールに Professional 固有のフィーチャーが表示されます。
- 管理者は Professional ボルトを明示的に設定する必要があります。
- 組み込みの管理者ユーザーには、管理権限(Administrative Permissions)と(Professional 固有の)フォルダ権限(Folder Permissions)が割り当てられています。管理者ユーザー は、これらの権限をユーザーとグループに割り当てる必要があります。
- admin ユーザーは、変換タスクを再構成し、他のタスクを構成する必要があります。

## 9

## コンテンツ検索を設定する(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

この章では以下の項目を含みます:

- コンテンツ検索の概要(Content Search Overview)
- 推奨されるコンピュータ構成(Recommended Computer Configuration)
- コンテンツ検索での Windows Search の使用
- Windows Search サービスのインストール
- Windows Search の設定
- Windows Search のアーカイブのインデックス作成
- SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成
- SQLサーバー以外のシステムにインデックス サービスを設定する(Configuring the Index Service on a Non-SQL Server System)
- インデックス サーバー フィルタの追加(Adding Index Server Filters)
- ファイルボルト インデックス カタログの管理(Managing File Vault Index Catalogs)
- ファイルボルト インデックスを削除する(Removing a File Vault Index)

ファイルボルト アーカイブにインデックスを作成すると、検索ツールでコンテンツ検索オプションを指定してドキュメントのコンテンツやプロパティを検索できるようになります。

例えば、product という単語を含むすべてのドキュメントを検索したり、特定の作成者によって作成されたすべての Microsoft Office 文書を探したりすることもできます。

### コンテンツ検索の概要(Content Search Overview)

SOLIDWORKS PDM Professional コンテンツ検索では、Microsoft インデックス サービスまたは Windows Search サービスを使用して、インデックス付けされた各ファイル ボルトのカタログが 作成されます。 このカタログは、ファイルボルトのアーカイブ フォルダ内のすべてのドキュメント バージョンのインデックス情報とストアド プロパティから構成されます。

管理者は、インデックス サービスまたは Windows Search のインデックス方式を選択できます。 アップグレードされたシステムの管理者は引き続きインデックス サービスを使用でき、以前にイン デックスが作成されていない新しいシステムの管理者は Windows Search を使用できます。

次の表は、コンテンツ検索カテゴリとサポートされているオペレーティング システムの概要です。

コンテンツ検索カテゴリ	オペレーティング システム
Windows Search サービス	Windows 10

Windows Server 2016 以降

インデックス サービスはファイルボルトのアーカイブ フォルダを定期的にスキャンし、フィルタ コンポーネントを使用してコンテンツを抽出します。 Microsoft</Z1>インデックス サービスは Microsoft Office</Z2>ファイル、HTML</Z3>ファイル、MIME</Z4>メッセージ、プレーンテ キスト ファイル等に対するフィルタを提供しています。 PDF</Z1>ファイルを検索するもの等他 のドキュメント フィルタをインストールすることも可能です。

インデックスを作成する過程で、単語とインデックス対象ドキュメント内の位置を格納するマスター インデックスを持ったカタログが作成されます。 SOLIDWORKS PDM Professional コンテンツ検 索機能では、このカタログに対して特定の単語の組み合わせがクエリされ、マスター インデックス やワードリスト、シャドウ インデックスなどを使用したコンテンツ検索が行われます。

### 推奨されるコンピュータ構成(Recommended Computer Configuration)

インデックス サービスの最小ハードウェア構成は、SOLIDWORKS PDM Professional データベー ス サーバーと同じです。 しかし、インデックス生成と検索ツールのパフォーマンスはアーカイブ内 のドキュメントの数とサイズ、ならびにインデックス サービスで使用できるリソースのサイズに依 存します。

ファイルボルト内のドキュメントの数(およびバージョンの数)が非常に多い場合、メモリが不十 分だとパフォーマンスに深刻な影響を与えます。

インデックス作成の対象となるドキュメントの合計サイズはインデックス サーバーのデータの格納 に必要なディスク領域に影響します。 カタログに必要な領域はインデックスが作成されるドキュメ ントの約 15% です。

## コンテンツ検索での Windows Search の使用

SOLIDWORKS PDM では、Windows Search サービスを使用してコンテンツ検索を実行できます。

Microsoft は、Windows 10 または Windows Server 2016 オペレーティング システムに対する インデックス サービスをサポートしていません。 SOLIDWORKS PDM では、これらのオペレー ティング システムで Windows Search サービスを使用してコンテンツ検索をサポートします。

#### コンテンツ検索に Windows Search を使用するには:

- 管理者は、Windows Search サービスを構成し、ファイル ボルト アーカイブ フォルダのイン デックスを作成する必要があります。
- インデックスを作成するファイルボルトアーカイブフォルダは次のとおりである必要があります:
  - 構成された Windows Search サービスと同じマシン上にある。

Windows Search では、リモート ネットワーク シェアおよびマップされたネットワーク ドライブはサポートされていない。 アーカイブ フォルダは、ローカルに接続されているス トレージまたは SAN ストレージからアクセス可能である必要がある。

- Windows Search サービスにアクセスしてシステム インデックスを構築できる。
- アーカイブ サーバーが SQL Server と異なるマシン上にある場合:
  - 管理者は、ファイル ボルト アーカイブ フォルダを共有する必要があります。
  - SQL Server サービスを実行しているログイン ユーザーには、共有フォルダに対する完全な 権限が必要です。
  - Windows Search サービスは、ボルトのアーカイブをホストしているアーカイブ サーバー だけではなく、SQL Server のマシン上にもインストールする必要があります。

Windows Search サービスがシステム インデックスを構築する場合、管理者はシステム インデックスを使用するように SOLIDWORKS PDM を設定できます。

### Windows Search サービスのインストール

アーカイブ サーバー システムに Windows Search サービスをインストールします。 ボルト デー タベースが別の SQL サーバー システムでホストされている場合、その SQL サーバー上に Windows Search サービスもインストールする必要があります。

#### Windows 検索サービスを有効にする

Windows 2016 以降で Windows Search サービスを有効にするには:

- Windows で、コントロール パネル(Control panel) > システムとセキュリティ(System and Security) > 管理ツール(Administrative Tools) > サーバー マネージャー (Server Manager)を開きます。
- 2. 管理(Manage) > 役割と機能の追加(Add Roles and Features)を選択します。
- 3. 機能の選択 (Select Features) ページで、Windows Search サービス (Windows Search Service) を選択して次へ (Next) をクリックします。
- 4. **インストール**(Install)をクリックします。
- 5. Windows Search をインストールした後、**閉じる(Close)**をクリックして役割と機能の追加 ウィザード(Add Roles and Features Wizard)を終了します。

#### Windows Search の設定

Windows Search を使用するように SOLIDWORKS PDM Professional コンテンツ検索を設定す るには、Windows Search サービスをインストールし、アーカイブ フォルダのパスをインデック ス設定に追加し、ファイル ボルトのアーカイブのインデックスを作成します。

#### Windows Search を設定するには:

1. アドミニストレーションツールで、**インデックス設定を更新することができます**(Can update index settings) 権限を持つ SOLIDWORKS PDM ユーザーとして、インデックス作成され るファイル ボルトにログインします。

- 2. インデックス(Indexing)を右クリックし、開く(Open)をクリックします。
- インデックスの設定(Indexing Settings) ダイアログ ボックスで、ファイル ボルト アーカ イブのインデックス作成(Index File Vault Archives) を選択します。
- ファイル ボルト インデックス方式の選択(Select the File Vault Indexing Method) で Windows Search を選択します。
- 5. **アーカイブの場所(Archive Locations)**で、アーカイブパスをダブルクリックしてインデックスの位置を構成します。
- 6. ファイル ボルト アーカイブ フォルダのパスを編集(Edit File Vault Archive Folder Path) ダイアログ ボックスで、SQL Server のファイル ボルト アーカイブ フォルダのパスを入力し ます。
  - アーカイブ サーバーが SQL Server と異なるマシン上にある場合は、アーカイブ フォル ダ シェアへの UNC パスを入力します。
  - アーカイブフォルダは、アーカイブサーバーマシン上でローカルに接続されているストレージまたは SAN ストレージからのみアクセス可能である必要があります。
- OK を2回クリックします。
   詳細は、SOLIDWORKS PDM/SOLIDWORKS Manage インストレーション ガイドの Windows Search サービスのインストールを参照してください。

### Windows Search のアーカイブのインデックス作成

インデックス対象ドキュメントを探すための SOLIDWORKS PDM コンテンツ検索では、Windows Search サービスによってアーカイブ フォルダのインデックスを作成する必要があります。

Windows Search のアーカイブのインデックスを作成するには:

- 1. アーカイブ サーバーの Windows 検索バーで、 インデックスのオプションと入力し、イン デックスのオプション (Indexing Options) を選択します。
- 2. インデックスのオプション(Indexing Options)ダイアログ ボックスで、**変更(Modify**)を クリックします。
- インデックスが作成された場所(Indexed Locations) ダイアログ ボックスで、ファイル ボルト アーカイブが存在するフォルダを参照します。
   アーカイブ サーバーが、インデックス作成対象のファイル ボルト アーカイブを複数ホストしている場合、このダイアログ ボックスで、すべてのアーカイブのアーカイブ フォルダを追加します。
- 4. アーカイブ フォルダの横にあるチェック ボックスを選択して、個別の 0~F サブフォルダも含まれていることを確認します。
- 5. **OK** をクリックします。

6. アーカイブ フォルダが、**含まれる場所(Included Locations)**列の下にリストされている ことを確認します。

Windows Search Indexer がアーカイブ フォルダのスキャンを開始し、ファイル内で検出さ れたコンテンツのインデックスを作成します。 このプロセスはバックグラウンドで実行され、 アーカイブのサイズによっては、完了までに数時間かかる場合があります。 インデックスが完 全に再構築されるまで、コンテンツ検索が不完全になる場合があります。

## SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト アーカイブのインデック ス作成

この手順では、インデックス サーバーとデータベース サーバーが両方ともファイルボルト データ ベースをホストするSQLサーバー上にインストールされている場合のインデックス サーバーの設定 方法を説明します。

インデックス サービスは、Windows 7 以降のオペレーティング システムではサポートされていません。

別のシステムにインデックス サーバーをインストールするには、SQLサーバー以外のシステムに インデックス サービスを設定する(Configuring the Index Service on a Non-SQL Server System) (133ページ)を参照してください。

ファイルボルト アーカイブのインデックスを作成する前に:

- データベース サーバーがインストールされ、設定されていることを確認します。
- インデックス設定を更新することができます権限を使用して、SOLIDWORKS PDM Professional ユーザーのユーザー名とパスワードを取得します。
- インデックス サーバーがアーカイブ サーバー以外のシステムにある場合、以下のいずれかを確認します:
  - UNCシェアへのフルアクセス(読みとり/書き込み)権限を持ったユーザーのアーカイブ フォルダへのドメイン ログイン情報。
  - インデックス サーバー上のローカル Windows ユーザーのログイン情報。

SQLサーバー システムにインデックス サーバーをセットアップするには:

- クライアント システムでアドミニストレーション ツールを開くには、スタート(Start) > すべてのプログラム (All Programs) > SOLIDWORKS PDM > 管理(Administration) の順にクリックします。
- 2. インデックスを作成するファイルボルトに**インデックス設定を更新することができます**権限を 持つ SOLIDWORKS PDM のユーザーとしてログインします。
- 3. 左側パネルのファイルボルトの下で、インデックスを右クリックし、**開く**(Open)を選択しま す。
- プロンプトが表示されたら、管理者アクセス権を持つユーザーとしてアーカイブ サーバーにロ グインします。
- 5. インデックスの設定(Indexing Settings)ダイアログ ボックスでこのボルトのコンテンツ検 索を有効にするには、ファイルボルトアーカイブのインデックス作成を選択します。
- 6. ファイル ボルトのインデックス作成方法を選択(Select the File Vault Indexing Method)で、インデックス サービス(Indexing Service)を選択します。

- 7. **アーカイブの場所**(Archive Locations)で、アーカイブ パスをダブルクリックします。
- ファイルボルト アーカイブ フォルダのパスを編集 ダイアログ ボックスの 2 番目のフィールド には、インデックス サービスを実行しているシステムから見たアーカイブへのパスを指定しま す。 アーカイブ フォルダは 参照 ボタンを使って指定できます。
  - インデックス サーバー(通常SQLサーバーです)がアーカイブ サーバーと同じシステムに ある場合は、1番目のフィールドに表示されたパスをコピーして2番目のフィールドにペース トします。
  - インデックス サーバーがアーカイブ サーバー以外のシステムにある場合は、アーカイブ フォルダへの UNC パスを指定します。

以下のいずれかを入力します:

- ドメイン管理者等、UNC共有へのフル アクセスを持つユーザーのドメイン ログイン
- インデックス サーバー上のローカル Windows ユーザーのユーザー名とパスワード
- 9. OK をクリックして インデックスの設定 ダイアログ ボックスを閉じます。

## SQLサーバー以外のシステムにインデックスサービスを設定する(Configuring the Index Service on a Non-SQL Server System)

インデックス サービスをセットアップするには、SOLIDWORKS PDM データベース サーバーと Microsoft SQL Server はインデックス サーバーとして使用されるシステムと通信できなくてはな りません。

SQL サーバー以外のシステムをインデックス サーバーとして使用する場合には、ファイル ボルトのインデックスを設定する前に以下の手順を実行してください。

 ボルト データベースをインデックス サーバー名で更新します。 詳細については、ファイルボ ルト データベースをインデックス サーバー名で更新する(Updating the File Vault Database with the Index Server Name) (133ページ) を参照してください。

サーバー名にハイフン(-)が含まれる場合は、名前を二重引用符("")で囲みます。

- データベース サーバーのログイン アカウントを変更します。 詳細については、データベース サーバーのログイン アカウントを変更する (Changing the Database Server Login Account) (134ページ) を参照してください。
- SQL サーバーのログイン アカウントを変更します。 詳細については、SQL サーバーのログイ ンアカウントを変更する(Changing the SQL Server Login Account) (135ページ) を参 照してください。
- サービス アカウントとファイル ボルト データベースを設定した後で、SOLIDWORKS PDM Professional ファイル ボルト アーカイブのインデックス作成(132ページ)に従ってインデッ クス サービスの追加とファイル ボルト アーカイブのインデックス付けを行ってください。

ファイルボルト データベースをインデックス サーバー名で更新する (Updating the File Vault Database with the Index Server Name)

1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。

- 左のパネルで、データベース(Databases) > file\_vault\_database > テーブル(Tables)
   を展開します。
- 3. SystemInfo テーブル (dbo.SystemInfo) を右クリックし、テーブルを開く を選択しま す。
- 4. 右側パネルで、IndexServer列をインデックス サーバー システムの名前で更新します。

サーバー名にハイフン(-)が含まれる場合は、名前を二重引用符("")で囲みます。

**SystemInfo** テーブルを正しいインデックス サーバー名で更新しないと SQL サーバー上の Microsoft インデックス サーバーが使用されます。

5. 変更を保存して、Microsoft SQL Server Management Studio を終了します。

## データベース サーバーのログインアカウントを変更する (Changing the Database Server Login Account)

データベースとア アカウントを変更する前に、データベース サーバーとインデックス サーバーに ローカル管理者権限を持つWーカイブ サービスおよびインデックス サーバー サービスは別のシス テムで実行されるため、システム アカウント以外のサービス アカウントを使って通信できる必要が あります。

データベースサーバー ログインアカウントを変更する前に、データベースサーバーとインデックス サーバーに関するローカルの管理者権限を持つ Windows ユーザーのログイン情報を得てください。

このユーザーは両方のシステムで同じ名前、パスワード、ローカル アカウント権限を持っている必要があります。

データベース サーバーのログイン アカウントを変更するには:

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、コントロール パネル (Control Panel) > 管理ツール(Administrative Tools) > サービス (Services) をクリックします。
- 2. /> データベース サーバーを右クリックし、プロパティ(Properties)を選択します。
- SOLIDWORKS PDM データベース サーバーのプロパティ (SOLIDWORKS PDM Database Server Properties) ダイアログ ボックスのログオン (Log On) タブにあるログオン (Log on as) で、アカウント (This account) を選択します。
- データベース サーバーを実行するシステムとインデックス サーバーの両方にローカル管理者権 限を持つWindowsユーザー アカウント、例えばドメイン管理者などを指定しOKをクリックし ます。
- 5. SOLIDWORKS PDM データベース サーバー サービスを停止し、開始します。

データベース サーバーがインデックス サーバーと通信できない場合、ファイルボルト アー カイブに対するインデックスの作成、削除を行うことはできません。以下のエラーメッセー ジが表示される場合があります。 Access is denied. SOLIDWORKS PDM データベー ス サーバーは servername との接続に失敗しました。

#### SQL サーバーのログインアカウントを変更する(Changing the SQL Server Login Account)

SQLサーバー サービスとインデックス サービスおよびインデックス サーバー サービスは別のシス テムで実行され同じドメインの一部ではないため、システム アカウント以外のサービス アカウント を使って通信できる必要があります。 同じドメインにある場合、この手順は不要です。

SQLサーバーのログイン アカウントを変更する前に、SQLサーバーとインデックス サーバーにロー カル管理者権限を持つWindowsユーザーのログイン情報を確認しておきます。

このユーザーは両方のシステムで同じ名前、パスワード、ローカル アカウント権限を持っている必要があります。

Microsoft SQLサーバーのログイン アカウントを変更するには:

- 1. Windows のスタート (Start) メニューから、コントロール パネル (Control Panel) > 管理ツール(Administrative Tools) > サービス (Services) をクリックします。
- 2. SQL Server (**MSSQLSERVER**)までスクロールして右クリックし、プロパティ (Properties) を選択します。
- SQL サーバー (MSSQLSERVER)のプロパティ (SQL Server (MSSQLSERVER) Properties) ダイアログ ボックスのログオンタブのログオン (Log on as) で、アカウント (This account) を選択します。
- Microsoft SQL Server とインデックス サーバーを実行する両方のシステムでローカル管理者 権限を持つWindowsユーザー アカウント、例えばドメイン管理者などを指定しOKをクリック します。
- 5. MSSQLサービスを停止し、開始します。

SQL サーバーがインデックス サーバーと通信できない場合、SOLIDWORKS PDM でコンテンツ検索を行うと次のエラーが発生して失敗します。

データベース サーバーにアクセスする際に通信リンクの失敗起こりました。 データベー ス サービスが再起動されたか、あるいはネットワークがダウンしているかもしれませ ん。 この操作を再試行して問題が解決されない場合、システム管理者と連絡を取ってく ださい。 "vaultname"

## インデックス サーバー フィルタの追加 (Adding Index Server Filters)

デフォルトで、Windows 検索サービスは次のファイル形式のインデックス生成をサポートしてい ます: Microsoft Officeファイル、HTMLファイル、MIMEメッセージ、プレーンテキスト ファイ ル。インデックス サーバーにサード パーティのインデックス フィルタ(iFilters)をインストール することにより、他の多くのファイル形式に対してもコンテンツ検索サポートを追加することがで きます。

アーカイブに既にインデックスが作成されたインデックス サーバーに新しいインデックス フィルタ をインストールした後は、インデックスを再構築する必要があります。 詳細については、インデッ クス カタログの再構築を参照してください。

#### **圧縮アーカイブ**(gzip)フィルタ(Compressed Archives (gzip) Filter)

SOLIDWORKS PDM のサーバー コンポーネントをインストールする際に GZ iFilter は自動的に登録されます。 このフィルタを使用すると、アーカイブ サーバー圧縮(gzip)を使用して圧縮された アーカイブがインデックス サーバーによってカタログ化されます。

#### インデックス カタログの再構築

インデックス サーバーによってアーカイブのインデックスが作成されている場合、インデックス カタログ全体に再スキャンをかけてコンテンツのリフレッシュを行う必要があります。

インデックスの再構築には数時間かかることがあります。インデックスが完全に再構築されるまで、コンテンツ検索が不完全になる場合があります。

Microsoft Search サービス カタログの再構築

#### Windows Search サービス カタログの再構築:

- 1. アーカイブ サーバーの Windows 検索バーで、 インデックスのオプションと入力し、イン デックスのオプション (Indexing Options) を選択します。
- インデックスのオプション(Indexing Options) ダイアログ ボックスで、詳細設定 (Advanced) をクリックします。
- 3. 詳細設定オプション(Advanced Options)ダイアログ ボックスでインデックスの設定(Index Settings)タブをクリックして、**再構築(Rebuild)**をクリックします。

#### Microsoft インデックス サービス カタログの再構築

- 1. マイ コンピュータを右クリックし、管理(Manage)を選択します。
- コンピュータの管理(Computer Management)ダイアログボックスでサービスとアプリケー ション(Services and Applications) > インデックス サービス(Indexing Service)、 Conisio\_vaultID を展開します。
- 3. ディレクトリ (Directories) をクリックします。
- 右側のパネルで、ディレクトリを右クリックし、すべてのタスク(All Tasks) > 再スキャン (完全)(Rescan (Full))を選択します。

## ファイルボルト インデックス カタログの管理(Managing File Vault Index Catalogs)

Microsoftインデックス サービスの動作を設定する方法は多数あります。

Windows Search サービスや Microsoft インデックス サービスの詳細については、インデックス サーバー ノードついての Windows のヘルプまたはオンラインのリソース (http://support.microsoft.com)を参照してください。

### ファイルボルト インデックスを削除する(Removing a File Vault Index)

ファイルボルト インデックスを削除する際、削除されるのはインデックス カタログのみです。物理 ファイルやアーカイブはこの処理によって影響を受けません。

ファイル ボルト インデックスを削除する前に、次の権限を持つユーザーのログイン情報を取得します:

- アーカイブサーバーへの管理者アクセス
- インデックスの設定を更新する SOLIDWORKS PDM の権限

ファイルボルト アーカイブからインデックスを削除するには:

- クライアント システムで、Windows のスタート(Start)メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレーション(Administration)をクリックしてアドミニストレーショ ン ツールを開きます。
- 2. インデックスを削除するファイルボルトにログインします。
- 3. インデックス を右クリックし、開く を選択します。
- プロンプトが表示されたら、アーカイブ サーバーに対する管理者アクセス権を持つユーザーとしてログインします。
- 5. ファイルボルト アーカイブのインデックス作成 を選択解除し OK をクリックします。

## 10

# ファイルボルトのバックアップと復元(Backing Up and Restoring File Vaults)

この章では以下の項目を含みます:

- ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database)
- SOLIDWORKS PDM マスター データベースのバックアップ
- アーカイブ サーバー設定のバックアップ(Backing Up the Archive Server Settings)
- アーカイブ ファイルのバックアップ(Backing Up the Archive Files)
- データベース バックアップのスケジュール作成
- Restoring a File Vault

ファイルボルトのバックアップは SOLIDWORKS PDM に対する毎日の管理作業の一部です。 また、 SOLIDWORKS PDM コンポーネントのアップグレードを行う前にも必要な作業です。

SQL Server Standard の SQL Maintenance ウィザードを使用して、ファイルボルト データベースの バックアップ計画のスケジュールを設定できます。 すべてのアーカイブ サーバーの物理ファイルボルト アーカイブは、スケジュールされたファイル バックアップ ソフトウェアを使用して定期的にバックアッ プする必要があります。

ボルトをバックアップする際、チェックアウトされクライアントのワークステーション上で編集された ファイルに含まれる最新の更新内容は含まれません。これらはクライアントのローカル ファイルボルト ビュー(キャッシュ)に格納されているためです。 すべてのファイルの最新情報をバックアップに含め るためには、すべてのファイルがチェックインされている必要があります。

ファイルボルトの完全なバックアップには、ファイルボルト データベースとすべての物理ファイルボルト アーカイブ ファイルが含まれている必要があります。 データベースのバックアップは、バックアップ セットの不一致によるデータ損失を回避するために、アーカイブ ファイルのバックアップと同時に実行 する必要があります。 ボルトに障害が発生した際に回復するには、データベースとアーカイブの両方が 必要です。

## ファイルボルト データベースのバックアップ(Backing Up the File Vault Database)

SQL サーバーでホストされるファイル ボルト データベースのバックアップは、ライブ SQL デー タベース バックアップをサポートする専用バックアップ ソリューションを使用することが推奨され ています。 SQL Serverに付属のSQL Managementツールを使ってもバックアップを行うことは できます。

1. SQL Server Management Studio を開きます。

- 2. データベース フォルダを展開します。
- 3. バックアップするデータベースを右クリックし、**タスク(Tasks) > バックアップ(Back Up**)を選択します。
- 4. データベースのバックアップ ダイアログ ボックスの リンク元 で、次を行います。
  - a) バックアップの種類(Backup type)で、完全(Full)を選択します。
  - b) バックアップ コンポーネント で、データベース を選択します。
- 5. 移動先 で、追加 をクリックします。
- 6. バックアップ先の選択 ダイアログ ボックスで、バックアップするデータベースのターゲットの パスとファイル名を入力し、**OK** をクリックします。
- 7. **OK** をクリックしてバックアップを開始します。
- 8. バックアップが完了した後、**OK**をクリックします。
- 9. 他にもファイルボルト データベースがあれば同じ手順を繰り返します。
- 10. SQL Server Management Studioを終了します。

## SOLIDWORKS PDM マスター データベースのバックアップ

ファイル ボルト データベースに加えて、**ConisioMasterDb** という名前の SOLIDWORKS PDM マスター データベースもバックアップする必要があります。

このデータベースのバックアップをとるために、ファイルボルト データベースのバックアップをとるために使用した同じインストラクションに従ってください。 詳細は、ファイルボルト データベー スのバックアップ (Backing Up the File Vault Database)を参照してください。

## アーカイブ サーバー設定のバックアップ (Backing Up the Archive Server Settings)

アーカイブ サーバーにはパスワードやログイン タイプ等ファイルボルトの設定が含まれています。 また、SOLIDWORKS PDM ボルト アーカイブ ファイルの物理的場所でもあります。 アーカイブ サーバー設定をバックアップしてもアーカイブ ファイルはバックアップされません。

アーカイブ サーバー設定のバックアップ後、バックアップ ファイルを通常のファイル バックアップに含めるようにしてください。

#### アーカイブ サーバー設定をバックアップするには:

- アーカイブ サーバーで Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション(Archive Server Configuration)をク リックします。
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアロ グボックスで、ツール (Tools) > バックアップ設定 (Backup settings) を選択します。

- 3. バックアップ設定 ダイアログ ボックスで:
  - a) **すべてのボルトを含める**を選択します。 (推奨) または、**選択されたボルトを含める**(Include selected vaults)を選択して設定をバック アップするファイルボルトを指定する事も可能です。
  - b) バックアップの場所 を選択または指定します。 デフォルトの場所はアーカイブ フォルダです。
  - c) 自動バックアップを行うには、**スケジュール**(Schedule)をクリックしてスケジュールを 指定します。
  - d) バックアップ ファイルのパスワードを入力し、確認します。

このパスワードは設定を復元するのに必要です。

- e) 次のいずれかを行います:
  - バックアップをすぐに実行するには、バックアップを開始(Launch backup)をクリックします。バックアップを確認するメッセージに対して、OKをクリックします。
  - スケジュールされた時間にバックアップを実行するには、**OK**をクリックします。
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー(SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアロ グ ボックスを閉じます。

バックアップファイルは指定された場所にBackup.datという名前で保存されます。

## アーカイブ ファイルのバックアップ (Backing Up the Archive Files)

ファイルボルト アーカイブにはファイルボルトに保存される物理的ファイルが含まれています。 ボルトに追加されたファイルは、アーカイブ サーバーに指定されるアーカイブ フォルダに格納されます。

ファイルボルトと同じ名前を持ったアーカイブ フォルダを配置します。
 このフォルダは、アーカイブ サーバーのアーカイブ フォルダ パスの下にあります。 詳細については、SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストールを参照してください。

ファイルボルト アーカイブの場所がわからない場合は、レジストリ キー HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\*vaultname*\ArchiveTable を確認してください。

2. このフォルダとその内容をバックアップするにはバックアップ アプリケーション(Backup Exec等)を使用してください。

## データベース バックアップのスケジュール作成

SQL Server Standard Edition のメンテナンス プランを使用してデータベース バックアップのス ケジュールを作成できます。 事前作成されたメンテナンス プランや自動化されたバックアップ オ プションはないため、SQL Express で日次ファイル ボルト バックアップを取る必要があります。 ファイルボルトSQLデータベースの自動バックアップを定期的に行うには、SQL Server Management Studioのメンテナンス プランを使用することができます。 メンテナンス プランに より、データベースの完全なバックアップを作成し、通常のファイル バックアップ ルーチンに含め ることができます。

データベース バックアップのスケジュールを作成する前に:

- SSIS (Integration Services) がSQLサーバーにインストールされている必要があります。 Integration ServicesはSQLサーバーのインストールウィザードのワークステーション コンポーネントの一部として含まれています。
- SQL Server Agentが実行されている必要があります。

SQL Server Express Edition は無償版の SQL Server であり、SQL Management ツールや SQL エージェントは含まれていません。 標準ボルトの場合、毎日のファイル ボルト バックアップを設定するには、Microsoft サポート ページにアクセスし、ナレッジ ベースの記事 2019698 を検索します。

SQL Server Agentの開始(Starting the SQL Server Agent)

SQL Server Agentが実行中でない場合、"Agent XPs"コンポーネントがセキュリティ コンフィ ギュレーションの一部としてオフになっていることを知らせるメッセージが表示されます。

- 1. SQL Server 構成マネージャー を開きます。
- 2. 左側パネルで **SQL Server サービス**(SQL Server Services)を選択します。
- 3. SQL Server Agent の状態が **Stopped** になっている場合、右クリックして**開始**を選択しま す。

エージェントの開始モード(Start Mode)が自動(Automatic)になっていることを確認し ます。 そうでない場合、エージェントを右クリックしてプロパティ(Properties)を選択 し、サービスタブの開始モード(Start Mode)を設定します。

4. SQL Server 構成マネージャー を終了します。

## データベース バックアップのためのメンテナンス プランの設定(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

SQL Server Standard でバックアップ メンテナンス プランを設定する最も簡単な方法は、SQL Maintenance ウィザードを使用することです。

バックアップ メンテナンス プランが実行されると、ファイルボルト データベースがバックアップ され、指定されたフォルダに格納されます。 このバックアップ フォルダを毎日のバックアップ手順 に含めてください。

#### バックアップ メンテナンス プランを設定するには:

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
- 2. 左側パネルのSQL Serverで管理(Management)を展開します。

#### 3. メンテナンス プラン を右クリックし、メンテナンス プラン ウィザード を選択します。

画面	操作
SQL Server メンテナンス プラン ウィザード	<b>次へ</b> (Next) をクリックします。
プランのプロパティを選択	<ul> <li>a. メンテナンス プランの名前と説明を入力してください。</li> <li>b. 変更 をクリックしてスケジュールを設定します。</li> <li>ジョブ スケジュールのプロパティ ダイアログ ボックスで、スケジュールの名前を指定し、データベースバックアップを行う時間を選択します。これは毎日のファイル バックアップの開始時間と近い時間に設定します。データベースのハードドライブへのバックアップは速く、通常数分で完了します。</li> </ul>
	c. <b>OK</b> をクリックします。 d. <b>次へ</b> (Next) をクリックします。
メンテナンス タスクの選択	<ul> <li>a. データベースのバックアップ(完全)を選択します。</li> <li>毎日のバックアップに依存している場合、データベースのバックアップ(差分)(Back Up Database (Differential))も選択するとよいでしょう。少なくとも毎週1回、フルバックアップを作成してください。</li> <li>b. 次へ(Next)をクリックします。</li> </ul>
メンテナンス タスクの順序を選択	a. バックアップタスクがリストされることを確認してく ださい。 b. <b>次へ</b> (Next) をクリックします。

画面	操作	F
データベースのバックアップ(完 全)タスクの定義	5 a. b.	<b>データベース</b> リストを展開します。 <b>すべてのユーザー データベース</b> を選択します。 これにより、すべての SOLIDWORKS PDM データ ベースが選択され、SOLIDWORKS PDM で必要のな い SQL System データベースは除外されます。
		データベースを個別に選択するには、 <b>これらのデー タベース</b> (These databases)を指定して選択しま す。ファイルボルト データベースと <b>ConisioMasterDb</b> データベースを選択してくだ さい。
	c.	<b>OK</b> をクリックします。
	d.	<b>バックアップ セットの有効期限</b> を選択して、既存の バックアップ セット ファイルを何日保存するかを定 義します。
	e.	<b>ディスクにバックアップする</b> を選択します。
	f.	すべてのデータベースにバックアップ ファイルを作成 する を選択します。
	g.	<b>フォルダ</b> には、SQL Server上のバックアップファイルを作成する既存のフォルダへのローカルパスを入力します。
	h.	<b>次へ</b> (Next) をクリックします。
レポート オプションの選択	a. b.	バックアップ タスク レポートに関しては、 <b>レポート</b> をテキスト ファイルに書き込む(Write a report to a text file)またはレポートを電子メールで送信する (E-mail report)を選択し、保存先または送信先を指 定します。 次へ(Next)をクリックします。
ウィザードの完了 	完了	<b>?</b> (Finish)をクリックします。
メンテナンス プラン ウィザード の進行状況	全で しま	てのタスクが完了したら、 <b>閉じる</b> (Close)をクリック Eす。

4. SQL Server Management Studioを終了します。

#### Restoring a File Vault

ファイルボルトを復元させるには、ファイルボルト データベース、 ConisioMasterDb データベー ス、アーカイブサーバー コンフィギュレーション設定、ファイルボルト アーカイブファイルの最新 のバックアップを必要とします。

SQL Server Express を使用して、Standard ボルト データベースを復元します。

SQL**サーバー ファイルボルト データベースの復元**(Restoring the SQL Server File Vault Databases)

- SQLサーバーをインストールします。

   a) SQLログイン タイプを混在モードに設定します。
   b) 管理ツールのインストールを選択します。
   詳細は、SQL Server のインストールと設定(Installing and Configuring SQL Server)を 参照してください。
- 2. 最新のSQLサービスパックを適用します。
- 3. SQLデータベース バックアップ ファイルをSQLサーバーの一時フォルダに復元します。
- 4. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
- 5. 左側パネルで、**データベース**(Databases)を右クリックして**データベースの復元**(Restore Database)を選択します。
- 6. データベースの復元 ダイアログ ボックスの **復元先データベース** フィールドに、バックアップ した時と全く同じ名前でファイルボルト データベース名を入力します。
- 7. **復元用のソース**(Source for restore)で、**デバイスから**(From device)を選択し、**参照** (Browse)ボタンをクリックします。
- 8. バックアップの指定 ダイアログ ボックスで 追加 をクリックします。
- バックアップファイルの検索 ダイアログ ボックスで、データベース バックアップ ファイルを 選択し、OK を 2 回クリックして データベースの復元 ダイアログ ボックスに戻ります。
- 10. **復元するバックアップ セットの選択** で、リストアしたいデータベースに対して **復元** をクリックします。
- 11. 左側パネルでオプション(Options)を選択します。
- 12. 右側パネルで、データベース ファイルへのパスが正しいことを確認します。 デフォルトでは、データベースをバックアップしたときに使用されたパスになります。
- 13. OK をクリックして復元を開始します。
- 14. 他のファイルボルト データベースがあればこの手順を繰り返し、また**ConisioMasterDb**デー タベースも復元してください。
- 15. SQL Server Management Studioを終了します。
ConisioMasterDbの復元を検証(Verifying the ConisioMasterDb Restore)

**ConisioMasterDb**データベースを復元した後、**FileVaults**テーブルの**VaultName**および **DatabaseName**列が正しいことを確認します。 どちらかのエントリが欠けていると、通知が処 理できません。

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
- 2. データベース > ConisioMasterDb > テーブル(Tables) > dbo.FileVaultsを展開しま す。
- 3. **列** をクリックし、VaultName と DatabaseName を確認します。
- 4. SQL Server Management Studioを終了します。

アーカイブ サーバーとファイルボルト アーカイブの復元 (Restoring the Archive Server and File Vault Archives)

この手順を実行して、アーカイブ サーバーの設定を、すべてのログイン設定やユーザー情報を含めて、以前の設定に復元できます。

- 1. 新しいアーカイブ サーバー上で、バックアップ(フォルダ**0**-F)から物理ボルト アーカイブを バックアップ前と同じ場所に復元します。
- アーカイブ サーバーをインストールします。
   元のインストール時と同じ設定を使用します。 定かでない場合、デフォルトを使用します。 元の設定と同じアーカイブ フォルダ パスを定義します。
- 3. アーカイブ サーバー コンフィギュレーション設定のバックアップ ファイル Backup.dat を アーカイブ フォルダに復元します。
- 4. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション (Archive Server Configuration) をクリックします。
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアロ グボックスで、ツール (Tools) > バックアップ設定 (Backup settings) を選択します。
- 6. バックアップ設定 ダイアログ ボックスで **バックアップをロード** をクリックします。
- 7. アーカイブ サーバー設定バックアップ ファイルBackup.datを選択し、開く(Open)をクリックします。
- 8. パスワードを入力(Enter Password)ダイアログ ボックスでバックアップ ファイルのパス ワードを入力します。
- 9. 設定が復元されたら、**OK**をクリックします。
- **10. SOLIDWORKS PDM** アーカイブ サーバー(SOLIDWORKS PDM Archive Server)ダイアロ グ ボックスを閉じます。

11

## SOLIDWORKS PDM のアップグレード

この章では以下の項目を含みます:

- Enterprise PDMのアップグレードについて(About Enterprise PDM Upgrade)
- アーカイブ サーバーのアップグレード (Upgrading the Archive Server)
- データベース サーバーのアップグレード (Upgrading the Database Server)
- SolidNetWork License Manager のインストールまたはアップグレード
- ファイルボルトのアップグレード(Upgrading File Vaults)
- SOLIDWORKS PDM での Toolbox のアップグレード

SOLIDWORKS PDM インストール ウィザードを使用して、Enterprise PDM 2015 またはそれ以前の バージョンを SOLIDWORKS PDM Professional にアップグレードできます。 ウィザードは古いソフト ウェア コンポーネントを自動的にアンインストールし、新しいソフトウェアをインストールします。

Enterprise PDM から SOLIDWORKS PDM Standard にアップグレードすることはできません。

以前の PDMWorks Enterprise または SOLIDWORKS PDM のバージョンまたはサービス パックをアッ プグレードするには、次の手順に従ってください。 予備システム要件については、**システム要件** を参照 してください。

SOLIDWORKS PDM では、同じメジャー バージョンであれば、クライアント コンポーネントとサー バー コンポーネントでサービス パックの不一致が許容されます。

どのバージョンがインストールされているかを調べるには**現在のバージョンを調べる(Determining** the Current Version)(147ページ)を参照してください。

Enterprise PDMのアップグレードについて(About Enterprise PDM Upgrade)

アップグレードの前に (Before Upgrading)

SOLIDWORKS PDM をアップグレードする前に、次のタスクを行います。

- お使いの SOLIDWORKS PDM のシリアル番号にアクティブ化された新しいバージョンの有効な ライセンスがあることを確認してください。
- すべてのファイルをチェックインします。
- バックアップ:

- SQLサーバー ファイルボルト データベース
- ファイルボルト アーカイブ全体
- アーカイブ サーバーの設定
- ・ 古いファイルボルトで作業しているユーザーがいないことを確認します。
   すべてのクライアント
   上で、ユーザーがファイルボルトを使用して開始したすべてのツールを閉じて、タスクバーの右
   側で SOLIDWORKS PDM アイコン 
   登をクリックして、ログオフ(Log Off)を選択します。

### 現在のバージョンを調べる(Determining the Current Version)

Conisio または SOLIDWORKS Enterprise PDM ソフトウェアとファイルボルト データベースの 現在のバージョンを調べることができます。

- 1. Windows の**コントロール** パネル(Control Panel)を開きます。
- 2. プログラムのアンインストール をダブルクリックします。
- 3. プログラムのアンインストールまたは変更 画面で、Conisio または SOLIDWORKS Enterprise PDM を探します。

バージョン 列に、現在インストールされているバージョンが表示されます。

バージョン列が表示されない場合は、列の見出しを右クリックし、バージョンを選択します。

また、SOLIDWORKS Enterprise PDM アドミニストレーション ツールを開き**ヘルプ(Help**) > **情報(About)**をクリックして、現在のバージョンを調べることもできます。

バージョン番号は以下のバージョンに対応します:

発行元バージョン番号(Publisher Version	インストールされた製品バージョン(Installed
Number)	Product Version)
18.00、17.00、16.00、およびそれ以前のバー	SOLIDWORKS PDM 2018、2017、2016、お
ジョン	よびそれ以前のバージョン
27.00、28.00、29.00、およびそれ以降のバー	SOLIDWORKS PDM 2019、2020、2021、お
ジョン	よびそれ以降のバージョン

### どの更新が適用されたかを調べる(Determining Which Updates Have Been Applied)

- Windows のスタート(Start)メニューから、SOLIDWORKS Enterprise PDM > アド ミニストレーション(Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを 開きます。
- 2. 左側パネルでファイル ボルト名を右クリックし、プロパティ (Properties) を選択します。
- ファイルボルト プロパティ ダイアログ ボックスで、インストールされている更新 リストを選択します。

このリストには、更新された製品、バージョン、更新日が表示されます。

## アーカイブ サーバーのアップグレード (Upgrading the Archive Server)

アーカイブ サーバーとデータベース サーバー ソフトウェアが同じシステム上にインストールされ ている場合、両方のコンポーネントを同時にアップグレードおよびインストールできます。

アーカイブ サーバーを以前にインストールした際の設定はすべて保持されます。

- 1. アーカイブ サーバーがインストールされるシステムに対し、ローカルにログインしている、あ るいはローカルな管理者権限を持ってリモート ログインします。
- 2. SWPDMServer フォルダで、\SWPDMServer\setup.exe を実行して SOLIDWORKS PDM サーバー アップグレードを開始します。

SOLIDWORKS PDM の古いバージョンが見つかり、アップグレードされることを示す警告が 表示されます。

- 3. **OK** をクリックします。
- 4. インストール ウィザードの示す手順に従って各画面で次へ (Next) をクリックします。
- 以前のバージョンの Enterprise PDM または SOLIDWORKS PDM Professional からアップ グレードする場合、製品選択(Select Product) 画面はデフォルトで SOLIDWORKS PDM Professional になります。
- セットアップの種類(Setup Type)画面では、サーバー インストール(Server Installation)を選択して次へ(Next)をクリックします。
- サーバー インストール (Server Installation) 画面では、アーカイブ サーバー (Archive Server) が選択されていることを確認し、次へ (Next) をクリックします。
   SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインストールする場合、クライアント (client) も選択する必要があります。
- 8. アップグレードが完了したら、**完了(Finish**)をクリックします。

## データベースサーバーのアップグレード (Upgrading the Database Server)

アーカイブ サーバーのアップグレード時にデータベース サーバーもアップグレードした場合、ファ イルボルト データベースをアップグレードする(Upgrading the File Vault Database)(150 ページ)に進んでください。

データベース サーバーをアップグレードする前に、以下を確認してください:

- ローカル管理者権限をもつユーザーのログイン情報
- SQLサーバー名。
- sysadmin 権限を持つ SQL ユーザーの名前とパスワード

これらの権限を持つ SQL **sa** アカウントを使用できます。

#### データベース サーバーをアップグレードするには:

1. ボルト データベースがホストされているSQLサーバーにローカルまたはリモート ログインしま す。 2. SWPDMServer フォルダで setup.exe を実行し、 SOLIDWORKS PDM Server アップグレードを開始します。

SOLIDWORKS PDM サーバーの古いバージョンが見つかり、アップグレードされることを示す警告が表示されます。

- 3. **OK** をクリックします。
- 4. インストール ウィザードの示す手順に従って各画面で次へ(Next)をクリックします。

画面	操作
サーバー インストール	<b>データベース サーバー</b> (Database Server)を選択 して <b>次へ</b> をクリックします。
	SOLIDWORKS PDM クライアントをマシンにインス トールする場合、 <b>クライアント(client</b> )も選択する 必要があります。
SOLIDWORKS PDM データベース サーバー SQL ログイン	<ul> <li>a. 次のいずれかの操作を行います:</li> <li>データベースサーバーが管理するファイルボルトデータベースをホストする SQL サーバーの名前を入力します。</li> <li>参照(Browse)をクリックしてネットワーク上のSQLサーバーおよびインスタンスのリストを表示します。</li> </ul>
	適切な名前を選択し、 <b>OK</b> をクリックします。
	b. ログイン名 (Login name) フィールドに、SQL サーバー上でホストされているすべての SOLIDWORKS PDM データベース(ファイル ボルト データベースと ConisioMasterDb)に 対する読み取り/書き込みアクセス(db_owner 権限など)を持つサーバー上の SQL ユーザーの 名前を入力します。
	定かでない場合、sa ログインを指定してくださ い。
	<ul> <li>c. パスワード(Password)フィールドにはその SQL ユーザーのパスワードを入力します。</li> <li>d. 次へ(Next)をクリックします。</li> </ul>
	ログイン情報が検証されます。 間違いがある場合に は警告が表示されます。
プログラム インストールの準備完了	インストール(Install)をクリックします。
InstallShield ウィザード完了	<b>完了(Finish</b> )をクリックします。

## SolidNetWork License Manager のインストールまたはアップグレード

SOLIDWORKS PDM をアップグレードする場合は、SolidNetWork License Manager をインス トールまたはアップグレードする必要があります。

#### SolidNetWork License Manager をアップグレードします。

詳細については、『SolidNetWork License Manager のアップグレード』を参照してください。

## ファイルボルトのアップグレード (Upgrading File Vaults)

ファイルボルトをアップグレードするには、ファイルボルト データベースをアップグレードしてか ら、必要に応じてファイルボルト アーカイブをアップグレードします。

### ファイルボルト データベースをアップグレードする (Upgrading the File Vault Database)

SOLIDWORKS PDM データベース アップグレード ウィザードは、アーカイブあるいはデータベー ス サーバーで実行することも、SOLIDWORKS PDM クライアントが稼働しているシステムから実 行することもできます。

ただし、システム上にインストールされているすべての SOLIDWORKS PDM ソフトウェアがアッ プグレードウィザードのバージョンと一致している必要があります。 古いバージョンのソフトウェ アを使用しているクライアントまたはサーバー システムでアップグレード ウィザードを実行するこ とはできません。 データベース アップグレード プロセスが完了するまでには、データベースのサ イズとバージョンによって時間がかかります。

ファイル ボルト データベースをアップグレードする前に:

- お使いの SOLIDWORKS PDM のシリアル番号に新しいバージョンの有効なライセンスがあることを確認してください。
- ボルトで作業しているユーザーがいないことを確認します。
- ファイルボルト データベースをバックアップします。
- 詳細は、ファイルボルト データベースのバックアップ(Backing Up the File Vault Database)(138ページ)を参照してください。
- アーカイブ サーバー ソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。
   詳細は、アーカイブ サーバーのアップグレード(Upgrading the Archive Server) (148ページ)を参照してください。
- データベース サーバー ソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。
   詳細は、データベース サーバーのアップグレード(Upgrading the Database Server) (148 ページ)を参照してください。

データベース アップグレードが完了するまで古いクライアントはアンインストールしないでください。

SOLIDWORKS Enterprise PDM 2015 またはそれ以前から SOLIDWORKS PDM Professional にファイル ボルトをアップグレードできます。 このツールはメジャー バージョンやサービス パックのアップグレードに使用され、ボルトを Standard から Professional にアップグレード する際には使用しません。

### ファイルボルト データベースをアップグレードするには:

- 1. SWPDMServer\Upgrade フォルダで、Upgrade.exe を実行してアップグレード ウィザー ドを手動で開始します。
- 2. データベースとファイル ボルト アップグレードは管理者のみが実行する必要があるという警告 が表示されたら、**はい(Yes)**をクリックします。
- 3. SOLIDWORKS PDM データベース アップグレード ウィザードの手順に従ってアップグレード を実行します。

画面	動作
ステップ 1	アップグレードの前提条件を全て実行したかどうか確認し、 <b>次へ(Next)</b> をクリックします。
ステップ <b>2</b>	<ul> <li>a. サーバーリストから、アップグレードするファイルボルト データ ベースをホストするSQLサーバーを選択します。</li> <li>サーバーがリストにない場合、SQL システム名を入力して指定す ることも可能です。</li> <li>b. 次へ(Next)をクリックします。</li> <li>c. ログイン ダイアログ ボックスでは、sa などシステム管理者の権 限を持つ SQL ユーザーのユーザー名とパスワードを入力し、ログ イン (Login)をクリックします。</li> </ul>
ステップ 3	アップグレードする 1 つまたは複数のファイル ボルト データベース を選択し、 <b>次へ(Next</b> )をクリックします。
ステップ 4	<b>次へ(Next)</b> をクリックしてアップグレードを開始します。 アップグレードが完了するまで、アップグレード ウィザードを閉じ たりSQLサーバーをオフにしたりしないでください。
ステップ 5	ファイルボルト データベースのアップグレードが終了すると、アップ グレードの作業と結果を示すログが表示されます。 アップグレード ログのコピーを保存するには、結果を選択、コピーし てテキスト ファイルに貼り付けてください。 <b>完了(Finish)</b> をクリックします。

データベースがアップグレードされた後、Microsoft SQL Server を再起動します。
 再起動しない場合、サーバーを再起動するまで、パフォーマンスの低下が発生する可能性があります。

アーカイブ サーバー上の SQL ユーザー ログインが db\_owner アカウントで構成されてい る場合は、そのユーザーに ALTER ANY CONNECTION サーバー権限があることを確認して ください。詳細は、SQL ユーザーに既存の SOLIDWORKS PDM ファイル ボルト データ ベースの db\_owner アクセスを割り当てる(31ページ)を参照してください。

### ファイル ボルト アーカイブ(File Vault Archives)

ファイル ボルト データベースをアップグレードした後、SOLIDWORKS PDM アドミニストレー ション ツールを使ってファイル ボルト アーカイブをアップグレードできます。これはクライアン ト インストールでのみ使用できます。

Enterprise PDM 2008 以前のバージョンからファイル ボルトをアップグレードする場合は、 ファイル ボルト アーカイブをアップグレードする必要があります。

新しいバージョンにアップグレードする場合は、アーカイブのアップグレードは必要ありません。

ファイル ボルト アーカイブのアップグレードは、次のタスクで構成されます:

 ファイルボルトをアップグレードするコンピュータ上に最初の SOLIDWORKS PDM クライアン トをインストール、またはアップグレードします。

ファイルボルト アーカイブが更新された後、他のクライアントも更新します。

- 最初のクライアントコンピュータ上で SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを 使ってファイルボルト アーカイブをアップグレードします。
- 残りの SOLIDWORKS PDM をアップグレードします。

ファイルの数とアーカイブの規模に依存しますが、ボルト アーカイブのアップグレード プロセスに は数時間かかる場合もあります。 アップグレードを行っている間、ユーザーはファイルボルトでの 作業はできません。

最初の SOLIDWORKS PDM クライアントのアップグレード

- 1. クライアント ワークステーションにローカル管理者権限のあるユーザーとしてログインしま す。
- 2. インストール メディアを参照します。
- 3. \SWPDMClient\setup.exe を実行して SOLIDWORKS PDM サーバーのアップグレードを 開始します。
- SOLIDWORKS PDM のインストール画面で次を行います。
   SOLIDWORKS PDM クライアントの古いバージョンがインストールされている場合は、アップグレード(Upgrade)をクリックします。

現在のクライアント ソフトウェアがアップグレードされるというメッセージが表示されたら、 **OK** をクリックします。

- 5. PDM 製品の選択(Select PDM Product)画面で、**SOLIDWORKS PDM Professional** が 選択されていることを確認します。
- 6. アイテム エクスプローラを含めるには、ユーザー定義(Customize)を選択します。
- ユーザー定義設定(Custom Setup)画面のクライアント(Client)の下で、アイテム エクス プローラ(Item Explorer)をクリックし、この機能をローカルのハード ディスク ドライブ にインストールします(This feature will be installed on local hard drive)を選択し ます。
- 8. インストール ウィザードの示す手順に従って各画面で次へ(Next)をクリックします。
- 9. 新しいクライアントをインストールする場合のように、インストール ウィザードに従って作業 を進めます。

詳細は、インストール ウィザードを使ったクライアントのインストール(Installing Clients Using the Installation Wizard)(84ページ)を参照してください。

製品タイプを選択(Choose Product Type)画面で、クライアント ライセンス タイプに対応した正しい製品を選択してください。

ファイルボルト アーカイブをアップグレードする (Upgrading the File Vault Archives)

アーカイブのアップグレードは EPDM 2008 以前からアップグレードする場合にのみ必要です。

- ファイル ボルト データベースをアップグレードするには:
- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション(Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. アップグレードされたファイル ボルトをホストするアーカイブ サーバーが左側パネルに表示されない場合:
  - a) ファイル(File) > サーバーを追加(Add Server)を選択します。
  - b) サーバーを追加(Add Server) ダイアログ ボックスでアーカイブ サーバーの名前を選択 または入力し、ポートを指定して **OK** をクリックします。
  - c) アーカイブ サーバーに対して管理者アクセス 権限を持つWindowsユーザー アカウントを 使用してログインします。
- 左側パネルでアーカイブ サーバーを展開します。 アップグレードする必要のあるファイルボル
   ト アーカイブ サーバーには赤いアイコン
   が表示されます。
  - アイコンが表示されていない場合、アーカイブサーバー名を右クリックして更新(Refresh) を選択し、ビューをリフレッシュします。
  - リフレッシュしてもアイコンが表示されない場合、ファイルボルト アーカイブは新しく、 アップグレードの必要はありません。

 アーカイブ名を右クリックし、アップグレード(Upgrade)をクリックします。
 ログインを求められたら、ボルト管理権限のある SOLIDWORKS PDM ユーザー名(通常 Admin)とパスワードを入力します。

2 つのメッセージが表示されます:

- 最初のメッセージはアップグレードに時間がかかることを警告し、ログインしているユー ザーがいないことを確認するよう求めます。
- 2番目のメッセージは、アーカイブ サーバーのバックアップがされていることを確認します。

これらの前提条件が満足されている場合、両方のメッセージに**はい**をクリックします。

アーカイブのアップグレードを行っている間、ワーク モニター ウィンドウがプログレス バー を表示します。 「**完了(Completed!)**」が現れるまで、プロセスをアボートしないでくださ い。

アップグレードするファイルボルト アーカイブが複数ある場合、これらのアップグレードも 開始できます。 それらはワーク モニター(Work Monitor)に追加されます。

アップグレードが完了した後、アップグレード結果のログを確認するには、**ログを表示**(Show Log)をクリックします。

- 5. ワーク モニター を閉じます。
- 6. ファイルボルトにログインし、ファイルを取得してみてアップグレードが成功したことを確認 してください。

複製されたファイルボルトアーカイブのアップグレード(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

他のサーバーで複製されたファイルボルト アーカイブをアップグレードするには、追加のコンフィ ギュレーション プロセスを必要とします。

複製されたファイルボルトをホストするアーカイブ サーバーをアップグレードする際には、アップ グレードする必要のあるファイルボルトには赤いアイコン 😝 が表示されます。

アイコンが表示されていない場合、アーカイブ サーバー名を右クリックして**更新**(Refresh)を選 択し、ビューをリフレッシュします。 それでもアイコンが表示されている場合は、アップグレード の必要はありません。

アイコンが表示される場合は、次のようにします。

- 複製されたボルトをホストする全てのサーバー上でアーカイブサーバーをアップグレードする必要があります。その場合も選択されたアーカイブはアップグレードされますので、ソフトウェアがアップグレードされた後複製サーバーに対するアップグレードを別途行う必要があります。
- すべての複製されたアーカイブ サーバー上でアーカイブ サーバー ソフトウェアがアップグレードされ、アドミニストレーション ツリーにそれらが表示されている場合、複製ファイルボルトアーカイブはすべてのサーバー上で同時にアップグレードされます。
- ボルトが複製され、複製されたアーカイブ サーバーがアドミニストレーション ツリーに表示されていない場合、ダイアログが表示されますのでここで複製されたサーバーにアタッチすることを選択できます。 接続しないことを選択した場合、選択されたアーカイブのみがアップグレードされ、複製サーバーに対するアーカイブ アップグレードは別途行う必要があります。

#### ファイル ボルト データベースをアップグレードした後(After Upgrading File Vault Databases)

SOLIDWORKS Enterprise PDM 2009 の SP02 以降にはアイテムを作成して管理するための機能 が含まれます。 このバージョンをインストールしてからボルト データベースを以前のインストレー ションからアップグレードすると、アップグレードされたデータベースにはデフォルト アイテム データ カード、検索フォーム、BOM、及びアイテム番号を生成するためのシリアル番号が含まれま せん。

このボルトでアイテムの作業を行うには、SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールを 使用して、次のカードとシリアル番号をインポートします。

- all(Item Card)\_gb.crd
- all(Item Search Property)\_gb.crd
- all(Item Search Simple)\_gb.crd
- all(Item Search)\_gb.crd
- all\_Item Setup\_languagecode.cex、ここで languagecode はお客様の言語のコードです。

アイテム カードのインポート (SOLIDWORKS PDM Professional Professional のみ)

- Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. カード(Cards)を右クリックし、開く(Open)をクリックします。
- 3. カードエディタ (Card Editor) で、ファイル (File) > インポート (Import) をクリック します。
- **4.** 開く ダイアログ ボックスの **探す場所** で、 インストール\_ディレクトリ\Default Cards\に 移動します。
- 5. カード リストで all(item Card)\_gb.crd を選択し、開く(Open)をクリックします。
- 6. ファイル(File) > 保存(Save)をクリックし、カードをボルトに保存します。
- 7. ステップ 3 から 6 を繰り返し、残りのアイテム データ カードをインポートします。

シリアル番号とアイテム BOM のインポート (SOLIDWORKS PDM Professional Professional のみ)

- 1. アップグレードされたボルトを右クリックし、**インポート**(Import)を選択します。
- 2. 開く (Open) ダイアログ ボックスで、**探す場所(Look in)**、 インストール\_ディレクトリ \Default Data\を参照します。
- 3. 最初のリストで、all\_Item Setup\_language.cexを選択し、開く(Open)をクリックしま す。
- 4. 確認メッセージで、**OK**をクリックします。

残りのクライアントのアップグレード(Upgrading the Remaining Clients)

ファイルボルト データベースとアーカイブがアップグレードされ、アップグレードされたボルトに アクセスできることを確認したら、残りのクライアントを SOLIDWORKS PDM にアップグレード できます。

最初のクライアントをアップグレードしたときと同じ手順を使用してください。 詳細については、 *最初の SOLIDWORKS PDM クライアントのアップグレード*を参照してください。

#### クライアントをアップグレードした後(After Upgrading Clients)

SOLIDWORKS PDM クライアントをアップグレードした後で、ポストプロセスのコンフィギュレー ション ステップを完了してください。

アップグレードが終了したら:

- SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールで、有効なライセンスを持っていることを 確認します。
- ディスパッチとタスク アドインをアップデートします。

これらのタスクを1台のクライアントで実行すると、それらは他のクライアントにも自動的に配 布されます。

#### ボルトのライセンス サーバーの表示

- Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション (Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. 左側パネルでファイルボルトを参照し、Adminとしてログインします。
- 3. ファイルボルトで**ライセンス**(License)をダブルクリックします。
- 4. ライセンス キーの設定(Set License)ダイアログ ボックスで、有効なライセンス サーバーが 表示されていることを確認してください。

Dispatch アドインの更新 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

- 1. SOLIDWORKS PDM アドミニストレーション ツールから、ファイル ボルトを展開して**アドイ** ン (Add-ins) をダブルクリックします。
- 2. **Dispatch**アドインを更新するには:
  - a) **Dispatch**を右クリックし、ショートカットメニューから**削除**(Remove)を選択します。
  - b) **はい**(Yes)をクリックして、削除したいアドインを確認します。
  - c) ファイル (File) > 開く (Open) と選択し、C:\Program Files\SolidWorks Corp\SOLIDWORKS PDM\Default Data に移動します。
  - d) フィルタを変更して.caf ファイルを表示します。
  - e) Dispatch.caf を開きます。
  - f) ボルトのアドイン (Add-ins) ノードにある .caf ファイルから Dispatch アドインを ドラッグ&ドロップします。
  - g) アドミニストレーション ボルトを閉じます。

更新されたアドインは、他のクライアントにもログイン時に自動的に配布されます。

#### SOLIDWORKS タスク アドインのアップグレード(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

SOLIDWORKS タスク アドインなど、アップグレードされた最新バージョンのアドインが実行され るようにするには、アドインを手動でアップグレードする必要があります。

ファイル ボルトを新しい Service Pack またはバージョンにアップグレードするとき、既存のアド インは自動的にはアップグレードされません。 これは、アドイン内の更新された情報によって、カ スタマイズされた内容が上書きされないようにするためです。 たとえば、SOLIDWORKS タスク アドインでコントロールされるタスクをカスタマイズしていると します。 そのタスクはアップグレードしないで使用し続けることができます。 ただし、新しいタス ク機能を使用できなくなり、タスクの起動やアップグレードされた SOLIDWORKS ファイルの処理 に問題が生じる可能性があります。

タスクを手動でアップグレードするには、SWTaskAdd-inの更新、変換、Design Checker、および印刷タスクを含む.cexファイルをコピーします。.cexファイルの場所は、クライアントのインストール方法によって異なります。InstallShield ウィザードを使用してクライアントをインストールする場合は、.cexファイルをC:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Default Data\フォルダにコピーします。SolidWorks Installation Manager を使用してクライアントをインストールする場合は、.cexファイルをC:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\Default Data\フォルダにコピーします。これらのファイルのうちの1つ以上をインポートして、SWTaskAdd-in とこれがサポートしているタスクを更新します。

#### SOLIDWORKS PDM と SOLIDWORKS タスク アドインの現在のバージョンの確認

SOLIDWORKS タスク アドインの最新のアップデートを使用するには、SOLIDWORKS PDM Professional のバージョンと SWTaskAddin のバージョンが同じである必要があります。

 SOLIDWORKS PDM のバージョンを確認するには、SOLIDWORKS PDM アドミニストレー ション ツールで、ヘルプ(Help) > SOLIDWORKS PDM アドミニストレーションについ て(About SOLIDWORKS Enterprise PDM Administration)をクリックします。 ビルド番号(Build number)フィールドには、バージョンが次のように表示されます。

TT.S (BB)

ここで、

- TT は 1992 年以降のメジャー リリース番号です。たとえば、29 は 2021 バージョンを示します。
- *s* は Service Pack です。 たとえば、3 は SP03 を表します。
- BB はビルド番号です。 たとえば、21 です。
- 2. 現在インストールされている SWTaskAddin のバージョン番号を確認するには、次の手順を実 行してください。
  - a) Windows の通知領域で、SOLIDWORKS PDM アイコン 🗟 を右クリックし、タスク ホ スト コンフィギュレーション(Task Host Configuration)をクリックします。
  - b) タスク ホスト コンフィギュレーション(Task Host Configuration)ダイアログ ボック スで、確認したい SWTaskAddin のバージョンのボルトを選択します。

**バージョン**(Version)列にバージョンが次の形式で表示されます。

TTSSBBBB

ここで、

- TT は 1992 年以降のメジャーリリース番号です。
- *ss*は ServicePack です。
- BBBB はビルド番号です。

SWTaskAddin アップグレードの実行 (SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

SWTaskAddin のバージョンが SOLIDWORKS PDM Professional のバージョンよりも前のもの であった場合は、.cex ファイルをインポートすることで SWTaskAddin をアップグレードできま す。

- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アドミニストレー ション(Administration) をクリックしてアドミニストレーション ツールを開きます。
- 2. SWTaskAddin をアップグレードするボルトに管理者としてログインします。
- 3. **ファイル > 開く** をクリックします。
- 4. C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Default Data\に移動して、Convert\_GB.cex を選択します。
- 5. 表示されるダイアログ ボックスで、Convert\_GB.cex を展開して、SWTaskAddin を選択 し、これを左のパネルの**アドイン** ノードにドラッグします。
- 6. メッセージ ボックスではいを選択して、現在のアドインを更新します。
- 7. Windows の通知領域で、SOLIDWORKS PDM アイコン <sup>●</sup> をクリックし、**タスク ホスト コ** ンフィギュレーションをクリックして、SWTaskAddin がアップグレードされたことを確認し ます。

アップグレードしたばかりのクライアントがタスク ホストとして動作している場合は、 SOLIDWORKS PDM を終了して、再度ログインしてから確認を行ってください。

#### タスクのアップグレード

SWTaskAddin をアップグレードした後、**変換、印刷**、および **Design Checker** のタスクの最新 バージョンをインポートできます。

この手順では、変換タスクのアップグレード方法について説明します。

- 1. アドミニストレーション ツールで**タスク** ノードを展開します。
- 2. いずれかのタスクの名前がデフォルト名の変換、印刷、または Design Checker になってい る場合は、その名前を変更して、それらのタスクに対して行ったカスタマイズが上書きされな いようにしてください。
- 3. ファイル > 開くをクリックします。
- 2. 変換タスクをアップグレードするには、C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Default Data\ に移動して、Convert\_GB.cex を選択します。
   製品が SLDIM でインストールされている場合、デフォルトのパスは C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM です。
- 5. 表示されるダイアログ ボックスで、**タスク**の下から**変換**を選択し、これを左のパネルの**タスク** ノードにドラッグします。
- 新しくインポートしたタスクに変更を加え、これまで使用していたタスクと一致するようにして、必要に応じて新しいオプションを設定します。
   これには、ファイルのパス、名前のフォーマット、変換タイプ、タスクホストとして動作するコンピュータ、タスクに対する権限、通知などがあります。

7. 既存のタスクで**詳細スクリプト作成オプション**に対して変更が加えられている場合は(ファイ ル詳細を出力ページからアクセス)、新しいバージョンのスクリプトにもこの変更を加えます。 詳細スクリプトは、SOLIDWORKS の新機能を使用したり、新機能をタスクに追加したりする ために、SOLIDWORKS PDM の新バージョン向けにアップグレードされている場合がよくあ ります。そのため、新しいスクリプトとカスタム スクリプトをマージしなければならない場合 があります。

スクリプトにコメントを加えると、次回のアップグレード時にカスタマイズした内容が理解 しやすくなり、また移行しやすくなります。

デフォルトの変換タスクは、カスタマイズした変換タスクで問題が発生した場合に備えて、参照用とテスト用に保存しておきます。 Admin ユーザーからのみ参照できるように権限を設定 します。

元のタスクを実行するワークフロー トランジションを修正して、アップデートしたタスクを実行するタスクとして選択します。
 ワークフローの変更を保存します。

### SOLIDWORKS PDM での Toolbox のアップグレード

SOLIDWORKS Toolbox を SOLIDWORKS PDM と統合している場合、SOLIDWORKS ソフト ウェアをアップグレードするときに、Toolbox に部品が追加されていれば Toolbox もアップグレー ドされます。

アップグレードを始めるために SOLIDWORKS Installation Manager を起動する前に、Toolbox フォルダの準備をしなくてはなりません。

- アップグレードを行う最初のコンピュータ上で、SOLIDWORKS Installation Manager が書き 込みができるように、Toolbox データベースをチェックアウトしなくてはなりません。最新バー ジョンの取得 を使って Toolbox 部品をローカル キャッシュにダウンロードし、インストーラが 部品を更新するべきか、追加するべきか検証できるようにします。
- 別のコンピュータをアップグレードするには、SOLIDWORKS Installation Manager を起動す る前に、SOLIDWORKS PDM から Toolbox ファイルの最新のバージョンを取得してください。

#### 最初の SOLIDWORKS PDM コンピュータをアップグレードするには:

- 1. Windows ファイル エクスプローラで、全権限(チェックアウト、チェックイン、追加、削除) を持つユーザーとしてボルトにログインします。
- 2. ボルトの Toolbox フォルダまで移動します。
- 3. Toolbox フォルダを右クリックし、最新バージョンの取得 をクリックして、すべての Toolbox ファイルおよび Toolbox データベースをローカルキャッシュにコピーします。

アーカイブ サーバーがリモートにある場合、この処理は数分かかることがあります。

- 4. アップグレードの場合、Toolbox データベース ファイルをチェックアウトする必要があります:
  - SOLIDWORKS 2014 以前の場合は、次をチェックアウトします: vault\_name\Toolbox\_folder\_name\lang\your\_language\SWBrowser.mdb。
  - 後続のバージョンの SOLIDWORKS の場合は、次をチェックアウトします:
     vault\_name\Toolbox\_folder\_name\lang\your\_language\swbrowser.sldedb。
- 5. SOLIDWORKS ソフトウェアをアップグレードするために SOLIDWORKS Installation Manager を (SOLIDWORKS Toolbox を含めて) 起動します。
- 6. サマリー画面で、**Toolbox オプション**のインストレーションの位置がボルトにあることを確認 します。

無い場合は、**変更**をクリックし、**既存の Toolbox の参照またはアップグレード**を選択し、ボ ルトの Toolbox 位置を参照します。

7. SOLIDWORKS 2014 以前からのアップグレードでは、アップグレードが完了したら、Windows ファイル エクスプローラで、手順 4 で説明したフォルダを参照し、Toolbox データベース ファ イル swbrowser.sldedb をボルトに追加します。

このフォルダで作成した他のローカル ファイルをボルトに追加することもできます。

- 8. すべてのアップグレードで、新規または更新されたファイルをボルトに追加するために Toolbox フォルダをチェックインし、他のユーザーが Toolbox を操作できるようにします。
- 9. SOLIDWORKS 2012 またはそれ以降へのアップグレードでは、ボルトの Toolbox フォルダ に移動して、次のフォルダおよびファイルがあることを確認します。
  - \Toolbox folder name\Updates
  - \Toolbox folder name\ToolboxStandards.xml
  - \*Toolbox folder name*\Browser\ToolboxFiles.index

存在しない場合は、お客様の代理店までご連絡ください。

別のコンピュータをアップグレードするには、SOLIDWORKS PDM のアップグレードを始める前 に、最新バージョンの取得 を使用してボルト Toolbox フォルダをローカル キャッシュにダウン ロードする必要があります。

SOLIDWORKS Installation Manager は、インストールの実行時に、Toolbox ファイルが最新であることを確認します。

## 12

# SOLIDWORKS ファイルのアップグレード(Upgrading SOLIDWORKS Files)

この章では以下の項目を含みます:

- SOLIDWORKS ファイルのアップグレード(Upgrading SOLIDWORKS Files)
- 必要なアップグレード ユーティリティ ソフトウェア(Required Upgrade Utility Software)
- システム要件(System Requirements)
- ファイルバージョンアップグレードユーティリティのインストール(Installing the File Version Upgrade Utility)
- アップグレードの準備(Preparing to Upgrade)
- バージョン設定を選択(Selecting Version Settings)
- トライアル ファイル アップグレードの実行(Performing a Trial File Upgrade)
- アップグレード ユーティリティの実行(Running the Upgrade Utility)
- 作業インストラクション ファイルの作成と使用(Creating and Using Work Instruction Files)
- 中断されたアップグレードを完成する(Completing an Interrupted Upgrade)
- アップグレード後(After Upgrading)
- バックアップ ファイルの管理(Managing Backup Files)

## SOLIDWORKS ファイルのアップグレード(Upgrading SOLIDWORKS Files)

SOLIDWORKS<sup>®</sup> PDM File Version Upgrade ツールは SOLIDWORKS ファイルを古いバージョ ンから新しいバージョンの SOLIDWORKS ファイル フォーマットに変換します。

ファイルをアップグレードした後では、以前の SOLIDWORKS バージョンでこれらのファイ ルを開くことはできません。

このツールは、SOLIDWORKS PDM ボルトに保存されている SOLIDWORKS ファイルを自動的に チェックアウトし、アップグレードして、チェックインします。 ファイル参照、リビジョンタグ、 ワークフロー ステータスはそのまま保たれます。

アップグレードされるファイル フォーマットは、.sldprt、.slddrw、.sldasm のみです。 SOLIDWORKS テンプレートおよびブロック ファイルは手動でアップグレードしてください。

複数のワークステーションでそれぞれアップグレード ツールを実行させ、同時にアップグレード処 理を行うことによって処理時間を短縮することもできます。 アップグレード ツールを最初に実行す るワークステーションがコーディネータ ワークステーションとなり、作業プランを作成します。 こ のプランは複数の作業インストラクションファイルで構成され、アップグレードプロセスに参加す る各ワークステーション毎に作業インストラクションファイルが用意されます。 詳細については、 作業インストラクション ファイルの作成と使用 (Creating and Using Work Instruction Files)を 参照してください。



作業インストラクションファイルには、SOLIDWORKSファイルの親子関係を反映したツリー構造 が含まれます。 コーディネータ ワークステーション、エージェント ワークステーションのどちら も、1 つの作業インストラクション ファイルの処理を完了すると、別の作業インストラクション ファイルを実行することができます。 部品やサブアセンブリは他のアセンブリと共有されている場 合がありますが、各ファイルがアップグレードされるのは 1 回だけです。

アセンブリが最新バージョンでない部品を参照する場合、アセンブリを参照している部品の最新 バージョンとリンクするためのバージョン設定を選択できます。また、参照ファイルの既存の バージョンを最新バージョンのファイルで上書きするためのバージョン設定を選択することもで きます。 バージョン設定を選択 (Selecting Version Settings)を参照してください。

## 必要なアップグレード ユーティリティ ソフトウェア(Required Upgrade

Utility Software)

SOLIDWORKS PDM 2024 のファイル バージョン アップグレード ツールは、SOLIDWORKS 2024、2023、2022 で使用できます。

### **システム要件**(System Requirements)

システム要件はボルト データベースがアップグレードされることに依存します。 それらはファイル 数、バージョンと変換されている参照を含んで、データベース構造に影響を受けます。

処理能力の高いワークステーションを使用してください。ファイルが開かれて、SOLIDWORKS で 再保存されるとき、使用されるワークステーションが最も大きいアセンブリ構造を処理するために 十分なリソースを持っていることが重要です。 十分な RAM があり、ハード ディスクの空き領域が 大きい、強力なワークステーションを使用してください。

詳細については、SOLIDWORKS Web サイトのシステム要件を参照してください。

使用されるワークステーションでは、可能な限りの多くのリソースをフリーにして、重要でないプロセスは停止してください。

次は具体的な推奨事項です:

• アーカイブ サーバー

ファイルの既存のバージョンに上書きすることによって、変換が実行されるとき、バックアップ がそれぞれの上書きされたファイルのために作成されます。 アーカイブサーバーはこれらのバッ クアップ ファイルを保管するディスク容量を持っていなくてはなりません。

アップグレードが始まる前に、スクリーンメッセージが、アップグレードするよう選んだファイ ルに基づき、必要とされる容量を通知します。

 ワークステーション
 アップグレードのために使われるすべてのワークステーションは変換される最も大きいアセンブ リを開くために十分な RAM を持っていなくてはなりません。

## ファイル バージョン アップグレード ユーティリティのインストール

(Installing the File Version Upgrade Utility)

ファイル バージョン アップグレード ユーティリティは SOLIDWORKS インストレーション メディ アの SWPDMClient\Support\File Version Upgrade\ ディレクトリにあります。

#### ファイル バージョン アップグレード ユーティリティをインストールするには:

- インストレーション メディアの SWPDMClient\Support\File Version Upgrade\ま でナビゲートします。
- 2. File Version Upgrade.exe をダブルクリックします。
- 3. ようこそ(Welcome)画面で次へ(Next)をクリックします。

- 4. 使用許諾契約を読み、次へ(Next) をクリックします。
- 5. **インストール** (Install) をクリックします。
- 6. 完了 (Finish) をクリックします。

## アップグレードの準備 (Preparing to Upgrade)

アップグレード プロセスを開始する前に、アップグレードで使用するワークステーションで準備を 行います。

ボルトを完全にバックアップします:

- ファイルボルト データベース
- アーカイブ ファイル

アップグレード プロセスに参加するコーディネータおよびエージェント ワークステーション上で:

- 1. 同じバージョンおよびリビジョン レベルの SOLIDWORKS PDM クライアントをインストール する。
- 2. アップグレードするファイルボルトのローカル ビューを作成する。
- 3. すべてのファイルをボルトにチェックインする
- 4. SOLIDWORKS を閉じます。

コーディネータ ワークステーションで:

- 1. 参加するクライアントに対し、アップグレードするボルト内のすべてのファイルへの読みとり/ 書き込みアクセスを与える。
- 2. 作業インストラクションファイル用のフォルダを作成し、参加するすべてのクライアントとフ ルアクセス権限(読みとり/書き込み)で共有する。

## バージョン設定を選択(Selecting Version Settings)

バージョン設定(Version Settings) で、どのバージョンと選択されたファイルタイプの修正がアップグレードされ、古いバージョンが上書きされるかを指示することができます

完全な変換を行なう前に、SOLIDWORKS のターゲット バージョンでサンプル セットを開くこ とによって古いファイルの変換をテストし、変換エラーを調べます。

もしファイルのアップグレードされた最も最新のバージョンだけが必要で、古いファイル形式でファ イルの既存のバージョンを保持したい場合、ファイルの新しいバージョンを作成(Create new version of files) を選択してください。 新しい SOLIDWORKS PDM バージョンが作成されます。

次が行いたい場合、ファイルの既存のバージョンを上書き(Overwrite existing versions of files) を選択します:

- アップグレードされたファイルでファイルのすべてのバージョンに上書きします。
- 次の1つ、または両方を選択することにより、ファイルのどのバージョンに上書きするかを指示します:
  - 最新バージョン(Latest version):ツールはファイルとそれらが参照するすべてのファイルを 最新のバージョンにアップグレードします。

• **リビジョンを持つバージョン**(Versions with a revision): ツールはリビジョンタグを持って いるすべてのファイルをアップグレードします。

もし既存のバージョンに上書きすることを選ぶ場合、ファイル バージョン アップグレード ツー ルは、それらをアップグレードする前に、ファイルのバックアップを作成します。 アップグレー ドが成功していることを確認した後で、バックアップされたファイルを削除することができます。 バックアップ ファイルの管理 (Managing Backup Files)を参照してください。

もしファイルの既存のバージョンに上書きを選択する場合、循環参照を含んでいるアセンブリは アップグレードされません。

## アップグレード シナリオ(Upgrade Scenarios)

次のトピックは下のファイルのセットのために可能なアップグレードのシナリオを説明します。



─ → 参照

### ファイルの新しいバージョンを作成する (Creating New Versions of Files)

新しいバージョンのファイルを作成する場合、古いバージョンのファイルも引き続き存在し、 SOLIDWORKS の古いバージョンで開くことができます。

参照されたファイルの最新版への再リンク(Relinking to the Latest Version of Referenced Files)

アセンブリが参照するファイルの最新版にアセンブリを再びリンクすることができます。

アセンブリとそのサブアセンブリが最新版ではない部品を参照している場合、参照は部品の最新の バージョンに移動されます。

古いバージョンの部品、アセンブリ、サブアセンブリはアップグレードされず、それらの参照は影響を受けません。

参照ファイルの新しいバージョンでジオメトリが変更された場合にこのオプションを使用すると、 結果として不必要なアセンブリの変更が行われたり、再構築エラーが発生する場合があります。 更に、ファイルプロパティ(部品名、注記、材料など)が変更されている場合、新しいバージョ ンの部品表が変更される場合があります。

下の図で示される選択は:

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 ファイル (Version Settings) ンを作り versio	ファイルの新しいバージョ ンを作成(Create new	古いバージョンを参照しているファイル(Files referencing older versions)
	version of files)	<ul> <li>新しいバージョンに再リンクされます(Are re-linked to the new version)</li> </ul>
		リビジョンを更新(Update revisions)
		<ul> <li>リビジョンを更新しない(Do not update revision)</li> </ul>



### 既存のリビジョン タグの移動(Moving Existing Revision Tags)

最新のリビジョンタグをアップグレードしているファイルの最新版に移動させることができます。 下の図で示される選択は:

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>



#### リビジョンタグの増加 (Incrementing Revision Tags)

ファイルをアップグレードするように、ファイルの最新のバージョンでリビジョンタグを増加させ ることができます。

下の図で示される選択は:

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの新しいバージョ ps) ンを作成 <b>(Create new</b>	古いバージョンを参照しているファイル(Files referencing older versions)
version of files)	<ul> <li>新しいバージョンに再リンクされます(Are re-linked to the new version)</li> </ul>	
		リビジョンを更新(Update revisions)
		<ul> <li>リビジョンを増加(Increment revision)</li> </ul>





### ファイルの既存のバージョンを上書き(Overwriting Existing Versions of Files)

既存のバージョンのファイルを上書きすると、既存のファイルはアップグレードされたファイルで 置き換えられます。新しいバージョンは作成されません。

ファイルの最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Versions of Files)

選択されたファイルタイプのすべてのファイルを最新版に上書きすることによって、アップグレードすることができます。 アップグレードされたファイルから参照で使われるファイルのすべての バージョンが同様にアップグレードされます。

## **すべてのファイルを最新のバージョンに上書き**(Overwriting the Latest Versions of All Files)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョ ンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き • 最新バージョン(Latest version)



ファイルの最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Versions of Files)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	*.sldprt
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョ ンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き • 最新バージョン(Latest version)



デフォルトで、部品図面はアップグレードされません。 しかし、図面が部品を親として持つの で、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品を 参照する図面をアップグレードするために選択させます。

## アセンブリの最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Version of Assemblies)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	*.sldasm
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョ ンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き • 最新バージョン



参照されたバージョンストリームで、ファイルバージョン アップグレードツールは、青い ボックスによって表示されるように、同様に最新の部品をアップグレードします。

デフォルトで、部品とアセンブリ図面はアップグレードされません。しかし、図面が部品とアセンブリを親として持つので、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品とアセンブリを参照する図面をアップグレードするために選択させます。

## 図面の最新のバージョンに上書き(Overwriting the Latest Version of Drawings)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	*.slddrw
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョ ンを上書き(Overwrite existing versions of files)	上書き • 最新バージョン(Latest version)



リビジョンタグを持つファイルに上書き(Overwriting Files with Revision Tags)

リビジョンタグをもつファイルをアップグレードされるファイルとして含むことができます。

両方の**最新バージョン**(Latest version) と**リビジョンを持つバージョン**(Version with a revision) を選ぶとき、これらの例はアップグレードされるファイルを示します 赤いボックスは、それらが最 新版ではないけれどもリビジョンタグを持っているのでアップグレードされるファイルを示します。

## リビジョンタグを持つすべてファイルに上書き(Overwriting All Files with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	<すべての SW ファイルタイプ>
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上 書き	上書き ・ 最新バージョン: ・ リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



## リビジョンタグを持つ部品に上書き(Overwriting Parts with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	*.sldprt
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上 書き	上書き ・ 最新バージョン: ・ リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



デフォルトで、部品図面はアップグレードされません。 しかし、図面が部品を親として持つの で、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品を 参照する図面をアップグレードするために選択させます。

## リビジョンタグを持つアセンブリに上書き(Overwriting Assemblies with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	*.sldasm
バージョン設定 (Version Settings)	ファイル <b>の既存の</b> バージョンを上 書き	上書き ・ 最新バージョン: ・ リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



参照されたバージョンストリームで、ファイルバージョンアップグレードツールは、青い ボックスによって表示されるように、同様に最新の部品をアップグレードします。

デフォルトで、部品とアセンブリ図面はアップグレードされません。しかし、図面が部品とアセンブリを親として持つので、壊れた参照の警告(Broken reference warning)画面は、アップグレードされている部品とアセンブリを参照する図面をアップグレードするために選択させます。

## リビジョンタグを持つ図面に上書き(Overwriting Drawings with Revision Tags)

画面	オプション	選択
アップグレードする ファイルを検索 (Search Files to Upgrade)	ファイルの種類(Files of type)	*.slddrw
バージョン設定 (Version Settings)	ファイルの既存のバージョンを上 書き	上書き ・ 最新バージョン: ・ リビジョンを持つバージョン(Version with a revision)



## トライアル ファイル アップグレードの実行 (Performing a Trial File Upgrade)

生産で使用するボルトの SOLIDWORKS ファイルをアップグレードする前に、ボルトのコピーで アップグレードを実行し、問題が発生しないことを確認してください。 ボルトのコピーの作成にサ ポートが必要な場合は、お客様の代理店までご連絡ください。

- 1. ファイル ボルトの完全なバックアップを別のサーバーに復元します。
- Windows のスタート(Start) メニューで、SOLIDWORKS PDM > ファイル バージョン アップグレード(File Version Upgrade) をクリックしてファイル バージョン アップグ レード ユーティリティ起動します。
- 3. アップグレード ウィザードの指示に従って処理を進めてください。
- アップグレードが成功したかどうか確認してください。
   アップグレード後(After Upgrading) (181ページ) を参照してください。

## アップグレード ユーティリティの実行 (Running the Upgrade Utility)

アップグレード ユーティリティを実行するには:

 Windows のスタート(Start) メニューで、SOLIDWORKS PDM > ファイル バージョン アップグレード(File Version Upgrade) をクリックしてファイル バージョン アップグ レード ユーティリティ起動します。

- 2. ようこそ 画面で次のいずれかを実行します:
  - アップグレードを設定するには、新しいアップグレード プロセスを開始(コーディネータ ワークステーション) (Initiate a new upgrade process (Coordinator Workstation)) をクリックします。
  - アップグレード用に作成された作業インストラクションファイルを実行するには、アップグレードプロセスへ参加(エージェントワークステーション) (Participate in an upgrade process (Agent Workstation)) をクリックします。
  - 意図しない中断のあったアップグレードを再試行するには、中断したアップグレードプロセスを再起動(コーディネータ、エージェントワークステーション)(Restart an interrupted upgrade process (Coordinator and Agent Workstation))をクリックします。
- 3. アップグレード ウィザードの指示に従って処理を進めてください。

## 作業インストラクション ファイルの作成と使用(Creating and Using Work Instruction Files)

作業インストラクション ファイルを作成することにより、アップグレード時間を減らすためにアップグレード ツールを同時にいくつかのワークステーション上で実行することができます。

コーディネータ ワークステーションになる、アップグレードツールを実行する最初のワークステー ションで作業インストラクション ファイルを作成します。

作業インストラクション ファイルを作成し使用するには:

- 1. 共有フォルダを作成し、アップグレード 読み取り/書き込みアクセスに参加させる各ワークス テーションを指定します。
- Windows のスタート(Start) メニューで、SOLIDWORKS PDM > ファイル バージョン アップグレード(File Version Upgrade) をクリックしてファイル バージョン アップグ レード ユーティリティ起動します。
- ようこそ(Welcome) 画面で、新しいアップグレード プロセスを開始(コーディネータ ワークステーション) (Initiate a new upgrade process (Coordinator Workstation))
   を選択し、次へ(Next) をクリックします。
- 4. ウィザード画面を完了してください。
- 5. アップグレード設定(Upgrade Settings) 画面で:
  - a) アップグレード設定(Upgrade Settings)の下で、アップグレード作業を複数の作業インストラクションファイルに分割(Divide the upgrade work into multiple work instruction files)を選択します。
  - b) 作成する作業インストラクション ファイルの数を指定します。
  - c) 作業インストラクション ファイルの共有位置 (Shared location for work instruction files) には、ステップ1で作成した共有フォルダの名前を入力するか、あるいはフォルダ にナビゲートするために参照 (Browse) をクリックします。

```
このフォルダ名は UNC フォーマットである必要があります。
```

d) 次へ (Next</Z2>) をクリックします。

- 6. ファイルのアップグレードの準備完了(Ready to Upgrade Files)画面で次のいずれかを実行 します:
  - すぐにアップグレードするには、はいをクリックします。
     完てメッセージが表示されたら、OKをクリックします。
  - アップグレード ユーティリティを終了し、後で作業インストラクション ファイルを実行するにはいいえ(No)をクリックします。
- 7. ステップ6でいいえ(No)を選択した場合、作業インストラクションファイルを使ってアップグレードを行なうために再びファイル バージョン アップグレードツールを実行してください。
- ようこそ(Welcome) 画面で、アップグレード プロセスへ参加(エージェント ワークステー ション) (Participate in an upgrade process [Agent Workstation]) を選択しま す。
- 9. 作業インストラクションファイルを選択 画面で:
  - a) 作業インストラクション ファイルの位置を参照してください。
  - b) 処理する作業インストラクション ファイルを選択してください。
  - c) 次へ(Next</Z2>) をクリックします。

作業インストラクションファイルの概要 はアップグレードのために指定された設定の読み 取り専用の概要を表示します。

- d) 次へ (Next</Z2>) をクリックします。
- 10. ファイルのアップグレードの準備完了 画面で:
  - a) ファイルを表示 (View Files) をクリックしてアップグレードするファイルのリストを確認します。
  - b) すぐにファイルをアップグレードするには はい (Yes) をクリックします。
  - c) 完了メッセージが表示されたら、**OK**をクリックします。

## 中断されたアップグレードを完成する(Completing an Interrupted Upgrade)

ネットワーク接続が失われた、または停電があった場合など、予期せぬアップグレードの中断が起 こる場合があります。

### 中断されたアップグレードを完成するには:

- 1. エラーメッセージの再試行(Retry)をクリックします。
- 2. 変換が正しく完了していないことを示すメッセージでは**OK**をクリックします。
- 3. 終了(Exit)をクリックします。
- 中断を引き起こした問題を解決します。
   たとえば、ネットワークの復旧やコンピュータの再起動を行います。
- 5. アップグレードユーティリティを再度実行します。
- ようこそ(Welcome)画面で、中断したアップグレードプロセスを再起動(コーディネータ、 エージェント ワークステーション) (Restart an interrupted upgrade process (Coordinator and Agent Workstation))を選択します。
- 7. 中断した移行を継続(Continue Interrupted Migration)画面で、**次へ**(Next)をクリック します。
- 8. 作業インストラクション ファイルの概要(Work Instruction File Summary)画面で、次へ (Next)をクリックします。
- 9. ファイルのアップグレードの準備完了(Ready to Upgrade Files)の画面で、**完了**(Finish) をクリックします。

## アップグレード後 (After Upgrading)

アップグレードが完了したら以下を行います:

- アップグレードログファイルを確認する。
- 自動的にツールでアップグレードされなかったファイルを手動でアップグレードする。

手作業のアップグレードは新しいバージョンを作成します。 もし既存のバージョンを上書き (Overwrite existing versions)を使ってアップグレードした場合、手作業のアップグ レードは参照構造を無効にします。

- または、最新バージョンを取得(Get Latest Version)を使用して他のワークステーションで変換されたファイルのローカル コピーを作成します。
- 変換が成功したことを確認するには、変換されたファイルのサブセットを SOLIDWORKS で開きます。
- もしファイルの既存のバージョンに上書きするために選択した場合、アップグレードが成功していたことを確認した後で、バックアップ・ファイルをアーカイブサーバーから削除してください。

## アップグレード ログのファイル名フォーマット (File Name Formats for Upgrade Logs)

アップグレードログでのファイル名は次のフォーマットになります:

アップグレードされたファイル

アップグレード ユーティリティ <id>Batch<n>.log

ここで、

- <*id*> は一意の英数字文字列です
- <n> はログが作成されたバッチファイルの番号です

例: Upgrade Utility 471F2FDS Batch 4.log

• アップグレードできなかったファイル

アップグレード ユーティリティ <id>Batch <n>.logExcluded.log

例: Upgrade Utility 471F2FDS Batch 4.logExcluded.log

## バックアップ ファイルの管理(Managing Backup Files)

アップグレードするとき、ファイルの既存のバージョンに上書きすることを選ぶ場合、アップグレー ドツールはそれぞれの上書きされたファイルのためにバックアップファイルを作成します。

これらのバックアップファイルはアップグレードの後で残ります。 アップグレードが成功したこと を確認後、それらを削除することができます。

バックアップファイルの作成 (Backup File Creation)

バックアップ オプションを無効にすることはできませんので、アップグレードを開始する前にアー カイブ サーバー上に十分なディスク領域があることを確認してください。

ファイルのアップグレードの準備完了(Ready to Upgrade Files)画面では、必要なディスク領域の大きさの予測が表示されます

上書きされる各ファイルに対して:

- 1. アップグレードツールはファイルのオリジナルバージョンをアーカイブフォルダからアップグ レードの作業インストラクションファイルを実行しているクライアントに取得します。
- 2. ツールはファイルを SOLIDWORKS で開き、アップグレードし、バッチプロセス終了時にアー カイブ フォルダに返送します。
- 3. バージョンが置き換えられる前に、アーカイブ内のオリジナルバージョンは次のフォーマット で名前変更されます:

bak counter version.extension

ここで、

- bak はすべてのバックアップファイルのプレフィックスです。
- counter は前のアップグレードで同じ名前のバックアップファイルが存在した場合の一意のカウンタです。
- version は置き換え対象のファイルバージョンの16進数です。
- *extension* はファイル拡張子です。
- 4. アップグレード ツールはファイルのアップグレードされたバージョンを、元のファイル名で アーカイブに保存します。

誤ってアップグレードしたバージョンをバックアップから復元(Restoring an Incorrectly Upgraded Version from a Backup)

ファイルのアップグレードしたバージョンが正しくない場合、バックアップファイルを使って元の コンテンツを復元することができます。

- 1. ローカル ファイルボルト ビューで、見つけるべきファイルの名前を確認します。
- 2. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
- 3. データベース を展開し、復元したいファイルを含むボルトを選択します。
- 4. 新しいクエリ をクリックします。

5. 右側のパネルで、クエリを次のように入力します: select \* from documents where filename like 'filename.ext' 例えば:

select \* from documents where filename like 'speaker\_frame.sldprt'

6. 実行 をクリックします。

ファイルのDocumentIDを記録します。これは結果(Results)タブにリストされています。

- 7. SQL Server Management Studioを終了します。
- 8. 計算機を使ってDocumentIDを16進数に変換します。
- 9. エクスプローラ ウィンドウで *install\_dir*\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Data\vault\_name に移動します。
- 10.16進数の最後の桁に一致するボルト アーカイブを展開します。 たとえば、16進数が3Bであれば、**B**というラベルのフォルダを展開します。
- 11.16進数に合ったフォルダを展開してください。
- **12.** 復元したいファイルのバージョンを変更または削除します。 たとえば、0000002.sldprt を 0000002.backup に変更します。
- **13.** 適切な bak\_ファイルを元のファイル名に名前変更します。 たとえば、bak 0 0000002.sldprt を 00000002.sldprt に変更します。
- 14. SQL Server Management Studioを終了します。

## その他の設定(Additional Configuration)

この章では以下の項目を含みます:

- SQLトランザクション ログ サイズの管理(Managing the SQL Transaction Log Size)
- SOLIDWORKS PDM を IP アドレスのみを使用して通信するように設定する
- サーバー コンポーネントを別のシステムに移動(Moving Server Components to Another System)

## SQL**トランザクション ログ サイズの管理**(Managing the SQL Transaction Log Size)

各SQLデータベースには 1 つのデータベース ファイル(.mdf) と少なくとも 1 つのトランザク ション ログファイル(.ldf) が含まれています。 データベース ファイルはデータベースに追加さ れる物理的ファイルを格納し、トランザクション ログはデータベースに対して行われた変更を記録 します。 トランザクション ログはSQLサーバーによりデータベース整合性の維持に使用されます (特に復元時)。

デフォルトで、SQLデータベースの復元手法は完全復元モデルに設定されています。つまり、デー タベースに対するあらゆる変更が記録されます。 ディスク領域が無くなるまでトランザクション ロ グが大きくなり、SQLサーバーのパフォーマンスが低下する場合があります。

完全復旧モデルは、正確な時点を復元する必要がある場合に最適です。 ただし、夜間のデータベース バックアップに依存する場合は、単純復旧モデルを使用してトランザクション ログのサイズを制限し、SQL Server のパフォーマンスを維持します。

単純復元モデルに変更した後、大きなトランザクション ログのサイズを削減するには、トランザク ション ログの縮小を行ってください。

復元モデルの変更についての詳細は、オンラインの SQL Server マニュアルを参照し、 https://support.microsoft.com/en-us にある Microsoft 技術サポート情報 873235 を検 索します。

単純復元モデルに変更(Changing to the Simple Recovery Model)

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
- 2. 左側パネルでデータベース(Databases)フォルダを展開し、データベース名を右クリックしてプロパティ(Properties)を選択します。
- 3. データベースのプロパティ ダイアログ ボックスの左側パネルで、オプション を選択します。
- 4. 復旧モデル リストから、単純 を選択して OK をクリックします。

5. Microsoft SQL Server Management Studio を閉じます。

トランザクション ログの縮小可(Shrinking the Transaction Log)

- データベース名を右クリックし、タスク(Tasks) > 圧縮(Shrink) > ファイル(Files) を選択します。
- 2. ファイルの圧縮(Shrink File)ダイアログ ボックスの**ファイルの種類(File type)**リストか ら**ログ(Log)**を選択します。
- 3. **OK** をクリックします。

# SOLIDWORKS PDM を IP アドレスのみを使用して通信するように設定する

デフォルトで、SOLIDWORKS PDM 環境を設定するときに、クライアントはシステム名を使って サーバーと通信します。 DNS ルックアップが不安定であるか、ネットワーク設定が十分でない場 合、SOLIDWORKS PDM が IP 番号のみを使って通信するよう設定することもできます。

このセットアップには次が必要です:

- 1. アーカイブ サーバーの更新
- 2. SQLサーバーの更新
- 3. SOLIDWORKS PDM クライアントの更新

アーカイブサーバーに接続する際、レジストリを手動で更新する代わりに、アーカイブサーバーのIPアドレスを使ってファイルボルト ビューを削除し、再アタッチすることもできます。

アーカイブサーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート (Updating the Archive Server to Communicate Using IP Addresses)

- 1. アーカイブ サーバーを実行しているシステムでWindowsのスタート(Start)メニューから、 ファイル名を指定して実行(Run) > regeditをクリックしてレジストリを開きます。
- アーカイブ サーバーのキーを探します: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer
- 3. 右側のパネルで、右クリックして**新規(New) > 文字列値(String value)**を選択し、文字 列値の名前をServerNameにします。
- 4. ServerNameをダブルクリックします。
- 5. 文字列の編集(Edit string)ダイアログボックスの**値のデータ**(Value data)フィールドに、 アーカイブ サーバーのIPアドレスを入力し、**OK**をクリックします。
- ファイルボルトのキーを探します: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\vaultname
- 7. Serverをダブルクリックして値(Value)のデータフィールドにボルト データベースをホストしているSQLサーバーのIPアドレスを入力し**OK**をクリックします。
- 8. アーカイブ サーバー サービスを再起動します。

SQL サーバーを IP アドレスを使って通信するようにアップデート (Updating the SQL Server to Communicate Using IP Addresses)

- 1. Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
- 2. 左側パネルでデータベース(Databases)をクリックしてファイルボルト データベースを展開 し、テーブル(Tables)を選択します。
- 3. **dbo.ArchiveServers** を右クリックし、テーブルを開く を選択します。
- 4. ArchiveServerName のエントリを、ボルトをホストしているアーカイブ サーバーの IP ア ドレスに変更します。
- 5. dbo.SystemInfo を右クリックし、テーブルを開く を選択します。
- 6. ArchiveServerName のエントリを、ボルトをホストしているアーカイブ サーバーの IP ア ドレスに変更します。
- 7. SQL Server Management Studioを終了します。

## SOLIDWORKS PDM クライアントを IP アドレスを使って通信するようにアップデート

- 1. 開始した場合、タスクバーの右にある SOLIDWORKS PDM アイコン <sup>(2)</sup> をクリックして、**終 了(Exit)**を選択し、SOLIDWORKS PDM を終了します。 アドミニストレーション ツール が実行中でないことも確認してください。
- 2. クライアントを実行しているシステムで Windows のスタート(Start)メニューから、ファ イル名を指定して実行(Run) > regedit をクリックしてレジストリを開きます。
- 3. ファイルボルト ビューのキーを探します: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\Databases\*vaultname*
- 4. **DbServer** の値をボルト データベースをホストしている SQL Server の IP アドレスに更新 します。
- 5. ServerLoc の値をボルト アーカイブをホストしているアーカイブ サーバーの IP アドレスに 更新します。
- 6. クライアントに対してアドミニストレーション ツールが使用されている場合には、以下のキー を削除します。

HKEY\_CURRENT\_USER\Software\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ConisioAdmin

このキーはアドミニストレーション ツールを起動すると再作成されます。

## IP アドレスを使った通信の検証(Verifying IP Address Communication)

- 1. すべてのサーバーとクライアントが更新されたら、以下ができることを検証します:
  - ファイルボルトにログインする。
  - 新しいファイルを追加する。
  - 既存のファイルを取得する。
- 2. ボルトが複製されている場合、複製設定ダイアログでIPアドレスを使用していることを確認します。

- 3. 新しいアドレスと接続して問題が発生する場合は:
  - エラーがないかクライアントとアーカイブサーバー ログをチェックしてください。
  - 指定されたIPアドレスを使ってクライアントからサーバーにpingできるか確認してください。

## サーバー コンポーネントを別のシステムに移動(Moving Server Components

to Another System)

SOLIDWORKS PDM サーバーのコンポーネントをあるシステムから別のシステムに移動する場合、 または更新すべきデータベースとレジストリ項目を確認するためにサーバー システムの名前を変え る場合に、これらの手順を使用します。

SQL Server Express が含まれているマシン上で、SOLIDWORKS PDM Standard サーバーのコ ンポーネントを移動するようにしてください。

これらの手順はデータベースとアーカイブ サーバーの両方を移動する方法を説明したものです。1 つだけを移動する場合には、摘要されるそれらのインストラクションのみに従ってください。

開始前に、ユーザーにすべての SOLIDWORKS PDM ボルトを終了するように伝えます。 移行 中、ユーザーはオフラインで作業することができます。 クライアント レジストリ キーのアップ デート後、ユーザーはオフライン作業を新しいボルトの場所にチェックインできます。

## ファイルを新しいサーバーにコピー(Copying Files to the New Server)

- 古い SQL サーバーで、ファイル ボルト データベースと ConisioMasterDb をバックアップ します。
   詳細は、ファイルボルト データベースのバックアップ (Backing Up the File Vault Database) を参照してください。
- 2. バックアップ ファイルを新しいサーバーにコピーします。
- Windows のスタート(Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アーカイブサーバー コンフィギュレーション(Archive Server Configuration) をクリックして SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー(SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアログ ボックスを開 きます。
- 4. アーカイブ サーバー設定をバックアップするには:
  - a) **ツール(Tools)** > **バックアップ設定(Backup settings**)を選択します。 詳細は、*アーカイブ サーバー設定のバックアップ(Backing Up the Archive Server Settings)*を参照してください。
  - b) パスワードをクリアあるいは設定し、**バックアップを開始**(Launch backup)をクリック します。
  - **c)** SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー(SOLIDWORKS PDM Archive Server)ダイ アログ ボックスを閉じます。
  - d) バックアップ ファイル (backup.dat) を新しいサーバーにコピーします。

5. ファイルボルト アーカイブ フォルダ全体を古いサーバーから新しいサーバーに同じパスでコ ピーします。

アーカイブの場所がわからない場合、次のレジストリ キーを確認してください:

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\*vaultname*\ArchiveTable

移動した SQL ファイルボルト データベースの設定(Configuring the Moved SQL File Vault Database)

- 新しいサーバーに、SQLサーバーをインストールします。
  詳細は、SQL Server のインストールと設定(Installing and Configuring SQL Server)を 参照してください。
- 2. 照合順序の設定は古いサーバーと同じにしてください。
  - a) Microsoft SQL Server Management Studio を開き、接続 をクリックします。
  - b) サーバーを右クリックし、プロパティ(Properties)を選択します。
  - c) サーバーのプロパティ ダイアログ ボックスの右側パネルで古いサーバーの **サーバー照合** 順序 を確認してください。
  - d) SQLインストールの際にカスタム(Custom)を選択して同じ照合順序を設定します。
- 3. バックアップされたデータベースを同じ名前で復元します。

古いSQLサーバーのサービスを停止する、あるいは古いデータベースをオフラインにするこ とにより同じボルト データベースのサーバーが2つアクティブにならないようにします。

4. 復元されたファイルボルト データベースの**ArchiveServers**および**SystemInfo**テーブルを 新しいアーカイブ サーバー名で更新します。

複製環境では、ArchiveServersテーブルには各複製サーバーが含まれます。 移動したサー バーのエントリのみを更新するようにしてください。 VaultNameエントリは変更しません。

## SolidNetWork License Manager の移動

ライセンスマネージャー ソフトウェアを別のサーバーに移動する必要がある場合は、アクティブな ライセンスを、Dassault Systèmes SOLIDWORKS Corporation のライセンス キー サーバーに 転送する必要があります。

SolidNetWork License Manager ソフトウェアを移動するには:

- アクティブなライセンスをライセンス キー サーバーに転送します。
  詳細は、SolidNetWorkライセンス トランスファー(Transferring a SolidNetWork License) (60ページ) を参照してください。
- 2. 新しいサーバーに SolidNetwork License Manager をインストールします。

- 3. ライセンスを再度アクティブにします。
  - 詳細は、 SolidNetWorkライセンスのインストールと設定(Installing and Configuring SolidNetWork Licensing)(55ページ)を参照してください。

#### SOLIDWORKS PDM データベース サーバーの移行

SOLIDWORKS PDM データベースを新しいシステムに移行する場合は、データベース サーバー搭 載部品を移行または再インストールする必要があります。

データベース サーバー コンポーネントを移行または再インストールすることで、データベース サーバーは通知、ローカル ビュー更新、複製スケジュール最新情報、インデックス サーバー変更などの 更新情報を SOLIDWORKS PDM データベースから受信できます。

#### SOLIDWORKS PDM データベース サーバーを移行するには:

- 1. 古いサーバーから SOLIDWORKS PDM データベース サーバーをアンインストールします。
- 2. SOLIDWORKS PDM データベース サーバーを新しいサーバーにインストールします。
- 3. ファイル ボルト データベースをホストする SQL サーバーを指定するよう求められたら、ボル ト データベースの移行先 SQL サーバーの名前を指定します。
- 4. メール サービス構成を検証するには:
  - a) 新しいサーバーでスタート (Start) メニューを展開し、プログラムとファイルの検索 (Search programs and files field) フィールドに regedit と入力します。
  - b) **プログラム**(**Programs**)の下で **regedit.exe** を右クリックし、**管理者として実行**(**Run as administrator**)をクリックします。
  - c) レジストリ エディタで HKEY\_LOCAL\_MACHINE > SOFTWARE > SOLIDWORKS
    > Applications > PDMWorksEnterprise > MailService を展開します。
  - d) Server の値を確認します。

値は次のとおりです。

- SQL サーバーと同じシステムに SOLIDWORKS PDM データベース サーバーがインス トールされており、データベースがデフォルト SQL インスタンスで稼働している場合 は、空白です。
- SQL サーバーが異なるシステム上にある場合、または指定された SQL インスタンスを 使用している場合は、SQL サーバーまたはインスタンスの名前です。

#### 移動したアーカイブ サーバーの設定(Configuring the Moved Archive Server)

- アーカイブ サーバーを新しいサーバーにインストールします。古いサーバーで使用したデフォ ルト設定を覚えていれば、それを使用します。
   詳細については、 SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバーのインストールを参照してください。
- 2. Windows のスタート (Start) メニューから、SOLIDWORKS PDM > アーカイブ サーバー コンフィギュレーション (Archive Server Configuration) をクリックします。
- SOLIDWORKS PDM アーカイブ サーバー (SOLIDWORKS PDM Archive Server) ダイアロ グボックスで、ツール (Tools) > バックアップ設定 (Backup settings) を選択します。

- バックアップ設定 ダイアログ ボックスで、バックアップをロード をクリックします。
  古いアーカイブ サーバーの設定がインポートされます。
- 5. アーカイブ サーバーで Windows のスタート (Start) メニューから、ファイル名を指定して 実行 (Run) > regedit をクリックしてレジストリを開きます。
- 6. 古いサーバーとは異なる可能性のある以下のキーを確認し、更新します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Computers\*local*\Archives

既定値がファイル ボルト アーカイブが格納されている正しいアーカイブ フォルダ(親) (つまり、ファイル ボルト アーカイブ フォルダのコピー先のパス)を指していることを確 認します。 たとえば、次のように入力します:

C:\Program Files\SOLIDWORKS PDM\Data

SLDIM 経由で製品がインストールされている場合のデフォルト パスは、C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS PDM になります。

• HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\*vaultname* 

**Server** 値が更新されており、SQL Server 名と **SQLDbName** がリストアされたファイ ルボルト データベース名と一致することを確認してください。 **DbName** エントリは変更 しません。

• HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ArchiveServer\Vaults\*vaultname*\ArchiveTable

すべてのパスが(古いサーバーから)ファイルをコピーした先のファイルボルト アーカイブ 場所を指していることを確認してください。

7. 古いアーカイブ サーバーの実行を停止します。

できれば古いサーバーをネットワークから切断し、すべてのクライアントが更新されるまで利用できないようにしてください(あるいはアーカイブ サーバーとSQLサーバー サービスを停止します)。

## クライアント レジストリ キーの更新(Updating Client Registry Keys)

- 1. 各クライアントで、以下のレジストリキーを更新します:
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\Databases\*vaultname*

**DbServer**(データベース サーバー)と **ServerLoc**(アーカイブ サーバー)を新しいサー バー名で更新します。

 64-bit クライアントでは、DbServer と ServerLoc をこのレジストリ キーでアップ デートします:

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\Databases\*vaultname* 

 プライベート ボルト ビューでは、DbServer と ServerLoc をこのレジストリ キーで アップデートします:

HKEY\_CURRENT\_USER\Software\Solidworks\Applications\PDMWorks Enterprise\Vaults\*vaultname* 

2. 各クライアントで、以下のレジストリ キーを削除します:

HKEY\_CURRENT\_USER\Software\SOLIDWORKS\Applications\PDMWorks Enterprise\ConisioAdmin

#### 複製設定の更新(SOLIDWORKS PDM Professional のみ)

複製環境でアーカイブ サーバー コンポーネントを移動する場合は、複製設定をアップデートし、新 しいアーカイブ サーバー名を反映させます。

- 1. アップデートされたクライアントから、アドミニストレーション ツールを開き、ボルトにログ インします。
- 2. 複製設定(Replication Settings)を右クリックし、開く(Open)をクリックします。
- 3. 複製設定(Replication Settings)ダイアログ ボックスも**接続**(Connections)で最初の行を 選択します。
- 4. 選択された接続(Selected connection)のIPアドレス/DNS名(IP address or DNS name) に新しい IP アドレスか移動されたアーカイブ サーバー名を入力します。
- 5. ファイル ボルトを複製する各アーカイブ サーバーでアーカイブ サーバー サービスを再起動し ます。

#### サーバー移動後の検証(Verifying the Server Move)

- 1. Admin ユーザーとしてログインし、ファイル ボルト リストを表示します。
- 2. テキスト ファイルを追加し、チェックインし、削除してみることによりアーカイブ サーバーの 動作を確認してください。

ボルトにログインできない、またはファイルを追加、チェックアウトもしくは変更できない場合は、 ファイルを新しいサーバーにコピーのステップ 5 で指定したファイル ボルト アーカイブ フォルダ のパスが正しいことを確認します。

## SOLIDWORKS Manage Professional のインストール

この章では以下の項目を含みます:

- SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントのリスト
- SOLIDWORKS Manage Client のタイプとライセンス
- SOLIDWORKS Manager の前提条件とシステム要件
- SOLIDWORKS Manage 向け SOLIDWORKS Installation Manager の使用
- SOLIDWORKS Manage コンフィギュレーション ファイルの編集

SOLIDWORKS Manage Professional のアーキテクチャは、SOLIDWORKS PDM Professional に似 ています。アイテムおよびプロジェクト データを管理するために Microsoft SQL Server データベース を用いる、クライアント/サーバー アーキテクチャを使用します。 データベース、ファイル サーバー、 Web サーバー機能の 3 つのサービスがあり、シック クライアントと Web ブラウザ クライアントの両 方がサポートされます。 これら 3 つのサービスは、同一のサーバー上でホストすることも、別々のサー バー上でホストすることもできます。

## SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントのリスト

このテーブルには SOLIDWORKS Manage Server のコンポーネントがまとめられています。

部品	関数	インストール
SolidNetWork License Manager	SOLIDWORKS Manage と SOLIDWORKS PDM のライセ ンスを管理します。	SOLIDWORKS Manage と一緒 にインストール可能です。また は、SOLIDWORKS PDM に以 前インストールされているバー ジョンを使用できます。
SOLIDWORKS Manage ファイ ル サーバー	SOLIDWORKS Manage のデー タ、レポート、その他の要素を 管理します。	SOLIDWORKS Manage と一緒 にインストールする必要があり ます。
SOLIDWORKS Manage Web サーバー	ブラウザベースのクライアント からインターネット経由で SOLIDWORKS Manage 機能へ のアクセスを提供します。	オプションで SOLIDWORKS Manage と一緒にインストール します。

部品	関数	インストール
SOLIDWORKS Manage 電子 メール サーバー	SOLIDWORKS Manage で電子 メール メッセージを送信できる ようにします。	オプションで SOLIDWORKS Manage と一緒にインストール します。
SOLIDWORKS Manage データ サービス(SOLIDWORKS Manage Data Services)	SOLIDWORKS Manage でプロ ジェクトの自動更新を実行でき るようにします。	オプションで SOLIDWORKS Manage と一緒にインストール します。
SWmanage.swmc	SOLIDWORKS Manage Server および Client を SQL Server データベースと SolidNetWork License Manager に接続するための情 報が含まれています。	SOLIDWORKS Manage Server のインストール時に生 成されます。

## SOLIDWORKS Manage Client のタイプとライセンス

SOLIDWORKS Manage Professional では 3 つのクライアント タイプを使用できます。

- Editor
- 提供者
- ビューア

SOLIDWORKS Manage のすべてのクライアントでは、SOLIDWORKS Manage Professional と SOLIDWORKS PDM Professional で保存されている情報にアクセスできますが、次の表に示すよ うに、クライアント タイプごとに編集機能が異なります。

能力	Manage Editor	Manage Contributor	Manage Viewer
ドキュメントおよびレ コードの検索、表示、 印刷	Х	Х	Х
CAD データの表示	Х	Х	Х
CAD データの作成、編 集	Х		
CAD 以外のデータの表 示	Х	Х	Х
CAD 以外のデータの作 成、編集	Х	Х	

能力	Manage Editor	Manage Contributor	Manage Viewer
プロジェクト ステータ スおよびタイムシート の表示	Х	Х	Х
プロジェクト ステータ スおよびタイムシート の更新	Х	Х	
ダッシュボードの表 示、レポートの実行と エクスポート	Х	Х	X
プロセスと履歴の表示	Х	Х	X
任意のオブジェクトで のプロセスの開始と更 新	Х	Х	Х*
PDM ワークフロー アク ションによるプロセス の起動	Х	х	X
部品表の表示	Х	Х	X
部品表の作成、編集	Х	Х	
タスクの表示	Х	X	X
タスクの割り当て、更 新	Х	Х	
PDM ワークフローへの 参加	Х	X	X

\*新しいレコードの作成や既存レコードの更新のないプロセスでのみ使用できます。

SOLIDWORKS Manage Professional の各ライセンスには、同じクライアント タイプの SOLIDWORKS PDM Professional ライセンスが含まれます。 たとえば、SOLIDWORKS Manage Professional Editor ライセンスには、SOLIDWORKS PDM Professional CAD Editor を同じマ シンで使用するためのライセンスが含まれています。

SOLIDWORKS PDM Professional の既存のライセンスを SOLIDWORKS Manage ライセンスに アップグレードできます。アップグレードによって、ユーザーは、同じマシンで Manage Professional と PDM Professional の両方にアクセスできます。 SOLIDWORKS Manage Professional Editor のライセンスを所有するユーザーは、SOLIDWORKS Manage アドインを実行して、SOLIDWORKS ソフトウェアの内部から Manage のデータに直接 アクセスすることもできます。

## SOLIDWORKS Manager の前提条件とシステム要件

SOLIDWORKS Manage Professional をインストールする前に:

- SOLIDWORKS Manage Server および Client をインストールする予定のマシンに対する完全 な管理権限を取得してください。
- 既存の SQL Server データベースを使用する予定の場合、SQL Server インスタンスの名前と、 データベースへの読み取り/書き込みアクセス権を持つ SQL Server 管理者またはデータベース 所有者のアカウント ID とパスワードを取得してください。 tew ユーザーは使用できません。

SOLIDWORKS Manage 用に新しい SQL Server データベースをインストールする場合は、 SQL Server のインストールと設定(Installing and Configuring SQL Server)(20 ページ) の指示に従ってください。

- 既にインストールされているライセンス サーバーを使用する場合は、SolidNetWork (SNL) サーバーのポート番号とサーバー名を取得します。
- SOLIDWORKS Manage Server のインストール先マシンには、Microsoft .NET Framework 4.6.2 および Visual C++ 再頒布可能ランタイム(vc\_redist.x64.exe)をインストールし ておく必要があります。 SOLIDWORKS Installation Manager を使用して SOLIDWORKS Manage をインストールする場合、これらのファイルは自動的にインストールされます。
- Microsoft Internet Information Services (IIS) をインストールして構成します。 手順は、 SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設定(199ページ) で参照でき ます。

SOLIDWORKS Manage Professional のシステム要件は SOLIDWORKS PDM Professional と同 じです。 要件は、

http://www.solidworks.com/sw/support/pdmsystemrequirements.html で参照できます。

## SOLIDWORKS Manage 向け SOLIDWORKS Installation Manager の使用

SOLIDWORKS Manage Server のインストール

SOLIDWORKS Manage Server をインストールする際に、同じマシン上にファイル サーバー、 Web サーバー、電子メール サーバー、およびデータ サービスをインストールできます。ファイル サーバーは必須ですが、Web サーバーと電子メール サーバーはオプションです。

## SOLIDWORKS Manage Server をインストールするには:

1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。

 ようこそ(Welcome)ページで、サーバー製品(Server Products)を選択し、 SOLIDWORKS Manage Server コンポーネントをこのコンピュータにインストールする (Install SOLIDWORKS Manage Server components on this computer)を選択 します。

SOLIDWORKS PDM Server コンポーネントをこのコンピュータにインストールする(Install SOLIDWORKS PDM Server components on this computer)ボックスと SolidNetWork License Manager(配布ライセンス)をこのコンピュータにインストールします(Install SolidNetWork License Manager (distributed licensing) on this computer)ボックスが自動的に選択されます。 このマシンに SOLIDWORKS PDM Server または SolidNetWork License Manager をインストールしない場合は、対応するボックスを選択解除します。

- 3. SOLIDWORKS Manage Server のサマリー(Summary)ページで**変更(CHANGE)**をク リックします。
  - a) インストール場所は、デフォルトパスをそのまま使用するか、**参照(Browse**)をクリックして別のパスを指定します。
  - b) SQL サーバー (SQL Server) セクションで:
    - 1. 名前(Name)については、デフォルトをそのまま使用するか、参照(Browse)を クリックして新しいホスト名を指定します。
    - 2. データベースへの読み取り/書き込みアクセス権を持つ SQL Server 管理者またはデー タベース所有者のログイン名(Login Name)とパスワードを入力します。
    - 3. 新しいデータベースを作成するには、データベースの新規作成(Create New Database)を選択し、テンプレートを選択します。
    - 既存のデータベースを使用するには、既存のデータベースを使用(Use Existing Database)を選択し、既存のデータベースの名前を入力するか、既存のデータベー スを参照します
  - c) ライセンス サーバー(License Server)セクションには、SolidNetWork(SNL)サー バーのポート番号とサーバー名を入力します。
  - d) SOLIDWORKS Manage Server が動作するためには、ファイル サーバーがインストール されている必要があります。Web サーバー、電子メール サーバー、およびデータ サービ スをインストールしない場合は、それらのインストール オプションを選択解除します。
  - e) サマリーに戻る(Back to Summary)をクリックします。
- 4. サマリー(Summary)ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインス** トール(Install Now)をクリックします。

#### SOLIDWORKS Manage Client のインストール

ここでは、SOLIDWORKS PDM クライアントと共に SOLIDWORKS Manage クライアントをイ ンストールする手順について説明します。 SOLIDWORKS PDM クライアントが既にインストール されている場合、または PDM クライアントをインストールする必要がない場合は、手順が多少異 なります。

#### SOLIDWORKS Manage Client をインストールするには:

- 1. SOLIDWORKS Installation Manager を起動します。
- 2. ようこそ(Welcome)ページで個人(Individual)を選択します。
- 3. シリアル番号 (Serial Number) ページで次へ (Next) をクリックします。

- 4. システムの警告の指示に従い次へ(Next)をクリックします。
- 5. サマリー(Summary)ページの製品(Products)の下で**変更(Change)**をクリックしま す。
- 6. 製品選択 (Product Selection) ページで**別のパッケージ/製品の選択 (Select different packages or products)** をクリックします。
- 7. 製品選択 (Product Selection) ページで、次の操作を行います。
  - a) SOLIDWORKS Manage クライアント (SOLIDWORKS Manage Client) を選択 します。

**SOLIDWORKS PDM クライアント(SOLIDWORKS PDM Client)** も自動的に選択 されます。

- b) オプション: SOLIDWORKS Manage アドイン (SOLIDWORKS Manage Add-in) と Microsoft Office アドイン (Microsoft Office Add-in) を選択します。
- c) サマリーに戻る(Back to Summary)をクリックします。
- 8. 製品選択 (Product Selection) ページで **SOLIDWORKS PDM Client** を選択します。
- 9. SOLIDWORKS PDM Client オプション (SOLIDWORKS PDM Client Options) ページで:
  - a) SOLIDWORKS PDM Professional を選択します。
  - b) SOLIDWORKS Manage Client タイプに一致する PDM クライアント タイプを選択しま す。
  - c) SOLIDWORKS Manage Professional Editor のライセンスがある場合は、SOLIDWORKS アドイン (SOLIDWORKS Add-in)を選択すると、SOLIDWORKS ソフトウェア内の Manage データに直接アクセスできます。
  - d) サマリーに戻る(Back to Summary)をクリックします。
- **10.** サマリー(Summary)ページで SOLIDWORKS 使用許諾書の条件を受け入れて**今すぐインス** トール(Install Now)をクリックします。

SOLIDWORKS Manage クライアントと SOLIDWORKS PDM クライアントは、SOLIDWORKS ソフトウェアと同じバージョン、あるいは同じサービス パックでなくても構いません。 SOLIDWORKS PDM および SOLIDWORKS Manage の互換性のあるバージョンの詳細については、代理店(VAR)にお問い合わせください。

## SOLIDWORKS Manage コンフィギュレーション ファイルの編集

SOLIDWORK Manage では、SWManage.swmc という名前のコンフィギュレーション ファイル が使用され、クライアントはこのファイルからデータベース サーバーとライセンス サーバーに関す る情報を得ます。このファイルでは、ファイルに暗号化されている SQL Server ユーザー名とパス ワード、およびサーバーのインストール時に入力されたライセンス サーバーの情報を保存します。

SOLIDWORKS Manage Server をインストールすると、コンフィギュレーション ファイルが自動 的に作成され、SOLIDWORKS Manage Server のインストール フォルダ (通常は C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS Manage Server\Fileserver) に保存されます。 すべてのユーザーに、このコンフィギュレーション ファイルへのアクセス権が必要です。

コンフィギュレーション ファイルを含むフォルダが、ユーザーのログイン時に自動的にキャッシュ される場合、そのコンフィギュレーション ファイルを SOLIDWORKS PDM ボルトに保存できま す。ファイルがローカル キャッシュにない場合、ユーザーは SOLIDWORKS Manage にログイン できません。ただし、一部のユーザーが SOLIDWORKS PDM ローカル ビューを持っていない場 合、コンフィギュレーション ファイルを共通の場所に保存する必要があります。

#### SWManage.swmc ファイルを編集するには:

- SOLIDWORKS Manage インストール フォルダ(通常は C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS Manage Server\Server Utils)の下にある Server Utilities フォルダを参照します。次に、SWM.configwizrd.exe ファイルを右クリックし、管理者と して実行(Run as administrator)を選択します。
- 2. コンフィギュレーション ウィザードが表示されたら、開く(Open)をクリックして、Manageのコンフィギュレーション ファイル SWManage.swmc を参照します。
- 3. サーバーのインストール時に入力した SQL Server の sa ユーザー名を入力します。
- 4. 必要に応じて、ファイルの情報を変更し、保存(Save)をクリックします。
- 5. ファイルのパスワードを入力します。 このパスワードは、以前に使用した SQL Server のパス ワードと同じにすることも、別のパスワードにすることもできます。
- 6. 変更した .swmc ファイルをコピーし、それらの各サーバー コンポーネントに保存します。
  - ファイル サーバー (Fileserver)
  - 通知 (Notifications)
  - サービス
  - WebPlenary
- 7. 変更した .swmc ファイルがすべての SOLIDWORKS Manage クライアントで使用できることを確認します。

システム フォルダの場所に配置されている場合は、コンフィギュレーション ファイルの名前 を変更しないでください。ログイン(Log In)ダイアログ ボックスで指定したファイルの名 前は変更できます。

## SOLIDWORKS Manage Professional と Microsoft IIS の設 定

この章では以下の項目を含みます:

- SOLIDWORKS Manage への初回ログイン
- SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインの使用
- SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインの使用
- IIS の構成

## SOLIDWORKS Manage への初回ログイン

この手順では、ウィザードの各ダイアログボックスの詳細については説明しません。 最小限の構成 で PDM ボルトを SOLIDWORKS Manage に接続する方法について説明します。

#### SOLIDWORKS Manage に初めてログインするには:

1. Windows で、スタート(Start) > SOLIDWORKS バージョン > SOLIDWORKS Manage バージョンをクリックします。

コンフィギュレーション ファイルが存在しないという警告が表示されます。

- 2. **OK** をクリックします。
- 3. SOLIDWORKS Manage ダイアログ ボックスで、以下を行います。
  - a) 🗘 をクリックします。
  - b) SOLIDWORKS Manage のコンフィギュレーション ファイル、SWManage.swmc を参照 します。
  - c) (オプション)インターフェイスのスキームを設定するか、別のライセンスタイプを設定するには、オプション(Options)をクリックします。
  - d) 管理者権限を持つユーザーの**ユーザー名 (User Name**) とパスワード (Password) を 入力します。
  - e) **OK** をクリックします。
- SOLIDWORKS Manage ダイアログ ボックスのオプション(Options) タブで、管理者オプ ション(Administration Options) をクリックします。

システム管理(System Administration)ダイアログボックスが表示されます。このダイアロ グボックスでは、SOLIDWORKS Manage を構成し、SOLIDWORKS PDM アドミニストレー ション ツールにアクセスすることができます。

- オプション:システム管理(System Administration)ダイアログ ボックスで、PDM ボルト に接続します:
  - a) 構造 (Structures) 📥 をクリックします。
  - b) ドキュメントとレコード (Documents & Records) 🖺 をクリックします。
  - c) 新規 PDM オブジェクト(New PDM Object) 🏴 をクリックします。
- 6. SOLIDWORKS PDM コンフィギュレーション(SOLIDWORKS PDM Configuration)ウィ ザードで、**次へ(Next)**をクリックします。
- 7. 接続(Connection)画面のオブジェクト(Object)で、次の操作を行います。
  - a) 名前(Name)ボックスに値の名を入力します。 任意の名前を使用できますが、通常は接続先の PDM ボルトの名前にします。
  - b) 番号付けスキーム(Numbering Scheme)で、単純(Simple)を選択します。 SOLIDWORKS Manage のすべてのオブジェクトに番号が必要です。 SOLIDWORKS Manage の PDM レコードの部品番号の多くは PDM 変数に由来しますが、SOLIDWORKS Manage で番号付けスキーム(Numbering Scheme)を指定する必要があります。
  - c) (オプション) データベース(Database) で、ボルトを選択します。

SQL Server および PDM ボルト データベースが事前選択されています。 SOLIDWORKS Manage では、サーバー上に存在する PDM Professional のボルトをすべて読み取りま す。

- d) 次へ (Next) をクリックします。
- 8. フィールド(Fields)画面で、次へ(Next)をクリックします。
- 9. オプション(Options)画面で、次へ(Next)をクリックします。
- 10. プロパティ タブ (Property Tabs) 画面で、次の操作を行います。
  - a) 有効化(Enabled)で、プロパティ(Properties)、BOM、SWConfigurations、 RelatedFiles、WhereUsed、および ToDo のチェック ボックスを選択します。 SOLIDWORKS Manage には各レコードに関する情報を表示するプロパティ タブがあり ます。これらは、Windows ファイル エクスプローラで表示される SOLIDWORKS PDM Professional のタブに似ています。アクセス権限はすべてのユーザーに自動で割り当てら れます。
  - b) (オプション) 表示名(Display Name)の下にある任意の行をクリックして、タブの名前を変更します。
    各プロパティ タブを構成すると、表示名(Display Name)を変更したり、特定のユーザーまたはグループが特定のタブを参照できるかどうかを変更したりできます。
  - c) 次へ (Next) をクリックします。
- 11. アクセス権限(Access Rights)画面で、組織のすべてのユーザーが**フル コントロール(Full** control)を所有しているデフォルト設定をそのまま使用し、次へ(Next)をクリックしま す。
- 12. BOM (Bill of Materials) 画面で、次へ (Next) をクリックします。

- **13.** 部品番号、説明およびリビジョン マッピング(Part Number, Description and Revision mapping) 画面で、次をクリックします:
  - a) (オプション) すべて自動マップ(Auto map All)。 SOLIDWORKS Manage では、番号(Number)、説明(Description)、およびリビジョン(Revision)という名前の PDM 変数を使用します。 リストにある各データ カード上の変数がこれらの名前で存在している場合、テーブルの値が変更されます。
  - b) (オプション) 番号 (Number)、説明 (Description)、およびリビジョン (Revision)。 これらの変数のみをマッピングします。

この画面では、必要な**部品番号(Part Number)、説明(Description)**、および**リビ ジョン(Revision)**の各フィールドにどの PDM データ カード変数を使用するかを構成 できます。 SOLIDWORKS Manage のデフォルトでは、ファイル名を部品番号と説明と して使用し、リビジョンには PDM バージョン番号を使用します。 PDM データ カード上 の変数がデフォルト名と一致しない場合は、テーブルの各アイテムの変数を設定できます。

**番号(Number)**変数を使用した自動マッピングに関しては、報告されている問題が存在します。 この問題が発生した場合は、**番号(Number)**変数を手動で設定します。

- c) 次へ (Next) をクリックします。
- 14. コンフィギュレーション オプション(Configuration Options)画面で、次の操作を行います。
  - a) 次の条件に基づいてレコードを作成(Create records based on the following conditions)を選択しますが、条件は入力しないでください。

SOLIDWORKS Manage は、SOLIDWORKS 部品およびアセンブリ ファイルごとに 1 つ のレコードを作成するか、すべてのコンフィギュレーションのレコードを作成することが できます。 各コンフィギュレーション用のレコードが作成されている場合、BOM、プロセ ス、プロジェクトなどのアイテムでコンフィギュレーションを使用できるように、複数の コンフィギュレーションを**アクティブ(Active)**として指定することができます。 **非アク** ティブ(Inactive)なコンフィギュレーションは、SOLIDWORKS Manage のメイン領 域には表示されず、レコードの詳細を表示する場合にのみ表示されます。

特定のコンフィギュレーションを**アクティブ(Active)**または**非アクティブ(Inactive)** として自動的に指定するには、条件を構成できます。 次の条件に基づくレコードを作成し ない(Do not create records based on the following conditions)を選択し、 条件が一覧にない場合、SOLIDWORKS ファイルですべてのコンフィギュレーション用に アクティブなコンフィギュレーション レコードが作成されます。 次の条件に基づいてレ コードを作成(Create records based on the following conditions)を選択し、 条件が一覧にない場合、PDM @ コンフィギュレーションのみがアクティブとして指定さ れます。 この初期セットアップの目的のために、次の条件に基づいてレコードを作成 (Create records based on the following conditions)を選択します。

b) 次へ (Next) をクリックします。

- 15. PDM プロジェクト (PDM Projects) 画面で、次の操作を行います。
  - a) フォルダ構造リストで、ルート フォルダをクリックします。
  - b) 任意のステータス(Any State)を選択します。
  - c) 保存(Save)をクリックします。
  - d) 次へ (Next) をクリックします。

SOLIDWORKS Manage は、PDM ワークフローのステータスに基づいて、SOLIDWORKS PDM Professional ボルトのファイルに対してレコードを作成するタイミングを構成できます。 これは、SOLIDWORKS Manage と SOLIDWORKS PDM Professional のユーザーが同じ PDM ボルトで作業するハイブリッド環境などのシナリオで便利です。 PDM ファイルに対して SOLIDWORKS Manage でレコードが作成されれば、そのレコードを編集できる方法は、 SOLIDWORKS Manage Client を使用する方法に限られます。 SOLIDWORKS Manage の ライセンスにより、ログイン済みユーザーが PDM ボルトにアクセスできます。

ユーザーが特定のトランジションを介して SOLIDWORKS PDM Professional のファイルを送 信するたびに、SOLIDWORKS Manage は自動的にプロセスを作成できます。 たとえば、ユー ザーが要求変更(Request Change)トランジションを使用する場合に、これによって ECR (設計変更要求)プロセスを開始することができます。 この初期セットアップの目的のため に、開始するプロセスは指定しないでください。

- 16. PDM SOLIDWORKS Manage ユーザーとグループ(PDM SOLIDWORKS Manage Users and Groups)画面で、次の操作を行います。
  - a) **管理(Admin)**行で、SW Manage ユーザー(SW Manage User)列をクリックし、 **管理システム(Admin System)**を選択します。
  - b) 次へ (Next) をクリックします。

SOLIDWORKS Manage では、SOLIDWORKS PDM Professional からユーザーとグループ を読み取って作成することができます。 SOLIDWORKS Manage および SOLIDWORKS PDM Professional のシステム管理者を、同じパスワードを持つ同じユーザーに設定することが重要 です。 他の PDM ユーザーとグループは、既に設定されている必要があります。

 17. 関連ファイル(Related Files) 画面で、関連ファイル(Related Files) およびファイル (Files) フォルダのみを許可するデフォルト設定をそのまま使用し、次へ(Next) をクリックします。

SOLIDWORKS Manage には、レコードを他のレコードや制御対象外のファイルに接続するさ まざまな手段があります。 関連ファイルは、レコードに添付できる制御対象外のファイルであ り、レコード内部からのみ表示できます。 これらのファイルは、電子メール メッセージ、画像 ファイル、レポートなどのアイテムにすることができます。 参照は、SOLIDWORKS Manage の他のレコードへのリンクです。 **関連ファイル(Related Files)**を整理するために、必要に 応じて一連のフォルダを定義できます。

- 18. 参照 (References) 画面で、次へ (Next)
- 19. 次の画面で、次へ(Next)をクリックします:
  - レポート (Reports)
  - 特別オブジェクト(Special Objects)
  - 通知(Notifications) および電子メール(Email)をクリックします。
  - ライフサイクル
  - リンクレコード オブジェクト (Linked Record Object)
  - 共有

- 20. 完了(Completed)画面で、完了(Finish)をクリックします。
- 21. データの再同期を促すプロンプトが表示されたら、はい(Yes)をクリックします。
- 22. SOLIDWORKS Manage アドミニストレーション ツール(SOLIDWORKS Manage Administration Tool)ダイアログ ボックスを閉じます。
- 23. オプション: SOLIDWORKS Manage ダイアログ ボックスの左パネルで、何もないスペースを 右クリックし、**ツリーを更新(Refresh Tree**)をクリックします。

これにより、SOLIDWORKS Manage ドキュメントとレコード(SOLIDWORKS Manage Documents & Records)内に SOLIDWORKS PDM Professional ボルトが表示されます。 SOLIDWORKS PDM オブジェクトのコンフィギュレーション設定の詳細は、SOLIDWORKS Manage アドミニストレーション(SOLIDWORKS Manage Administration)を参照してください。

## SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインの使用

Windows ファイル エクスプローラ内で SOLIDWORKS Manage の機能とデータを使用できるように、SOLIDWORKS Manage には SOLIDWORKS PDM Professional 用のアドインが用意されています。 これには、選択したファイルに関連する SOLIDWORKS Manage の情報が表示される Windows ファイル エクスプローラのタブが含まれます。

#### SOLIDWORKS PDM 用の SOLIDWORKS Manage アドインを使用するには:

- 1. SOLIDWORKS PDM Professional アドミニストレーション ツールを開きます。
- SOLIDWORKS Manage への初回ログイン(199ページ) で接続したボルトにログインします。
- 3. **アドイン**(Add-ins)を右クリックし、ショートカット メニューから**新しいアドイン**(New Add-in)を選択します。
- 4. SOLIDWORKS Manage Client のインストール先 (C:\Program Files\SOLIDWORKS Corp\SOLIDWORKS Manage Client など) に移動し、SWM.swpdm.dll および EPDM.Interop.epdm.dll を選択します。
- 5. **開く (Open)** をクリックします。
- ファイルを追加(Add Files)をクリックして、SOLIDWORKS Manage コンフィギュレーションファイルの編集(197ページ)で設定した SWManage.swmc ファイルを参照します。 アドインのためのファイルを選択(Select Files for the Add-in)ダイアログ ボックスで、ファイル タイプ(File Type)に All Files (\*.\*)を選択する必要があります。
- 7. SWManage.swmc を選択し、開く (Open) をクリックします。
- 8. **OK** を 2 回クリックし、アドイン(Add-in)ダイアログ ボックスと、クライアント マシンの 再起動に関するメッセージを閉じます。
- 9. SOLIDWORKS PDM Professional にログインしている場合は、タスクバーのアイコンを右ク リックし、**終了(Exit)**をクリックします。

**10.** Windows ファイル エクスプローラで、ボルトのローカル ビューにログインします。 そこでは SOLIDWORKS Manage タブと新しいメニュー項目を使用できます。

SOLIDWORKS PDM Professional ライセンスと SOLIDWORKS Manage Professional ラ イセンスの両方がライセンス サーバーで使用可能であり、一部の SOLIDWORKS PDM クラ イアント マシンに SOLIDWORKS Manage クライアントがインストールされていない場 合、これらのクライアント マシンのローカル ビューには SOLIDWORKS Manage タブと他 のメニューは表示されません。SOLIDWORKS Manage は、新しいファイルと、それらのマ シン上で作成された既存のファイルに対する更新を認識します。

ただし、SOLIDWORKS Manage プロセスが、SOLIDWORKS PDM のファイルがワークフ ローの状態を変更すると開始するように設定されている場合、SOLIDWORKS Manage クラ イアントがインストールされていない SOLIDWORKS PDM クライアント マシンで状態の変 更が行なわれても、プロセスは作成されません。

## SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインの使用

SOLIDWORKS Manage には SOLIDWORKS ソフトウェア用のアドインがあり、SOLIDWORKS PDM アドインと併用できます。 SOLIDWORKS Manage アドインには、検索機能が組み込まれて いるという利点があります。 いずれかのアドインからもファイルのチェックアウトとチェックイン が可能です。

## SOLIDWORKS 用 SOLIDWORKS Manage アドインを使用するには:

- 1. SOLIDWORKS でツール (Tools) > アドイン (Add-Ins) をクリックします。
- 2. SOLIDWORKS Manage を選択し、OK をクリックします。
- 3. SOLIDWORKS Manage にログインします。 ログインではライセンスは使用されません。

SOLIDWORKS Manage はタスク パネルで使用可能になります。

## IIS の構成

**Internet Information Services**(IIS)を構成するには:

- 1. Windows で、スタート (Start) > コントロール パネル (Control Panel) をクリックし ます。
- 2. コントロール パネル(Control Panel)ダイアログ ボックスで、プログラム(Programs) をクリックします。
- 3. Windows の機能の有効化または無効化(Turn Windows features on or off) をクリックします。

- 4. Windows の機能(Windows Features) ダイアログ ボックスで:
  - a) 次の項目を展開します:
    - 1. インターネット インフォメーション サービス (Internet Information Services)
    - 2. Web Management Tools
    - 3. World Wide Webサービス (World Wide Web Services)
  - b) Web 管理ツール (Web Management Tools) で、IIS 管理コンソール (IIS Management Console) を選択します。
  - c) World Wide Webサービス(World Wide Web Services)で、アプリケーション開 発機能(Application Development Features)と次の項目を選択します:
    - .NET Extensibility
    - ASP
    - ASP.NET
    - CGI
    - ISAPI Extensions
    - ISAPI Filters
    - Server-Side には、以下が含まれます
  - d) HTTP 共通機能 (Common HTTP Features) で、次の項目を選択します:
    - 既定のドキュメント(Default Document)
    - ディレクトリの参照(Directory Browsing)
    - HTTPエラー (HTTP Errors)
    - HTTP リダイレクション (HTTP Redirection)
    - 静的コンテンツ(Static Content)
  - e) 状態と診断(Health and Diagnostics) で、次の項目を選択します:
    - HTTPログ (HTTP Logging)
    - 要求監視(Request Monitor)
  - f) **性能機能(Performance Features)で、静的なコンテンツの圧縮(Static Content Compression**)を選択します。
  - g) **セキュリティ(Security**)で、**要求のフィルタリング(Request Filtering**)を選択し ます。
  - h) **OK** をクリックします。
- 5. コントロール パネル (Control Panel) を閉じます。

#### IIS ファイル サーバーの確認

SOLIDWORKS Manage Server のインストール後、Internet Information Services (IIS) ファ イル サーバーが動作していることを確認する必要があります。IIS ファイル サーバーは Web サー ビスです。SOLIDWORKS Manage Server は **SWManage** という Web サイトを IIS に作成 し、その下に **SWMfs** と **SWMweb** という 2 つのアプリケーションを作成します。

#### **IIS** ファイル サーバーが動作していることを確認するには:

 Windowsのスタート(Start)メニューで、IISと入力してインターネットインフォメーショ ンサービス(IIS)マネージャー(Internet Information Services (IIS) Manager) を選択します。

- 2. サイト (Sites) ノードを展開し、SWManage ノードを展開します。
- SWMfs フォルダを選択します。アクション(Actions)パネルのアプリケーションの管理 (Manage Application)で、\*.ポート番号を参照(Browse \*.port number)をクリック します。

デフォルトの Web ブラウザが開きます。サーバー名、ポート番号、SWMfs(SOLIDWORKS Manage ファイル サーバー Web サイト)がアドレス バーに表示されます。Web サイトに操 作のリストが表示されます。

## IIS のトラブルシューティング

SOLIDWORKS Manage のファイル サーバー Web サイトを参照できない場合は、いくつかの チェック項目があります。 詳細については、インターネット インフォメーション サービス(IIS) に関するマイクロソフトのヘルプを参照してください。

#### IIS をトラブルシューティングするには:

- SWMfs Web サイトを右クリックし、アクセス許可の編集(Edit Permissions)をクリックします。
  これにより、IIS のユーザーにはこの Web サイトに対する適切なアクセス権が割り当てられます。
- ファイルサーバーのプロパティ(Fileserver Properties) ダイアログ ボックスのセキュリティ (Security) タブで、編集(Edit) をクリックします。
- 3. ファイルサーバーの権限(Permissions for Fileserver)ダイアログ ボックスで追加(Add) をクリックします。
- 4. ユーザーまたはグループの選択(Select Users or Groups)ダイアログ ボックスで:
  - a) 詳細設定をクリックします。
  - b) 検索開始(Find Now)をクリックします。
  - c) 検索結果(Search results) で IIS\_USRS および IUSR を選択します。
  - d) **OK** を2回クリックします。
- 5. ファイルサーバーの権限(Permissions for Fileserver) ダイアログ ボックスの**許可(Allow)** 列で、両方のグループの**変更(Modify)**を選択し、**OK** をクリックします。
- 6. ファイルサーバーのプロパティ(Fileserver Properties)ダイアログ ボックスで **OK** をクリックします。



## Our **3D**EXPERIENCE<sup>®</sup> platform powers our brand applications, serving 12 industries, and provides a rich portfolio of industry solution experiences.

Dassault Systèmes is a catalyst for human progress. We provide business and people with collaborative virtual environments to imagine sustainable innovations. By creating virtual twin experiences of the real world with our **3DEXPERIENCE** platform and applications, our customers can redefine the creation, production and life-cycle-management processes of their offer and thus have a meaningful impact to make the world more sustainable. The beauty of the Experience Economy is that it is a human-centered economy for the benefit of all –consumers, patients and citizens.

Dassault Systèmes brings value to more than 300,000 customers of all sizes, in all industries, in more than 150 countries. For more information, visit **www.3ds.com**.

Europe/Middle East/Africa Dassault Systèmes 10, rue Marcel Dassault CS 40501 78946 Vélizy-Villacoublay Cedex France Asia-Pacific Dassault Systèmes K.K. ThinkPark Tower 2-1-1 Osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-6020 Japan Americas Dassault Systèmes 175 Wyman Street Waltham, Massachusetts 02451-1223 USA

